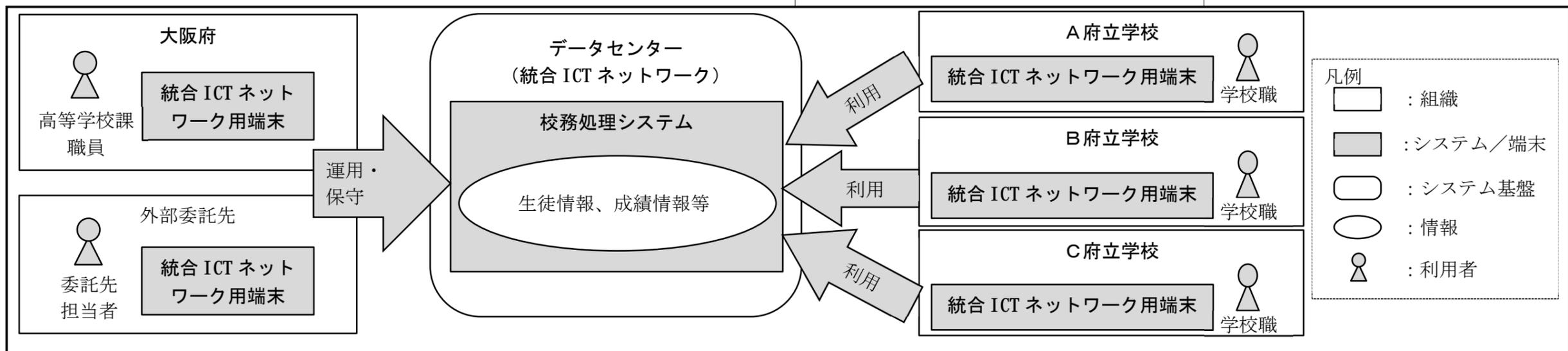


「校務処理システム」における情報セキュリティについて

対象受検機関：教育庁教育振興室高等学校課

| 事務事業の概要   | 検出事項  | 改善を求める事項（意見）   |     |   |   |  |   |  |  |   |   |   |  |  |
|---|---|--|-----|---|---|--|---|--|--|---|---|---|--|--|
| <p>1 対象システムの概要</p> <p>校務処理業務については、旧来は各府立学校が独自に構築したシステムにより利用されていたが、事務の負担軽減を図るため高等学校課により全府立学校共通のシステムとして導入された。</p> <p>主な機能として、校務処理に係る生徒の個人情報登録、参照する機能が提供されている。</p> <p>現在の校務処理システムは、府立学校の職員が校務で利用する専用ネットワークである「統合ICTネットワーク」内で運用されている。統合ICTネットワークは高等学校課により運用されており、各府立学校は高等学校課から配布されたパソコンを利用してアクセスすることができる。また、統合ICTネットワークでは校務処理システムの他、インターネット、メール、ファイルサーバ等の機能も提供される。</p> <p>校務処理システムに係る情報資産については、重要度に応じた分類が教育庁より各府立学校へ通達されており、各府立学校はこの通達と「教育委員会セキュリティポリシー実施手順」（以下「セキュリティポリシー」という。）に基づき情報資産の分類及び管理ルールを定めて運用を行っている。</p> <p>最も重要度の高い「重要度Ⅰ」の紙媒体等による情報資産については、施錠保管、持出禁止、廃棄時の裁断処理、「重要度Ⅱ」の情報資産については、やむを得ず持ち出す場合の承認、廃棄時の裁断処理等のルールを定めて管理を行っていた。</p> <p>《情報資産の重要度と主なデータ》</p> <table border="1" data-bbox="273 1087 1457 1619"> <thead> <tr> <th>重要度</th> <th>内容※1</th> <th>例※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ⅰ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報が脅威にさらされた場合に実害を受ける危険性が高い情報</li> <li>システム設定や個人情報等の秘匿情報</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導要録</li> <li>出席簿</li> <li>生徒指導カード</li> <li>成績に関する個票</li> <li>健康診断に関する個人情報</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>Ⅱ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報が脅威にさらされた場合に実害を受ける危険性は低いが重要性が高く、公開することを予定していない情報</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒名簿、住所録</li> <li>緊急連絡先</li> <li>通知表</li> <li>保健室来室に係る記録</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>Ⅲ</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外の情報</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導計画</li> <li>授業用教材</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> | 重要度   | 内容※1   | 例※2 | Ⅰ | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報が脅威にさらされた場合に実害を受ける危険性が高い情報</li> <li>システム設定や個人情報等の秘匿情報</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導要録</li> <li>出席簿</li> <li>生徒指導カード</li> <li>成績に関する個票</li> <li>健康診断に関する個人情報</li> </ul> | Ⅱ | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報が脅威にさらされた場合に実害を受ける危険性は低いが重要性が高く、公開することを予定していない情報</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒名簿、住所録</li> <li>緊急連絡先</li> <li>通知表</li> <li>保健室来室に係る記録</li> </ul> | Ⅲ | <ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外の情報</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導計画</li> <li>授業用教材</li> </ul> | <p>1 重要性に応じた情報資産の分類と管理</p> <p>情報資産の重要度に応じた分類が教育庁より各府立学校へ通達されており、各府立学校はこの通達とセキュリティポリシーに基づき情報資産の分類及び管理ルールを定めて運用しているところであるが、持ち出し禁止とされている生徒指導カードを家庭訪問時に持ち出していた。</p> <p>2 ユーザIDの設定と権限管理について</p> <p>校務処理システムのユーザIDについては、各府立学校で管理しており人事異動の際に追加や削除を行っている。なお、ユーザIDは、「システム管理者」、「学校管理者」、「学年主任」、「一般職員」とそれぞれの職責に応じて権限の付与ができるが、一部の学校において本来の職責以上の権限があるユーザIDが付与されていた。また、「校務処理システムの適正管理について」（平成28年4月15日付け教育振興室長通知）（以下「室長通知」という。）により原則利用禁止とされている共用IDが利用されており、自身のユーザIDでは閲覧できない情報について、閲覧できるようになっていた。さらには、共用IDのパスワードは、定期的な変更がされていなかった。</p> <p>3 操作ログの監視について</p> <p>室長通知では、操作ログの定期的な監視を求めているが、実地監査をした2校において操作ログの監視は行われておらず、室長通知の存在についても把握されていなかった。</p> | <p>1 管理ルールに従った運用がされていない場合、紛失や盗難等による情報漏えいのリスクがあることから、通達及びセキュリティポリシーについて、情報利用の必要性と情報の適正な管理の確保を勘案した具体的なルールを検討するとともに、厳格に運用すること。</p> <p>2 職責以上の権限が付与された場合、不正なIDの追加など不正アクセス等を招くおそれがあることから、必要最小限の権限を割り当てることを検討すること。また、共用IDについては、権限がオールマイティで、恣意的に運用されると情報管理に著しい支障をきたすおそれがあることから廃止すること。</p> <p>3 操作ログの定期的な監視が実施されていない場合、不正アクセス及び不正操作がされていても検知が遅れることが考えられる。今回、2校の実地監査をしたところでは、操作ログ確認はされておらず、また、室長通知の認識もなかったことから、改めて操作ログの監視の必要性及び監視方法等を各府立学校長に対し周知徹底をするとともに定期的に高等学校課において操作ログの確認について指導を行いたい。</p> |
| 重要度   | 内容※1  | 例※2  |     |   |   |  |   |  |  |   |   |   |  |  |
| Ⅰ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報が脅威にさらされた場合に実害を受ける危険性が高い情報</li> <li>システム設定や個人情報等の秘匿情報</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導要録</li> <li>出席簿</li> <li>生徒指導カード</li> <li>成績に関する個票</li> <li>健康診断に関する個人情報</li> </ul> |     |   |   |  |   |  |  |   |   |   |  |  |
| Ⅱ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>情報が脅威にさらされた場合に実害を受ける危険性は低いが重要性が高く、公開することを予定していない情報</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒名簿、住所録</li> <li>緊急連絡先</li> <li>通知表</li> <li>保健室来室に係る記録</li> </ul>                   |     |   |   |  |   |  |  |   |   |   |  |  |
| Ⅲ   | <ul style="list-style-type: none"> <li>上記以外の情報</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導計画</li> <li>授業用教材</li> </ul>  |     |   |   |  |   |  |  |   |   |   |  |  |

《情報システムの運用・利用イメージ》



2 監査における着眼点

| No | 着眼点             | S. No | 内容 (詳細)   |
|----|-----------------|-------|---|
| 1  | 情報資産の分類と管理      | (1)   | 重要な情報資産が不適切に取扱われないよう、情報資産が重要度に応じて分類され、適切に取扱われているか         |
| 2  | 情報システム全体の強靱性の向上 | (1)   | ネットワーク経由のシステムへの不正侵入を防止するための対策が講じられているか                    |
| 3  | 物理的セキュリティ       | (1)   | サーバ、パソコン等の機器が、盗難や損傷等の物理的被害から保護されているか                      |
| 4  | 人的セキュリティ        | (1)   | 重要な情報の保護、パソコン等機器の適正な取扱い等の、情報セキュリティに関する研修や教育が適時に行われているか    |
| 5  | 技術的セキュリティ       | (1)   | パソコン及び電磁的記録媒体について、不正な情報の持ち出し等を防止するための対策が講じられているか          |
|    |                 | (2)   | ユーザ ID、パスワード及び権限の不正利用を防止するための対策が講じられているか                  |
|    |                 | (3)   | ウイルス感染からシステムを保護するための対策が講じられているか                           |
|    |                 | (4)   | 脆弱性を利用した攻撃からシステムを保護するため、ソフトウェアの脆弱性情報を収集し、適時にパッチの適用を行っているか |
|    |                 | (5)   | システムへの不正アクセス等を速やかに発見するため、セキュリティに関するログの保管、分析が行われているか       |
| 6  | 運用              | (1)   | セキュリティに関する事故が発生した場合の報告先が定められ、速やかに報告が行われているか               |
| 7  | 外部サービスの利用       | (1)   | 外部委託先においてセキュリティ対策が適切に実施されるよう、外部委託先を適切に監督しているか             |

3 実施方法と確認方法

事前ヒアリングにより事業の概要等を調査した上で、質問表を作成し、情報セキュリティ関連文書の閲覧及び監査対象機関への実地監査により回答を求めた。  
また、システム操作等については、サンプルとして2校を選定し実機確認をした。

## 措置の内容

- 1 令和2年度にセキュリティポリシーについて、重要度を4段階とする改正を行った。あわせて、各府立学校において、セキュリティポリシーに基づく「情報の分類と管理方法」について厳格な取扱方法が定められるようひな形を示し、校長等へ周知した。同ひな型において、生徒指導カードは重要度Ⅱとして位置付け、基本的に持ち出しを禁止とし、やむを得ない場合は校長等の書面等による許可のもと、例えば電子データを持ち出す場合は学校で管理している記録媒体を使用しパスワード設定等を行うなどとする取扱方法としている。  
また、セキュリティポリシーに基づく厳格な運用が確保されるよう、令和4年にセキュリティポリシーに関する動画やセキュリティポリシーのチェックリストを作成し、全校ポータルサイトに掲載した。その他、教育庁としてチェックリスト等を案内している（年1回程度）。  
さらに、令和7年2月に移行した次期校務支援システムにおいては、システムのにも機密情報としてラベリングされている情報についてはクラウド上に上げたり、外部に持ち出すことを不可としている。加えて、セキュリティを監視している専門の部隊（SOC）が常時、外部からの攻撃や、機密情報の持ち出しについて監視を行っている。
- 2 本監査結果を受けてすぐに、各府立学校あてに、校長等がシステム利用者一覧を定期的に関覧することにより、職責以上の権限が付与された等の不要なアカウントが利用されていないことを確認することとする通知を出した。また、令和7年2月に移行した上記システムにおいては、システム独自でアカウントを管理せず、教職員端末機へログインしているアカウント情報をもとに、校務支援システムへシングルサインオンする仕組みとなっている。そのため、過去利用されていた「共用ID」を利用した運用は不可能となり、必要最低限の権限割当となった。
- 3 本監査結果を受けてすぐに、校務処理システムの適正管理において定期的な操作ログの監視依頼の通知を出した。なお、現在、校務系のネットワークとして運用していた「統合ICTネットワーク」は、令和7年2月より「教職員ICTネットワーク」としてクラウドを活用したネットワークに更新した。セキュリティインシデントに対応するクラウド技術を導入することで、校務支援システムに限らず、端末や導入システムのログを24時間体制で監視し、不正な操作やアクセスに対応可能となっている。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和元年8月8日から同年12月10日まで）

公有財産管理の不備

| 対象受検機関         | 検出事項  | 是正を求める事項  |       |          |                |           |           |  |     |               |
|----------------|---|-----------|-------|----------|----------------|-----------|-----------|--|-----|---------------|
| 高槻支援学校         | <p>消防法で6月ごとに行うよう定められている消防用設備等の機器点検を1年に1回しか実施していなかった。</p> <table border="1" data-bbox="557 512 1486 638"> <thead> <tr> <th></th> <th>前回点検日</th> <th>令和3年度点検日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器点検<br/>(6月ごと)</td> <td>令和2年12月5日</td> <td>令和4年1月15日</td> </tr> </tbody> </table> |           | 前回点検日 | 令和3年度点検日 | 機器点検<br>(6月ごと) | 令和2年12月5日 | 令和4年1月15日 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【消防法】</b><br/> <b>第17条</b> 学校、(中略)その他の防火対象物で政令で定めるものの関係者は、政令で定める消防の用に供する設備、消防用水及び消火活動上必要な施設(以下「消防用設備等」という。)について消火、避難その他の消防の活動のために必要とされる性能を有するように、政令で定める技術上の基準に従って、設置し、及び維持しなければならない。</p> <p><b>第17条の3の3</b> 第17条第1項の防火対象物(政令で定めるものを除く。)の関係者は、当該防火対象物における消防用設備等又は特殊消防用設備等(第8条の2の2第1項の防火対象物にあつては、消防用設備等又は特殊消防用設備等の機能)について、総務省令で定めるところにより、定期的に、当該防火対象物のうち政令で定めるものにあつては消防設備士免状の交付を受けている者又は総務省令で定める資格を有する者に点検させ、その他のものにあつては自ら点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。</p> <p><b>【消防法施行令】</b><br/> <b>第2章</b><br/> <b>第1節 防火対象物の指定</b><br/> (防火対象物の指定)<br/> <b>第6条</b> 法第17条第1項の政令で定める防火対象物は、別表第1に掲げる防火対象物とする。<br/> <b>別表第一(抜粋)</b></p> <table border="1" data-bbox="1576 1304 2709 1381"> <tbody> <tr> <td>(六)</td> <td>ニ 幼稚園又は特別支援学校</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【消防法施行規則】</b><br/> (消防用設備等又は特殊消防用設備等の点検及び報告)<br/> <b>第31条の6</b> 法第17条の3の3の規定による消防用設備等の点検は、種類及び点検内容に応じて、1年以内で消防庁長官が定める期間ごとに行うものとする。</p> | (六) | ニ 幼稚園又は特別支援学校 |
|                | 前回点検日   | 令和3年度点検日  |       |          |                |           |           |  |     |               |
| 機器点検<br>(6月ごと) | 令和2年12月5日   | 令和4年1月15日 |       |          |                |           |           |  |     |               |
| (六)            | ニ 幼稚園又は特別支援学校   |           |       |          |                |           |           |  |     |               |

【消防法施行規則の規定に基づき、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式を定める件（平成16年消防庁告示第9号）】

消防法施行規則(昭和36年自治省令第6号)第31条の6第1項及び第4項の規定に基づき、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式を次のとおり定める。

第3 点検の期間

点検の期間は、次の表の上欄（左欄）に掲げる消防用設備等の種類等並びに同表中欄に掲げる点検の内容及び方法に応じ、同表下欄（右欄）に掲げるとおりとする。ただし、特殊消防用設備等にあつては、法第17条第3項に規定する設備等設置維持計画に定める期間によるものとする。

| 消防用設備等の種類等  | 点検の内容及び方法 | 点検の期間 |
|---|-----------|-------|
| 消火器具、消防機関へ通報する火災報知設備、誘導灯、誘導標識、消防用水、非常コンセント設備、連結散水設備、無線通信補助設備及び共同住宅用非常コンセント設備  | 機器点検      | 6月    |
| 屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備、屋外消火栓設備、動力消防ポンプ設備、自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、漏電火災警報器、非常警報器具及び設備、避難器具、排煙設備、連結送水管、非常電源(配線の部分を除く)、総合操作盤、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、共同住宅用スプリンクラー設備、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、共同住宅用非常警報設備、共同住宅用連結送水管、特定小規模施設用自動火災報知設備、加圧防排煙設備、複合型居住施設用自動火災報知設備並びに特定駐車場用泡消火設備 | 機器点検      | 6月    |
| 配線  | 総合点検      | 1年    |

措置の内容

検出事項について、令和5年7月15日に消防用設備等の機器点検を実施し、令和6年1月29日に機器点検及び総合点検を実施した。  
検出事項の原因は、消防法及び消防用設備等の点検について、職員が十分な認識を持っていなかったことにある。  
再発防止に向け、事務分担に法定点検の担当を明記するとともに、学校組織として消防用設備等の点検の内容について情報共有を図った。  
今後は、法令等に基づき、適正な点検の実施を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和4年12月2日）

公有財産管理の不備

| 対象受検機関         | 検出事項  | 是正を求める事項  |       |          |                |           |           |   |     |               |
|----------------|---|-----------|-------|----------|----------------|-----------|-----------|---|-----|---------------|
| 東淀川支援学校        | <p>消防法で6月ごとに行うよう定められている消防用設備等の機器点検を1年に1回しか実施していなかった。</p> <table border="1" data-bbox="552 510 1492 636"> <thead> <tr> <th></th> <th>前回点検日</th> <th>令和3年度点検日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器点検<br/>(6月ごと)</td> <td>令和3年3月25日</td> <td>令和4年3月25日</td> </tr> </tbody> </table> |           | 前回点検日 | 令和3年度点検日 | 機器点検<br>(6月ごと) | 令和3年3月25日 | 令和4年3月25日 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【消防法】</b><br/> <b>第17条</b> 学校、(中略)その他の防火対象物で政令で定めるものの関係者は、政令で定める消防の用に供する設備、消防用水及び消火活動上必要な施設(以下「消防用設備等」という。)について消火、避難その他の消防の活動のために必要とされる性能を有するように、政令で定める技術上の基準に従って、設置し、及び維持しなければならない。</p> <p><b>第17条の3の3</b> 第17条第1項の防火対象物(政令で定めるものを除く。)の関係者は、当該防火対象物における消防用設備等又は特殊消防用設備等(第8条の2の2第1項の防火対象物にあつては、消防用設備等又は特殊消防用設備等の機能)について、総務省令で定めるところにより、定期に、当該防火対象物のうち政令で定めるものにあつては消防設備士免状の交付を受けている者又は総務省令で定める資格を有する者に点検させ、その他のものにあつては自ら点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。</p> <p><b>【消防法施行令】</b><br/> <b>第2章</b><br/> <b>第1節 防火対象物の指定</b><br/> (防火対象物の指定)<br/> <b>第6条</b> 法第17条第1項の政令で定める防火対象物は、別表第1に掲げる防火対象物とする。<br/> <b>別表第一(抜粋)</b></p> <table border="1" data-bbox="1576 1304 2709 1381"> <tbody> <tr> <td>(六)</td> <td>ニ 幼稚園又は特別支援学校</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【消防法施行規則】</b><br/> (消防用設備等又は特殊消防用設備等の点検及び報告)<br/> <b>第31条の6</b> 法第17条の3の3の規定による消防用設備等の点検は、種類及び点検内容に応じて、1年以内で消防庁長官が定める期間ごとに行うものとする。</p> | (六) | ニ 幼稚園又は特別支援学校 |
|                | 前回点検日   | 令和3年度点検日  |       |          |                |           |           |   |     |               |
| 機器点検<br>(6月ごと) | 令和3年3月25日   | 令和4年3月25日 |       |          |                |           |           |   |     |               |
| (六)            | ニ 幼稚園又は特別支援学校   |           |       |          |                |           |           |   |     |               |

【消防法施行規則の規定に基づき、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式を定める件（平成16年消防庁告示第9号）】

消防法施行規則(昭和36年自治省令第6号)第31条の6第1項及び第4項の規定に基づき、消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式を次のとおり定める。

第3 点検の期間

点検の期間は、次の表の上欄（左欄）に掲げる消防用設備等の種類等並びに同表中欄に掲げる点検の内容及び方法に応じ、同表下欄（右欄）に掲げるとおりとする。ただし、特殊消防用設備等にあつては、法第17条第3項に規定する設備等設置維持計画に定める期間によるものとする。

| 消防用設備等の種類等  | 点検の内容及び方法 | 点検の期間 |
|---|-----------|-------|
| 消火器具、消防機関へ通報する火災報知設備、誘導灯、誘導標識、消防用水、非常コンセント設備、連結散水設備、無線通信補助設備及び共同住宅用非常コンセント設備  | 機器点検      | 6月    |
| 屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備、粉末消火設備、屋外消火栓設備、動力消防ポンプ設備、自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、漏電火災警報器、非常警報器具及び設備、避難器具、排煙設備、連結送水管、非常電源(配線の部分を除く)、総合操作盤、パッケージ型消火設備、パッケージ型自動消火設備、共同住宅用スプリンクラー設備、共同住宅用自動火災報知設備、住戸用自動火災報知設備、共同住宅用非常警報設備、共同住宅用連結送水管、特定小規模施設用自動火災報知設備、加圧防排煙設備、複合型居住施設用自動火災報知設備並びに特定駐車場用泡消火設備 | 機器点検      | 6月    |
| 配線  | 総合点検      | 1年    |

措置の内容

検出事項について、令和5年8月24日に消防用設備等の機器点検を実施し、令和6年3月27日に機器点検及び総合点検を実施した。  
検出事項の原因は、消防法及び消防用設備等の点検について、担当者及び他の職員が十分な認識を持っていなかったことにある。  
再発防止に向け、担当者に対し消防法及び消防用設備等の点検について正しく認識させるとともに、学校組織として消防用設備等の点検の内容を共有した。  
今後は、法令等に基づき、適正な点検の実施を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和4年10月3日から令和5年1月31日まで）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項  |                    |                        |        |                     |   |       |           |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
|----------|---|---|--------------------|------------------------|--------|---------------------|---|-------|-----------|--------------------|------------------------|---|----|----|-----|----|----------|--------------------|---|-----|
| 東淀川高等学校  | <p>人間ドックの受診に係る職務専念義務の免除について、受診前後の勤務に服さなかった時間は年休等取得の手続を行わなければならないが、必要と認める時間以外にわたって職務専念義務が免除されていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 548 1608 831"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>健康診断名</th> <th>検診日</th> <th>検診等の時間</th> <th>職務に専念する義務の免除を承認した時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>人間ドック</td> <td>令和4年8月18日</td> <td>午前8時30分から午後0時30分まで</td> <td>午前8時30分から午後5時00分まで(全日)</td> </tr> </tbody> </table> | 職員  | 健康診断名              | 検診日                    | 検診等の時間 | 職務に専念する義務の免除を承認した時間 | A | 人間ドック | 令和4年8月18日 | 午前8時30分から午後0時30分まで | 午前8時30分から午後5時00分まで(全日) | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p><b>【地方公務員法】</b><br/> <b>(職務に専念する義務)</b><br/> <b>第35条</b> 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。</p> <p><b>【職務に専念する義務の特例に関する条例】</b><br/> <b>(職務に専念する義務の免除)</b><br/> <b>第2条</b> 府の職員及び府が設立した地方独立行政法人法第2条第2項に規定する特定地方独立行政法人(以下「特定地方独立行政法人」という。)の職員は、次の各号の一に該当する場合には、あらかじめ任命権者(特定地方独立行政法人の理事長を含む。)又はこれらの委任を受けた者の承認を得て、その職務に専念する義務を免除されることができる。<br/>                 二 厚生に関する計画の実施に参加する場合</p> <p><b>【学校職場における勤務条件等(制度解説)】(府立学校版)</b><br/> <b>第7章 服務</b><br/> <b>7 職務専念義務の免除(職務に専念する義務の特例に関する条例に基づく)</b><br/>                 ○条例に基づく職務専念義務の免除<br/>                 本府においては、職務専念義務の特例を「職務に専念する義務の特例に関する条例」及び「職務に専念する義務の特例に関する規則」により定めており、次に掲げる場合には、例外的に職務に専念する義務の免除を受けることができる。</p> <table border="1" data-bbox="1768 1409 2674 1675"> <thead> <tr> <th>根拠</th> <th>条文</th> <th>具体例</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>条例第2条第2号</td> <td>厚生に関する計画の実施に参加する場合</td> <td>健康管理<br/>ア. 希望者を対象のもの<br/>人間ドック、乳がん・子宮がん検診、大腸検査等<br/>(以下略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table> </div> | 根拠 | 条文 | 具体例 | 備考 | 条例第2条第2号 | 厚生に関する計画の実施に参加する場合 | 健康管理<br>ア. 希望者を対象のもの<br>人間ドック、乳がん・子宮がん検診、大腸検査等<br>(以下略) | (略) |
| 職員       | 健康診断名   | 検診日   | 検診等の時間             | 職務に専念する義務の免除を承認した時間    |        |                     |   |       |           |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
| A        | 人間ドック   | 令和4年8月18日   | 午前8時30分から午後0時30分まで | 午前8時30分から午後5時00分まで(全日) |        |                     |   |       |           |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
| 根拠       | 条文  | 具体例   | 備考                 |                        |        |                     |   |       |           |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
| 条例第2条第2号 | 厚生に関する計画の実施に参加する場合  | 健康管理<br>ア. 希望者を対象のもの<br>人間ドック、乳がん・子宮がん検診、大腸検査等<br>(以下略) | (略)                |                        |        |                     |   |       |           |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |

措置の内容

誤って承認した職務専念義務の免除については取り消し、年次休暇として処理を行った。  
検出事項の原因は、申請者が職員健康管理事業におけるサービスの取扱いについて誤った認識を持っていたことと、直接監督責任者の確認不足にある。  
再発防止に向けて、関係職員に対し、サービスに係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、職員の職務専念義務免除の申請に対して直接監督責任者が承認を行う際は内容の確認を徹底することでチェック体制を強化した。  
今後は、法令に基づき、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月19日）

不適切なサービス管理及び管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項               |                        |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |
|---------|--|------------------------|------------------------|-----|-------|---|------|-----------|------|----|------------|------------|---------|---|------------------------|------------------------|------------------------|----|----|----|---|-----------|--------|---|-----------|--------|-----------|--------|----|------------|------------|---------|---|------------------------|------------------------|------------------------|--|
| 東淀川高等学校 | <p>出勤簿について、早退となっているものが2件あった。<br/>このうち1件（職員A）については、管内出張（宅着）をしていたにもかかわらず、出張入力を怠っていたため、旅費が未払となっていた。他の1件（職員B）については、年休を取得していたが、誤った時間で届出・承認されていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 569 1605 711"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>出張先</th> <th>出張日</th> <th>未払旅費額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>大阪市内</td> <td>令和4年5月17日</td> <td>660円</td> </tr> </tbody> </table><br><table border="1" data-bbox="513 770 1605 963"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>(誤) 年休取得時間</th> <th>(正) 年休取得時間</th> <th>実際の勤務時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>午後0時30分から<br/>午後5時00分まで</td> <td>午後0時15分から<br/>午後5時00分まで</td> <td>午前8時30分から<br/>午後0時15分まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、遅参となっているものが4件あった。<br/>このうち3件（職員C、D）については、本来年休取得により処理することとしていたが、当該手続が行われずに放置されていた。他の1件（職員E）については、年休を取得していたが、誤った時間で届出・承認されていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 1211 1605 1493"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>日付</th> <th>原因</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C</td> <td>令和5年3月22日</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">D</td> <td>令和5年3月30日</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月31日</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> </tbody> </table><br><table border="1" data-bbox="513 1551 1605 1745"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>(誤) 年休取得時間</th> <th>(正) 年休取得時間</th> <th>実際の勤務時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E</td> <td>午前8時30分から<br/>午後0時30分まで</td> <td>午前8時30分から<br/>午後0時50分まで</td> <td>午後1時35分から<br/>午後5時00分まで</td> </tr> </tbody> </table> | 職員                     | 出張先                    | 出張日 | 未払旅費額 | A | 大阪市内 | 令和4年5月17日 | 660円 | 職員 | (誤) 年休取得時間 | (正) 年休取得時間 | 実際の勤務時間 | B | 午後0時30分から<br>午後5時00分まで | 午後0時15分から<br>午後5時00分まで | 午前8時30分から<br>午後0時15分まで | 職員 | 日付 | 原因 | C | 令和5年3月22日 | 年休入力漏れ | D | 令和5年3月30日 | 年休入力漏れ | 令和5年3月31日 | 年休入力漏れ | 職員 | (誤) 年休取得時間 | (正) 年休取得時間 | 実際の勤務時間 | E | 午前8時30分から<br>午後0時30分まで | 午前8時30分から<br>午後0時50分まで | 午後1時35分から<br>午後5時00分まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員      | 出張先  | 出張日                    | 未払旅費額                  |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |
| A       | 大阪市内   | 令和4年5月17日              | 660円                   |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |
| 職員      | (誤) 年休取得時間   | (正) 年休取得時間             | 実際の勤務時間                |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |
| B       | 午後0時30分から<br>午後5時00分まで   | 午後0時15分から<br>午後5時00分まで | 午前8時30分から<br>午後0時15分まで |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |
| 職員      | 日付   | 原因                     |                        |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |
| C       | 令和5年3月22日  | 年休入力漏れ                 |                        |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |
| D       | 令和5年3月30日  | 年休入力漏れ                 |                        |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |
|         | 令和5年3月31日  | 年休入力漏れ                 |                        |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |
| 職員      | (誤) 年休取得時間   | (正) 年休取得時間             | 実際の勤務時間                |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |
| E       | 午前8時30分から<br>午後0時30分まで   | 午前8時30分から<br>午後0時50分まで | 午後1時35分から<br>午後5時00分まで |     |       |   |      |           |      |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |    |    |    |   |           |        |   |           |        |           |        |    |            |            |         |   |                        |                        |                        |  |

措置の内容

検出事項について、勤務実態を確認し、職員Aの未払となっていた旅費については、追給を行った。また、職員B～Eについては、速やかに年次休暇の手続の上、出勤簿の修正を行った。検出事項の原因は、申請者が管内旅費及び年次休暇取得の入力を怠っていたこと、休憩時間を誤認し年次休暇取得の入力時間を誤ったこと、直接監督責任者が出勤簿状況確認を見落としていたことにある。

再発防止に向けて、出張及び年次休暇に係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、直接監督責任者が出勤簿状況の確認を徹底することでチェック体制を強化した。

今後は、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月19日）

時間外等勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |    |   |        |    |        |    |        |    |   |        |    |        |    |   |
|---|--|----------|--------|----|---|--------|----|--------|----|--------|----|---|--------|----|--------|----|---|
| 東淀川高等学校   | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものが7件あった。</p> <table border="1" data-bbox="528 611 1190 1142"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>事実発生時期</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">A</td> <td>令和4年5月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和4年6月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B</td> <td>令和4年6月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和4年5月 | 1件 | 令和4年6月 | 1件 | 令和5年3月 | 1件 | B | 令和4年6月 | 1件 | 令和5年3月 | 3件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期   | 件数       |        |    |   |        |    |        |    |        |    |   |        |    |        |    |   |
| A   | 令和4年5月   | 1件       |        |    |   |        |    |        |    |        |    |   |        |    |        |    |   |
|   | 令和4年6月   | 1件       |        |    |   |        |    |        |    |        |    |   |        |    |        |    |   |
|   | 令和5年3月   | 1件       |        |    |   |        |    |        |    |        |    |   |        |    |        |    |   |
| B   | 令和4年6月   | 1件       |        |    |   |        |    |        |    |        |    |   |        |    |        |    |   |
|   | 令和5年3月   | 3件       |        |    |   |        |    |        |    |        |    |   |        |    |        |    |   |
| <b>措置の内容</b>  |  |          |        |    |   |        |    |        |    |        |    |   |        |    |        |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>                 再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>                 今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接監督責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |  |          |        |    |   |        |    |        |    |        |    |   |        |    |        |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月19日）

公有財産管理の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項  |     |  |
|---------|--|---|-----|--|
| 東淀川高等学校 | 消防法で3年に1回と定められている、消防用設備等の点検結果の報告を、令和元年11月5日に報告した日以降、報告していなかった。 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【消防法】</b><br/> 第17条 学校、(中略) その他の防火対象物で政令で定めるものの関係者は、政令で定める消防の用に供する設備、消防用水及び消火活動上必要な施設(以下「消防用設備等」という。)について消火、避難その他の消防の活動のために必要とされる性能を有するように、政令で定める技術上の基準に従って、設置し、及び維持しなければならない。</p> <p>第17条の3の3 第17条第1項の防火対象物(政令で定めるものを除く。)の関係者は、当該防火対象物における消防用設備等又は特殊消防用設備等(第8条の2の2第1項の防火対象物にあつては、消防用設備等又は特殊消防用設備等の機能)について、総務省令で定めるところにより、定期的に、当該防火対象物のうち政令で定めるものにあつては消防設備士免状の交付を受けている者又は総務省令で定める資格を有する者に点検させ、その他のものにあつては自ら点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。</p> <p><b>【消防法施行令】</b><br/> 第2章<br/> 第1節 防火対象物の指定<br/> (防火対象物の指定)<br/> 第6条 法第17条第1項の政令で定める防火対象物は、別表第1に掲げる防火対象物とする。<br/> 別表第一(抜粋)</p> <table border="1" data-bbox="1576 1304 2709 1409"> <tr> <td>(七)</td> <td>小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの</td> </tr> </table> <p><b>【消防法施行規則】</b><br/> (消防用設備等又は特殊消防用設備等の点検及び報告)<br/> 第31条の6 法第17条の3の3の規定による消防用設備等の点検は、種類及び点検内容に応じて、1年以内で消防庁長官が定める期間ごとに行うものとする。<br/> 3 防火対象物の関係者は、前2項の規定により点検を行った結果を、(中略) 次の各号に掲げる防火対象物の区分に従い、当該各号に定める期間ごとに消防長又は消防署長に報告しなければならない。(以下略)<br/> 二 令別表第一(中略)(七)項(中略)に掲げる防火対象物 三年に一回</p> | (七) | 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの |
| (七)     | 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの     |   |     |  |

#### 措置の内容

検出事項について、監査後、直ちに消防用設備等の点検結果の報告を行った。  
検出事項の原因は、消防法及び消防用設備等の点検について担当者及び他の職員が十分な認識を持っていなかったことにある。  
再発防止に向けて、関係職員に対し周知徹底をするとともに、複数の職員で実施状況の確認を行うことにより、チェック体制を強化した。  
今後は、法令等に基づき、適正な点検報告を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月19日）

旅費の精算事務の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項  |        |            |       |     |   |     |           |        |            |   |     |           |        |            |  |
|--|--|-----------|--------|------------|-------|-----|---|-----|-----------|--------|------------|---|-----|-----------|--------|------------|--|
| 旭高等学校  | <p>旅費の概算払をしたときは、概算払を受けた者は旅費の確定後30日以内に精算を行い、支出命令者は同期間内に精算させなければならないが、ともに当該行為を怠り、精算が遅延しているものが2件あった。</p> <table border="1" data-bbox="498 575 1635 840"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>出張先</th> <th>出張期間</th> <th>旅費支給額</th> <th>精算日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>滋賀県</td> <td>令和4年8月16日</td> <td>2,680円</td> <td>令和4年11月22日</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>滋賀県</td> <td>令和4年8月16日</td> <td>1,700円</td> <td>令和4年11月22日</td> </tr> </tbody> </table> | 職員        | 出張先    | 出張期間       | 旅費支給額 | 精算日 | A | 滋賀県 | 令和4年8月16日 | 2,680円 | 令和4年11月22日 | B | 滋賀県 | 令和4年8月16日 | 1,700円 | 令和4年11月22日 | <p>検出事項について、概算払を受けた者に対し、精算の必要性について周知徹底し、支出命令者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【地方自治法施行令】<br/>(概算払)<br/>第162条 次の各号に掲げる経費については、概算払をすることができる。<br/>一 旅費</p> <p>【大阪府財務規則】<br/>(概算払の精算)<br/>第47条 支出命令者は、概算払をしたときは、その債務の額が確定した後30日以内に、概算払を受けた者に精算させなければならない。</p> |
| 職員   | 出張先  | 出張期間      | 旅費支給額  | 精算日        |       |     |   |     |           |        |            |   |     |           |        |            |  |
| A  | 滋賀県  | 令和4年8月16日 | 2,680円 | 令和4年11月22日 |       |     |   |     |           |        |            |   |     |           |        |            |  |
| B  | 滋賀県  | 令和4年8月16日 | 1,700円 | 令和4年11月22日 |       |     |   |     |           |        |            |   |     |           |        |            |  |
| 措置の内容  |  |           |        |            |       |     |   |     |           |        |            |   |     |           |        |            |  |
| <p>是正を求められた事項について、関係職員に対して精算の必要性について周知徹底するとともに、支出命令者及び事務担当者が復命書及びSSCでの定期的な確認を行うこととした。今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |           |        |            |       |     |   |     |           |        |            |   |     |           |        |            |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年1月25日）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項                        |                                |                     |        |   |                           |                                |                                |   |          |                                 |                           |   |
|---|--|---------------------------------|--------------------------------|---------------------|--------|---|---------------------------|--------------------------------|--------------------------------|---|----------|---------------------------------|---------------------------|---|
| 旭高等学校   | <p>新型コロナウイルス感染症に係る職務専念義務の免除について、要件に該当しないものを承認していた。</p> <table border="1" data-bbox="528 495 1599 821"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>承認日</th> <th>職務に専念する義務の免除を承認した時間</th> <th>免除願の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>(注1)<br/>令和4年8月3日から同月15日まで</td> <td>午前8時30分から<br/>午後5時00分まで<br/>(全日)</td> <td>(注1)<br/>コロナ後の体調不良・<br/>コロナ不安のため</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>令和4年7月6日</td> <td>(注2)<br/>午前10時30分から<br/>午後5時00分まで</td> <td>濃厚接触者の可能性があり、<br/>検査を受けるため</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 令和4年8月3日(水)から同月12日(金)までの期間は、免除願の理由の記載が誤っており、職務専念義務免除の要件には該当していたが、同月15日(月)については要件に該当していない。</p> <p>(注2) システム上は、「午前10時30分から午後0時30分まで」、「午後1時15分から午後5時00分まで」と入力されていた。</p> | 職員                              | 承認日                            | 職務に専念する義務の免除を承認した時間 | 免除願の理由 | A | (注1)<br>令和4年8月3日から同月15日まで | 午前8時30分から<br>午後5時00分まで<br>(全日) | (注1)<br>コロナ後の体調不良・<br>コロナ不安のため | B | 令和4年7月6日 | (注2)<br>午前10時30分から<br>午後5時00分まで | 濃厚接触者の可能性があり、<br>検査を受けるため | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【地方公務員法】</b><br/>(職務に専念する義務)<br/>第35条 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。</p> <p><b>【職務に専念する義務の特例に関する条例】</b><br/>(職務に専念する義務の免除)<br/>第2条 府の職員及び府が設立した地方独立行政法人法第2条第2項に規定する特定地方独立行政法人(以下「特定地方独立行政法人」という。)の職員は、次の各号の一に該当する場合には、あらかじめ任命権者(特定地方独立行政法人の理事長を含む。)又はこれらの委任を受けた者の承認を得て、その職務に専念する義務を免除されることができる。<br/>三 前2号に規定する場合を除くほか、人事委員会(特定地方独立行政法人の職員に係るものにあつては、当該特定地方独立行政法人の理事長)が定める場合</p> <p><b>【職務に専念する義務の特例に関する規則】</b><br/>(職務に専念する義務の免除)<br/>第2条 職員は、次の各号のいずれかに該当する場合には、あらかじめ任命権者又はその委任を受けた者の承諾を得て、その職務に専念する義務を免除されることができる。</p> </div> |
| 職員  | 承認日  | 職務に専念する義務の免除を承認した時間             | 免除願の理由                         |                     |        |   |                           |                                |                                |   |          |                                 |                           |   |
| A   | (注1)<br>令和4年8月3日から同月15日まで  | 午前8時30分から<br>午後5時00分まで<br>(全日)  | (注1)<br>コロナ後の体調不良・<br>コロナ不安のため |                     |        |   |                           |                                |                                |   |          |                                 |                           |   |
| B   | 令和4年7月6日   | (注2)<br>午前10時30分から<br>午後5時00分まで | 濃厚接触者の可能性があり、<br>検査を受けるため      |                     |        |   |                           |                                |                                |   |          |                                 |                           |   |
| <b>措置の内容</b>  |  |                                 |                                |                     |        |   |                           |                                |                                |   |          |                                 |                           |   |
| <p>誤って承認した職務専念義務の免除については取り消し、年次休暇として処理を行った。</p> <p>検出事項の原因は、申請者が新型コロナウイルス感染症に関するサービスの取扱いについて誤った認識を持っていたことと、直接監督責任者の確認不足にある。</p> <p>再発防止に向けて、関係職員に対し、サービスに係る申請を適正に行うように周知するとともに、職務専念義務免除の申請に対して直接監督責任者が承認を行う際は内容の確認を徹底することでチェック体制を強化した。</p> <p>今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |                                 |                                |                     |        |   |                           |                                |                                |   |          |                                 |                           |   |

監査(検査)実施年月日(委員:令和一年一月一日、事務局:令和6年1月25日)

公有財産台帳の登載誤り

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |                                    |                                    |       |      |    |       |         |    |                                    |    |        |         |    |                                    |    |      |    |      |    |    |       |                                    |  |
|---|--|----------|------------------------------------|------------------------------------|-------|------|----|-------|---------|----|------------------------------------|----|--------|---------|----|------------------------------------|----|------|----|------|----|----|-------|------------------------------------|--|
| <p>平野高等学校</p>   | <p>行政財産の使用許可の更新について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="498 533 1635 800"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>許可数量</th> <th>目的</th> <th>年間使用料</th> <th>許可期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td>0.36㎡</td> <td>公共基準点設置</td> <td>免除</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>0.005㎡</td> <td>公共基準点設置</td> <td>免除</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 公有財産台帳では、許可期間が「平成30年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> <p>また、行政財産の使用承認の更新について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="498 1024 1442 1178"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>承認数量</th> <th>目的</th> <th>承認期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td>1本</td> <td>道路標識柱</td> <td>(注2)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注2) 公有財産台帳では、承認期間が「平成30年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> | 種別       | 許可数量                               | 目的                                 | 年間使用料 | 許可期間 | 土地 | 0.36㎡ | 公共基準点設置 | 免除 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 建物 | 0.005㎡ | 公共基準点設置 | 免除 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 種別 | 承認数量 | 目的 | 承認期間 | 土地 | 1本 | 道路標識柱 | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【大阪府公有財産規則】</b><br/>(使用状況の確認)<br/>第31条 部局長等は、その所管する行政財産の使用の許可の内容について、知事が別に定めるところにより公有財産台帳に登載し、毎年一回、その許可に係る行政財産の使用の状況を実地について調査し、確認しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>(使用許可、貸付又は使用承認の状況)<br/>第19条 部局長等は、使用許可、貸付又は使用承認を行ったときは、システムを用いて使用許可、貸付又は使用承認の情報を当該年度に登録するものとする。<br/>2 登録した使用許可、貸付又は使用承認の状況に異動があったときは、システムを用いて異動登録を行うものとする。</p> |
| 種別  | 許可数量   | 目的       | 年間使用料                              | 許可期間                               |       |      |    |       |         |    |                                    |    |        |         |    |                                    |    |      |    |      |    |    |       |                                    |  |
| 土地  | 0.36㎡  | 公共基準点設置  | 免除                                 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |       |         |    |                                    |    |        |         |    |                                    |    |      |    |      |    |    |       |                                    |  |
| 建物  | 0.005㎡   | 公共基準点設置  | 免除                                 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |       |         |    |                                    |    |        |         |    |                                    |    |      |    |      |    |    |       |                                    |  |
| 種別  | 承認数量   | 目的       | 承認期間                               |                                    |       |      |    |       |         |    |                                    |    |        |         |    |                                    |    |      |    |      |    |    |       |                                    |  |
| 土地  | 1本   | 道路標識柱    | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |                                    |       |      |    |       |         |    |                                    |    |        |         |    |                                    |    |      |    |      |    |    |       |                                    |  |
| <p><b>措置の内容</b></p>   |  |          |                                    |                                    |       |      |    |       |         |    |                                    |    |        |         |    |                                    |    |      |    |      |    |    |       |                                    |  |
| <p>検出事項について、公有財産台帳に登載を行った。<br/>                 検出事項の原因は、担当者が公有財産台帳への登載を失念していたことにある。<br/>                 再発防止に向けて、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |          |                                    |                                    |       |      |    |       |         |    |                                    |    |        |         |    |                                    |    |      |    |      |    |    |       |                                    |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月24日）

有効期間を経過した計量器の使用

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項 |         |           |        |  |
|--|---|----------|---------|-----------|--------|--|
| <p>平野高等学校</p>  | <p>行政財産の使用許可を行った食堂業者の営業に伴うガス料金について、特定計量器により使用量を計量し、使用者から負担金を徴収しているが、検定証印等の有効期間を経過した特定計量器を使用していた。</p> <table border="1" data-bbox="566 590 1368 732"> <thead> <tr> <th data-bbox="566 590 1035 663">計量器の種類</th> <th data-bbox="1035 590 1368 663">有効期間の終期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="566 663 1035 732">ガスメーター 1台</td> <td data-bbox="1035 663 1368 732">令和5年1月</td> </tr> </tbody> </table> | 計量器の種類   | 有効期間の終期 | ガスメーター 1台 | 令和5年1月 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【計量法】</b><br/>(使用の制限)<br/>第16条 次の各号の一に該当するもの(船舶の喫水により積載した貨物の質量の計量をする場合におけるその船舶及び政令で定める特定計量器を除く。)は、取引又は証明における法定計量単位による計量(第2条第1項第2号に掲げる物象の状態の量であって政令で定めるものの第6条の経済産業省令で定める計量単位による計量を含む。第18条、第19条第1項及び第151条第1項において同じ。)に使用し、又は使用に供するために所持してはならない。<br/>三 第72条第2項の政令で定める特定計量器で同条第1項の検定証印又は第96条第1項の表示(以下「検定証印等」という。)が付されているものであって、検定証印等の有効期間を経過したもの</p> |
| 計量器の種類   | 有効期間の終期   |          |         |           |        |  |
| ガスメーター 1台  | 令和5年1月  |          |         |           |        |  |
| <p>措置の内容</p>   |   |          |         |           |        |  |
| <p>当該ガスメーターを有効期限が2031年2月までのものと交換した。<br/>検出事項の原因は、計量法について担当者及び他の職員が十分な認識を持っていなかったことにある。<br/>再発防止に向けて、関係職員に対し、計量器の有効期間が過ぎることのないよう周知を行った。<br/>今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |         |           |        |  |

監査(検査)実施年月日(委員:令和一年一月一日、事務局:令和5年10月24日)

旅費の精算事務の不備

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項           |         |           |       |     |   |      |                    |         |           |  |
|--|---|--------------------|---------|-----------|-------|-----|---|------|--------------------|---------|-----------|--|
| <p>芥川高等学校</p>  | <p>旅費の概算払をしたときは、概算払を受けた者は旅費の確定後<b>30日</b>以内に精算を行い、支出命令者は同期間内に精算させなければならないが、ともに当該行為を怠り、精算が遅延しているものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="498 575 1632 751"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>出張先</th> <th>出張期間</th> <th>旅費支給額</th> <th>精算日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>神奈川県</td> <td>令和5年1月15日から同月16日まで</td> <td>37,100円</td> <td>令和5年3月27日</td> </tr> </tbody> </table> | 職員                 | 出張先     | 出張期間      | 旅費支給額 | 精算日 | A | 神奈川県 | 令和5年1月15日から同月16日まで | 37,100円 | 令和5年3月27日 | <p>検出事項について、概算払を受けた者に対し、精算の必要性について周知徹底し、支出命令者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【地方自治法施行令】</b><br/>(概算払)<br/>第162条 次の各号に掲げる経費については、概算払をすることができる。<br/>一 旅費</p> <p><b>【大阪府財務規則】</b><br/>(概算払の精算)<br/>第47条 支出命令者は、概算払をしたときは、その債務の額が確定した後<b>30日</b>以内に、概算払を受けた者に精算させなければならない。</p> </div> |
| 職員   | 出張先   | 出張期間               | 旅費支給額   | 精算日       |       |     |   |      |                    |         |           |  |
| A  | 神奈川県  | 令和5年1月15日から同月16日まで | 37,100円 | 令和5年3月27日 |       |     |   |      |                    |         |           |  |
| <p><b>措置の内容</b></p>  |   |                    |         |           |       |     |   |      |                    |         |           |  |
| <p>是正を求められた事項について、関係職員に対して精算の必要性について周知徹底するとともに、担当職員、支出命令者及び概算払を受けた者の間で密に連絡を取り、精算の完了を複数人で確認することとした。また、支出命令者及び事務担当者が復命書及びSSCでの定期的な確認を行うこととした。<br/>                 今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |                    |         |           |       |     |   |      |                    |         |           |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月8日）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項  |                    |                        |        |                     |   |       |            |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
|----------|--|---|--------------------|------------------------|--------|---------------------|---|-------|------------|--------------------|------------------------|---|----|----|-----|----|----------|--------------------|---|-----|
| 芥川高等学校   | <p>人間ドックの受診に係る職務専念義務の免除について、受診前後の勤務に服さなかった時間は年休等取得の手続を行わなければならないが、必要と認める時間以外にわたって職務専念義務が免除されていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 548 1608 831"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>健康診断名</th> <th>検診日</th> <th>検診等の時間</th> <th>職務に専念する義務の免除を承認した時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>人間ドック</td> <td>令和4年10月12日</td> <td>午前8時30分から午後0時30分まで</td> <td>午前8時30分から午後5時00分まで(全日)</td> </tr> </tbody> </table> | 職員  | 健康診断名              | 検診日                    | 検診等の時間 | 職務に専念する義務の免除を承認した時間 | A | 人間ドック | 令和4年10月12日 | 午前8時30分から午後0時30分まで | 午前8時30分から午後5時00分まで(全日) | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p><b>【地方公務員法】</b><br/> <b>(職務に専念する義務)</b><br/> <b>第35条</b> 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。</p> <p><b>【職務に専念する義務の特例に関する条例】</b><br/> <b>(職務に専念する義務の免除)</b><br/> <b>第2条</b> 府の職員及び府が設立した地方独立行政法人法第2条第2項に規定する特定地方独立行政法人(以下「特定地方独立行政法人」という。)の職員は、次の各号の一に該当する場合には、あらかじめ任命権者(特定地方独立行政法人の理事長を含む。)又はこれらの委任を受けた者の承認を得て、その職務に専念する義務を免除されることができる。<br/>                 二 厚生に関する計画の実施に参加する場合</p> <p><b>【学校職場における勤務条件等(制度解説)】(府立学校版)</b><br/> <b>第7章 服務</b><br/> <b>7 職務専念義務の免除(職務に専念する義務の特例に関する条例に基づく)</b><br/>                 ○条例に基づく職務専念義務の免除<br/>                 本府においては、職務専念義務の特例を「職務に専念する義務の特例に関する条例」及び「職務に専念する義務の特例に関する規則」により定めており、次に掲げる場合には、例外的に職務に専念する義務の免除を受けることができる。</p> <table border="1" data-bbox="1768 1409 2674 1675"> <thead> <tr> <th>根拠</th> <th>条文</th> <th>具体例</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>条例第2条第2号</td> <td>厚生に関する計画の実施に参加する場合</td> <td>健康管理<br/>ア. 希望者を対象のもの<br/>人間ドック、乳がん・子宮がん検診、大腸検査等<br/>(以下略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table> </div> | 根拠 | 条文 | 具体例 | 備考 | 条例第2条第2号 | 厚生に関する計画の実施に参加する場合 | 健康管理<br>ア. 希望者を対象のもの<br>人間ドック、乳がん・子宮がん検診、大腸検査等<br>(以下略) | (略) |
| 職員       | 健康診断名  | 検診日   | 検診等の時間             | 職務に専念する義務の免除を承認した時間    |        |                     |   |       |            |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
| A        | 人間ドック  | 令和4年10月12日  | 午前8時30分から午後0時30分まで | 午前8時30分から午後5時00分まで(全日) |        |                     |   |       |            |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
| 根拠       | 条文   | 具体例   | 備考                 |                        |        |                     |   |       |            |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
| 条例第2条第2号 | 厚生に関する計画の実施に参加する場合   | 健康管理<br>ア. 希望者を対象のもの<br>人間ドック、乳がん・子宮がん検診、大腸検査等<br>(以下略) | (略)                |                        |        |                     |   |       |            |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |

### 措置の内容

検出事項について、誤って承認した職務専念義務の免除については取り消し、年次休暇として処理を行った。  
検出事項の原因は、申請者が職務専念義務の免除の内容について誤った認識を持っていたことと、直接監督責任者の確認不足にある。  
再発防止に向けて、関係職員に対し、服務に係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、職員の職務専念義務免除の申請に対して直接監督責任者が承認を行う際は内容の確認を徹底することでチェック体制を強化した。  
今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月8日）

備品管理の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項  |           |            |    |    |       |                             |           |   |            |  |
|--|--|-----------|-----------|------------|----|----|-------|-----------------------------|-----------|---|------------|--|
| 芥川高等学校   | <p>下記の備品について、備品出納簿に記載されていなかった。</p> <table border="1" data-bbox="463 499 1596 722"> <thead> <tr> <th data-bbox="463 499 655 600">品種</th> <th data-bbox="655 499 982 600">品目<br/>商品名</th> <th data-bbox="982 499 1264 600">当初受入年月日</th> <th data-bbox="1264 499 1391 600">数量</th> <th data-bbox="1391 499 1596 600">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="463 600 655 722">家具什器類</td> <td data-bbox="655 600 982 722">冷暖房器具<br/>釣り天井式パッケ<br/>ージェアコン</td> <td data-bbox="982 600 1264 722">令和4年8月31日</td> <td data-bbox="1264 600 1391 722">1</td> <td data-bbox="1391 600 1596 722">1,430,000円</td> </tr> </tbody> </table> | 品種        | 品目<br>商品名 | 当初受入年月日    | 数量 | 金額 | 家具什器類 | 冷暖房器具<br>釣り天井式パッケ<br>ージェアコン | 令和4年8月31日 | 1 | 1,430,000円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div data-bbox="1644 533 2724 821" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務規則】</b><br/>                     (物品の出納の通知及び帳簿の記載)<br/>                     第80条 物品管理者は、物品の受入れ又は払出しの必要があるときは、出納員に物品の分類を明らかにして出納の通知をしなければならない。<br/>                     2 前項の通知を受けた出納員は、次に掲げる帳簿を備え、受入れ又は払出しの事実を記載しなければならない。<br/>                     一 備品出納簿 (様式第39号)</p> </div> |
| 品種   | 品目<br>商品名  | 当初受入年月日   | 数量        | 金額         |    |    |       |                             |           |   |            |  |
| 家具什器類  | 冷暖房器具<br>釣り天井式パッケ<br>ージェアコン  | 令和4年8月31日 | 1         | 1,430,000円 |    |    |       |                             |           |   |            |  |
| <b>措置の内容</b>   |  |           |           |            |    |    |       |                             |           |   |            |  |
| <p>当該備品について、速やかに備品出納簿への記載を行った。<br/>                     検出事項の原因は、担当者が工事請負費で設置したエアコンについて備品登録手続を失念していたことにある。<br/>                     再発防止に向けて、予算要求段階から手続を確認することを徹底するとともに、備品登録に漏れがないかどうかをチェックする体制を整備した。<br/>                     今後は、大阪府財務規則に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |           |           |            |    |    |       |                             |           |   |            |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月8日）

## 管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項   |        |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
|---|---|------------|--------|-----|-------|---|---------|-----------|--------|-----|-----------|--------|---|-----|-----------|------|-----|------------|------|-----|------------|------|-----|------------|------|-----|------------|------|-----|------------|------|--|
| 北かわち阜が丘高等学校   | <p>管内出張であるにもかかわらず、誤って管外出張としてシステム登録を行い、提出状態のままとなっているものが8件あった。<br/>また、誤った状態が修正されずに放置されていたため、旅費が未払となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 569 1397 1419"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>出張先</th> <th>出張日</th> <th>未払旅費額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A</td> <td>大阪市天王寺区</td> <td>令和4年7月27日</td> <td>1,500円</td> </tr> <tr> <td>枚方市</td> <td>令和4年7月28日</td> <td>1,340円</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">B</td> <td>枚方市</td> <td>令和4年9月19日</td> <td>460円</td> </tr> <tr> <td>枚方市</td> <td>令和4年11月10日</td> <td>460円</td> </tr> <tr> <td>枚方市</td> <td>令和4年11月11日</td> <td>460円</td> </tr> <tr> <td>枚方市</td> <td>令和4年11月12日</td> <td>460円</td> </tr> <tr> <td>枚方市</td> <td>令和4年11月13日</td> <td>460円</td> </tr> <tr> <td>交野市</td> <td>令和4年11月17日</td> <td>230円</td> </tr> </tbody> </table> | 職員         | 出張先    | 出張日 | 未払旅費額 | A | 大阪市天王寺区 | 令和4年7月27日 | 1,500円 | 枚方市 | 令和4年7月28日 | 1,340円 | B | 枚方市 | 令和4年9月19日 | 460円 | 枚方市 | 令和4年11月10日 | 460円 | 枚方市 | 令和4年11月11日 | 460円 | 枚方市 | 令和4年11月12日 | 460円 | 枚方市 | 令和4年11月13日 | 460円 | 交野市 | 令和4年11月17日 | 230円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 出張先   | 出張日        | 未払旅費額  |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
| A   | 大阪市天王寺区   | 令和4年7月27日  | 1,500円 |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
|   | 枚方市   | 令和4年7月28日  | 1,340円 |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
| B   | 枚方市   | 令和4年9月19日  | 460円   |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
|   | 枚方市   | 令和4年11月10日 | 460円   |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
|   | 枚方市   | 令和4年11月11日 | 460円   |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
|   | 枚方市   | 令和4年11月12日 | 460円   |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
|   | 枚方市   | 令和4年11月13日 | 460円   |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
|   | 交野市   | 令和4年11月17日 | 230円   |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
| <b>措置の内容</b>  |   |            |        |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |
| <p>未払となっていた旅費については、追給を行った。<br/> 検出事項の原因は、申請者の認識不足と直接監督責任者の確認不足にある。<br/> 再発防止に向けて、関係職員に対して、旅費に係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、旅費担当者及び直接監督責任者が管内・管外旅費の申請状況を定期的に確認することによりチェック体制を強化した。<br/> 今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |            |        |     |       |   |         |           |        |     |           |        |   |     |           |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |     |            |      |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月23日）

時間外等勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |    |   |        |    |   |
|---|--|----------|--------|----|---|--------|----|---|
| 北かわち阜が丘<br>高等学校   | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="525 604 1190 789"> <thead> <tr> <th data-bbox="525 604 658 701">職員</th> <th data-bbox="658 604 943 701">事実発生時期</th> <th data-bbox="943 604 1190 701">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="525 701 658 789">A</td> <td data-bbox="658 701 943 789">令和4年8月</td> <td data-bbox="943 701 1190 789">1件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和4年8月 | 1件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期   | 件数       |        |    |   |        |    |   |
| A   | 令和4年8月   | 1件       |        |    |   |        |    |   |
| <b>措置の内容</b>  |  |          |        |    |   |        |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接管理責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |  |          |        |    |   |        |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月23日）

特殊勤務手当実績の登録の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |          |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
|---|--|----------|----------|----|---|--------|----|--------|----|--|--|--|---------|----------|---------------|----------|---|---|--------------|---|---|-----------------|---|---|-------------|---|----|--------------------------|---|-------|
| 北かわち阜が丘高等学校   | <p>週休日等の部活動指導の生徒引率業務について、教員特殊業務手当の実績として入力するところ、誤って管外出張としてシステム登録を行い、教員特殊業務手当が未払となっているものが2件あった。</p> <p>※なお、本件は旅費支給されていない。</p> <table border="1" data-bbox="498 604 1323 810"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>事実発生時期</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A</td> <td>令和4年4月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和4年5月</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期   | 件数 | A | 令和4年4月 | 1件 | 令和4年5月 | 1件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、職員に対し、特殊勤務を行った場合には、速やかに実績を入力するよう周知徹底するなど、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【部活動の位置づけ及び教職員の服務上の取扱いの改訂について（通知）平成24年7月31日付け教委高第2149号】</p> <p>2 教職員による部活動指導の服務上の取扱い（別紙1）</p> <p>(1) 生徒引率（指導）を伴う場合</p> <p>④ 週休日等の部活動指導</p> <p>週休日等における部活動指導は、学校管理下で行われる活動である場合には、公務災害基金に公務災害の適用を求めていくとともに、教員特殊業務手当の支給対象とする。</p> <p>なお、週休日等の活動については、学校週5日制の趣旨を踏まえ、各学校や地域の実情を考慮して、適切な活動日数、時間を設定することが望ましい。</p> <p style="text-align: right;">（別紙1）</p> <table border="1" data-bbox="1605 961 2605 1346"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>旅費の公費支給</th> <th>教員特殊業務手当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">生徒引率（指導）を伴う場合</td> <td>①公式戦への参加</td> <td>可</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>②勤務時間内の部活動指導</td> <td>可</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③平日の勤務時間外の部活動指導</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④週休日等の部活動指導</td> <td>—</td> <td>対象</td> </tr> <tr> <td>⑤合宿等（泊を伴う練習及び練習試合）の部活動指導</td> <td>—</td> <td>週休日対象</td> </tr> </tbody> </table> |  |  | 旅費の公費支給 | 教員特殊業務手当 | 生徒引率（指導）を伴う場合 | ①公式戦への参加 | 可 | — | ②勤務時間内の部活動指導 | 可 | — | ③平日の勤務時間外の部活動指導 | — | — | ④週休日等の部活動指導 | — | 対象 | ⑤合宿等（泊を伴う練習及び練習試合）の部活動指導 | — | 週休日対象 |
| 職員  | 事実発生時期   | 件数       |          |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
| A   | 令和4年4月   | 1件       |          |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
|   | 令和4年5月   | 1件       |          |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
|   |  | 旅費の公費支給  | 教員特殊業務手当 |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
| 生徒引率（指導）を伴う場合   | ①公式戦への参加   | 可        | —        |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
|   | ②勤務時間内の部活動指導   | 可        | —        |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
|   | ③平日の勤務時間外の部活動指導  | —        | —        |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
|   | ④週休日等の部活動指導  | —        | 対象       |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
|   | ⑤合宿等（泊を伴う練習及び練習試合）の部活動指導   | —        | 週休日対象    |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
| <b>措置の内容</b>  |  |          |          |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認した上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。</p> <p>検出事項の原因は、申請者の認識不足と承認者の確認不足にある。</p> <p>再発防止に向けて、関係職員に対して、教員特殊業務手当の申請を適正に行うよう周知を行うとともに、手当担当者及び直接監督責任者が手当や旅費の申請状況を定期的に確認することでチェック体制を強化した。</p> <p>今後は、法令に基づき適正な事務処理を行う。</p> |  |          |          |    |   |        |    |        |    |  |  |  |         |          |               |          |   |   |              |   |   |                 |   |   |             |   |    |                          |   |       |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月23日）

時間外等勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |    |   |        |    |   |
|---|--|----------|--------|----|---|--------|----|---|
| <p>牧野高等学校</p>   | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="525 611 1190 793"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>事実発生時期</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和4年9月</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和4年9月 | 1件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期   | 件数       |        |    |   |        |    |   |
| A   | 令和4年9月   | 1件       |        |    |   |        |    |   |
| <p>措置の内容</p>  |  |          |        |    |   |        |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接監督責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |  |          |        |    |   |        |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年1月15日）

時間外等勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |    |   |        |    |   |        |    |   |
|---|--|----------|--------|----|---|--------|----|---|--------|----|---|
| <p>守口東高等学校</p>  | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものが2件あった。</p> <table border="1" data-bbox="528 611 1190 884"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>事実発生時期</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和5年3月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>令和5年3月</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和5年3月 | 1件 | B | 令和5年3月 | 1件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期   | 件数       |        |    |   |        |    |   |        |    |   |
| A   | 令和5年3月   | 1件       |        |    |   |        |    |   |        |    |   |
| B   | 令和5年3月   | 1件       |        |    |   |        |    |   |        |    |   |
| <p>措置の内容</p>  |  |          |        |    |   |        |    |   |        |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接監督責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |  |          |        |    |   |        |    |   |        |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年1月11日）

行政財産使用料徴収の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   |     |             |         |         |                           | 是正を求める事項 |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |        |     |         |         |         |                           |   |
|---|--|-----|-------------|---------|---------|---------------------------|----------|------|----|-------|--|--|------|-------------|---|-----|----|--------|-----|---------|---------|---------|---------------------------|---|
| <p>緑風冠高等学校</p>  | <p>行政財産使用料について、「行政財産使用料及び普通財産貸付料の算定に関する取扱基準」に基づく遡増措置を適用せずに算出を誤っていたため、使用者からの使用料を過大に徴収していた。</p> <table border="1" data-bbox="498 569 1673 835"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">許可数量</th> <th rowspan="2">目的</th> <th colspan="3">年間使用料</th> <th rowspan="2">使用期間</th> </tr> <tr> <th>誤<br/>(既収納額)</th> <th>正</th> <th>超過額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td>40.00㎡</td> <td>給品部</td> <td>96,800円</td> <td>78,540円</td> <td>18,260円</td> <td>令和5年4月1日から<br/>令和6年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> |     |             |         |         |                           | 種別       | 許可数量 | 目的 | 年間使用料 |  |  | 使用期間 | 誤<br>(既収納額) | 正 | 超過額 | 建物 | 40.00㎡ | 給品部 | 96,800円 | 78,540円 | 18,260円 | 令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【大阪府公有財産規則】<br/>(使用料)<br/>第27条 前条の規定により難しい場合における使用料の額の基準は、知事が別に定める。</p> <p>【行政財産使用料及び普通財産貸付料の算定に関する取扱基準】<br/>(令和5年1月4日付け財活第1583号 財務部長通知 別紙2)<br/>(各年度の使用料等の算定)<br/>第4 第3の適用範囲に属する使用許可又は貸付けに係る令和5年度における使用料等の額の算定は次による。<br/>(1) 改定使用料又は改定貸付料の額が令和4年度の使用料又は貸付料に1.05を乗じた額を上回るときは、令和4年度の使用料又は貸付料に1.05を乗じた額を令和5年度の使用料又は貸付料の額とする。(以下略)</p> |
| 種別  | 許可数量   | 目的  | 年間使用料       |         |         | 使用期間                      |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |        |     |         |         |         |                           |   |
|   |  |     | 誤<br>(既収納額) | 正       | 超過額     |                           |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |        |     |         |         |         |                           |   |
| 建物  | 40.00㎡   | 給品部 | 96,800円     | 78,540円 | 18,260円 | 令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |        |     |         |         |         |                           |   |
| <p>措置の内容</p>  |  |     |             |         |         |                           |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |        |     |         |         |         |                           |   |
| <p>過大に徴収した使用料については、戻出処理を行い使用者に返金した。<br/>                 検出事項の原因は、「行政財産使用料及び普通財産貸付料の算定に関する取扱基準」に基づく遡増措置を、担当者及び事務室職員が十分に理解していなかったことにある。<br/>                 再発防止に向けて、担当者及び事務室職員に対し遡増措置について適切に実施するよう周知するとともに、行政財産使用料算出の際は複数の職員で確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、「行政財産使用料及び普通財産貸付料の算定に関する取扱基準」に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |     |             |         |         |                           |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |        |     |         |         |         |                           |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

建設仮勘定の精算事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項   |            |      |      |       |                     |            |            |    |                     |            |            |  |
|---|---|------------|------------|------|------|-------|---------------------|------------|------------|----|---------------------|------------|------------|--|
| <p>緑風冠高等学校</p>  | <p>令和4年度の財務諸表（貸借対照表）の建設仮勘定に、工事完了による引渡しが行われている下記の工事に係る金額が計上されたままとなっていた。</p> <table border="1" data-bbox="543 510 1644 783"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約件名</th> <th>契約金額</th> <th>未精算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>大阪府立緑風冠高等学校便所便器改修工事</td> <td>1,922,910円</td> <td>1,922,910円</td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>大阪府立緑風冠高等学校便所便器改修工事</td> <td>1,392,600円</td> <td>1,392,600円</td> </tr> </tbody> </table> | 年度         | 契約件名       | 契約金額 | 未精算額 | 令和4年度 | 大阪府立緑風冠高等学校便所便器改修工事 | 1,922,910円 | 1,922,910円 | 同上 | 大阪府立緑風冠高等学校便所便器改修工事 | 1,392,600円 | 1,392,600円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務諸表作成基準】</b><br/>                     （固定資産の分類及び計上）<br/>                     第15条 固定資産の計上は次のとおりとする。<br/>                     (7) 建設仮勘定<br/>                     行政活動の用に供する固定資産を取得する場合における支出及びその付随的支出を、資産が完成するまでの間、一時的に計上する。</p> <p><b>【建設仮勘定取扱要領】</b><br/>                     第4条 建設仮勘定は、公有財産要領第4条及び第5条に規定する取得年月日又は異動年月日をもって精算しなければならない。<br/>                     2 前項に規定する精算と併せて、本資産勘定の額と同額の財産を公有財産台帳に登録しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>                     （台帳の異動登録）<br/>                     第5条<br/>                     2 異動した財産については、次の各号に掲げる日を異動年月日とする。また、第1号（府以外からの取得の場合に限る。）及び第3号の場合においては、併せて取得年月日を登録する。<br/>                     (3) 建物等の増改築等は、工事完了による引渡しの日。（以下略）</p> </div> |
| 年度  | 契約件名  | 契約金額       | 未精算額       |      |      |       |                     |            |            |    |                     |            |            |  |
| 令和4年度   | 大阪府立緑風冠高等学校便所便器改修工事   | 1,922,910円 | 1,922,910円 |      |      |       |                     |            |            |    |                     |            |            |  |
| 同上  | 大阪府立緑風冠高等学校便所便器改修工事   | 1,392,600円 | 1,392,600円 |      |      |       |                     |            |            |    |                     |            |            |  |
| <p><b>措置の内容</b></p>   |   |            |            |      |      |       |                     |            |            |    |                     |            |            |  |
| <p>過年度の建設仮勘定精算は所属では行えないため、会計局会計指導課に修正を依頼し、本資産勘定への精算処理を行った。<br/>                     また、資産となるものについては、公有財産台帳の修正を行った。<br/>                     検出事項の原因は、建設仮勘定の精算処理について、担当者及び事務室職員の理解が不足していたことにある。<br/>                     再発防止に向けて、担当者及び事務室職員に対し建設仮勘定の精算処理について適切に実施するよう周知徹底するとともに、SSC等で未精算案件の確認を担当者のみならず事務室全体で定期的に行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                     今後は、大阪府財務諸表作成基準等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |            |            |      |      |       |                     |            |            |    |                     |            |            |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項 |    |                      |          |  |
|--|---|----------|----|----------------------|----------|--|
| <p>緑風冠高等学校</p>   | <p>改修工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>工事完了日：令和4年9月10日（検査日：令和4年9月10日）</p> <table border="1" data-bbox="522 585 1611 758"> <thead> <tr> <th data-bbox="522 585 1237 674">工事名称</th> <th data-bbox="1237 585 1611 674">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="522 674 1237 758">大阪府立緑風冠高等学校便所手洗栓改修工事</td> <td data-bbox="1237 674 1611 758">668,690円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 大阪府立緑風冠高等学校便所手洗栓改修工事 | 668,690円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>                     (台帳の取得登録)</p> <p>第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。</p> <p>(1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。</p> <p>(2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>(台帳価格)</p> <p>第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>                     (固定資産計上の基本方針)</p> <p>1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。</p> <p>2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> </div> |
| 工事名称   | 金額  |          |    |                      |          |  |
| 大阪府立緑風冠高等学校便所手洗栓改修工事   | 668,690円  |          |    |                      |          |  |
| <p><b>措置の内容</b></p>  |   |          |    |                      |          |  |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。</p> <p>検出事項の原因は、資産と費用の区分について、担当者及び事務室職員が十分な認識を持っていなかったことにある。</p> <p>再発防止に向けて、担当者及び事務室職員に対し資産と費用の仕訳や公有財産台帳への資産の登録について適切に実施するよう周知徹底するとともに、資産と費用の区分について、複数の職員で確認を行うことによりチェック体制を強化した。</p> <p>今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |    |                      |          |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項 |    |              |          |  |
|---|---|----------|----|--------------|----------|--|
| 花園高等学校  | <p>設置工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>工事完了日：令和5年3月31日（検査日：令和5年3月31日）</p> <table border="1" data-bbox="528 583 1617 758"> <thead> <tr> <th data-bbox="528 583 1246 674">工事名称</th> <th data-bbox="1246 583 1617 674">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="528 674 1246 758">自転車置場案内板設置工事</td> <td data-bbox="1246 674 1617 758">495,000円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 自転車置場案内板設置工事 | 495,000円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>                     （台帳の取得登録）</p> <p>第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。</p> <p>(1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。</p> <p>(2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>（台帳価格）</p> <p>第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>                     （固定資産計上の基本方針）</p> <p>1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。</p> <p>2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> </div> |
| 工事名称  | 金額  |          |    |              |          |  |
| 自転車置場案内板設置工事  | 495,000円  |          |    |              |          |  |
| <b>措置の内容</b>  |   |          |    |              |          |  |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。</p> <p>検出事項の原因は、資産と費用の区分について、担当者が十分な認識を持っていなかったことにある。</p> <p>再発防止に向けて、関係職員に対し資産と費用の仕訳や公有財産台帳への資産の登録について適切に実施するよう周知徹底するとともに、資産と費用の区分について、複数の職員で確認を行うことによりチェック体制を強化した。</p> <p>今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |    |              |          |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

印影印刷物の管理不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項   |
|---|--|--|
| <p>かわち野高等学校</p>   | <p>公印（学校長印）を印影印刷した卒業証書について、受払簿等を作成しておらず、使用状況が明らかにされていなかった。</p> <p>・卒業証書 210枚<br/>※枚数は令和4年度の購入枚数を記載</p> | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府教育委員会公印規程】</b><br/>(公印の印影の印刷)<br/>第12条 公印の押印に代えて、公印の印影を印刷する必要があるとき(次条第1項に規定する場合を除く。)は、当該公印の管守者の承認を受けて、その印影を印刷することができる。<br/>2 前項の規定により、公印の印影を印刷した用紙は、厳重に保管するとともに、常にその使用状況を明らかにしておかなければならない。</p> </div> |
| <p>措置の内容</p>  |  |  |
| <p>公印（学校長印）を印影印刷した卒業証書について、受払簿を作成した。<br/>                 検出事項の原因は、大阪府教育委員会公印規程について事務室職員が十分な認識を持っていなかったことにある。<br/>                 再発防止に向けて、事務室職員に対し受払簿による印影印刷物の管理の必要性について周知徹底するとともに、複数の職員で印影印刷物の使用状況について、定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年1月17日）

公有財産台帳の登載誤り

| 対象受検機関 | 検出事項                                      |      |                    |         |                                    | 是正を求める事項  |
|--------|---|------|--------------------|---------|------------------------------------|---|
| 山本高等学校 | 行政財産の使用許可の更新について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。 |      |                    |         |                                    | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産規則】</b><br/>(使用状況の確認)<br/>第31条 部局長等は、その所管する行政財産の使用の許可の内容について、知事が別に定めるところにより公有財産台帳に登載し、毎年一回、その許可に係る行政財産の使用の状況を実地について調査し、確認しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>(借用財産)<br/>第18条 部局長等は、所管事業にかかわる借地及び借家（借建物）の契約等を行ったときは、借用財産としてシステムを用いて借用登録を行うものとする。<br/>2 登録した借用財産の状況に異動があったときは、システムを用いて異動登録を行うものとする。<br/>(使用許可、貸付又は使用承認の状況)<br/>第19条 部局長等は、使用許可、貸付又は使用承認を行ったときは、システムを用いて使用許可、貸付又は使用承認の情報を当該年度に登録するものとする。<br/>2 登録した使用許可、貸付又は使用承認の状況に異動があったときは、システムを用いて異動登録を行うものとする。</p> <p><b>【公有財産事務の手引】</b><br/>第2章 公有財産の取得<br/>第3節 借用<br/>府が行政遂行の手段として、他者の所有する財産を許可又は契約（賃貸借契約、使用貸借契約）により借り受けることをいう。<br/>借用財産は、公有財産ではないが、公用又は公共用に供するために借用する財産は公有財産と同様に管理する必要がある。その用に供するために土地や建物を1年以上の期間借用する場合は、公有財産台帳等管理システムに登録すること。</p> </div> |
|        | 種別  | 許可数量 | 目的                 | 年間使用料   | 許可期間                               |   |
| 建物     | 18.08㎡                                    |      | 給品部                | 47,740円 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |   |
| 土地     | 19.778㎡                                   |      | 防災倉庫               | 免除      | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |   |
| 土地     | 1本  |      | 防災標識柱及び防災標識板       | 免除      | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |   |
| 土地     | 1本  |      | 電話回線ケーブル           | 免除      | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |   |
| 建物     | 0.03㎡                                     |      | 保安器                | 免除      | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |   |
| 建物     | 0.0054㎡                                   |      | モジュラージャック          | 免除      | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |   |
| 土地     | 0.30㎡                                     |      | 空調機                | 600円    | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで  |   |
| 建物     | 6.09㎡                                     |      | 本館 空調機             | 29,700円 | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで  |   |
| 建物     | 1.39㎡                                     |      | 体育館 空調機            | 4,730円  | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで  |   |
| 建物     | 0.260㎡                                    |      | プール附属棟 濾過ポンプインバータ盤 | 3,190円  | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで  |   |
| 建物     | 94.34㎡                                    |      | 本館 照明器具            | 免除      | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで  |   |

| 種別 | 許可数量    | 目的       | 年間使用料 | 許可期間                              |
|----|---------|----------|-------|-----------------------------------|
| 建物 | 37.71㎡  | 南館 照明器具  | 免除    | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで |
| 建物 | 6.54㎡   | 体育館 照明器具 | 免除    | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで |
| 建物 | 21.92㎡  | 同窓会活動    | 免除    | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで |
| 建物 | 2.775㎡  | 同窓会活動    | 免除    | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで |
| 建物 | 20.471㎡ | 同窓会活動    | 免除    | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで |

(注1) 公有財産台帳では、許可期間が「平成30年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。

(注2) 公有財産台帳では、許可期間が「令和4年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。

また、借用財産の期間の更新について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。

| 種別 | 所在地         | 借用数量   | 借用目的 | 年間借用料      | 借用期間                              |
|----|-------------|--------|------|------------|-----------------------------------|
| 土地 | 八尾市山本町北2丁目1 | 3,335㎡ | 運動場  | 3,000,000円 | (注3)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで |

(注3) 公有財産台帳では、借用期間が「令和4年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。

#### 措置の内容

検出事項について、公有財産台帳に登載を行った。  
 検出事項の原因は、担当者が公有財産台帳への登載を失念していたことにある。  
 再発防止に向けて、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。  
 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

公有財産台帳の登載誤り

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項 |                 |                                    |       |      |    |           |        |        |                                    |    |              |      |        |                                    |    |            |       |                 |                           |  |
|--|---|----------|-----------------|------------------------------------|-------|------|----|-----------|--------|--------|------------------------------------|----|--------------|------|--------|------------------------------------|----|------------|-------|-----------------|---------------------------|--|
| 長野高等学校   | <p>行政財産の使用許可の更新について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="498 537 1635 877"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>許可数量</th> <th>目的</th> <th>年間使用料</th> <th>許可期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td>電信柱<br/>1本</td> <td>電気通信事業</td> <td>1,500円</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>電柱1本<br/>支線4本</td> <td>電力供給</td> <td>8,500円</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>(注2)<br/>1台</td> <td>自動販売機</td> <td>(注2)<br/>18,000円</td> <td>令和3年9月1日から<br/>令和8年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 公有財産台帳では、許可期間が「平成30年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> <p>(注2) 公有財産台帳では、許可数量及び年間使用料の変更に伴う登載が行われず「2台」及び「37,800円」のまま放置されていた。</p> | 種別       | 許可数量            | 目的                                 | 年間使用料 | 許可期間 | 土地 | 電信柱<br>1本 | 電気通信事業 | 1,500円 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 土地 | 電柱1本<br>支線4本 | 電力供給 | 8,500円 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 土地 | (注2)<br>1台 | 自動販売機 | (注2)<br>18,000円 | 令和3年9月1日から<br>令和8年3月31日まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産規則】</b><br/>(使用状況の確認)<br/>第31条 部局長等は、その所管する行政財産の使用の許可の内容について、知事が別に定めるところにより公有財産台帳に登載し、毎年一回、その許可に係る行政財産の使用の状況を実地について調査し、確認しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>(使用許可、貸付又は使用承認の状況)<br/>第19条 部局長等は、使用許可、貸付又は使用承認を行ったときは、システムを用いて使用許可、貸付又は使用承認の情報を当該年度に登録するものとする。</p> <p>2 登録した使用許可、貸付又は使用承認の状況に異動があったときは、システムを用いて異動登録を行うものとする。</p> </div> |
| 種別   | 許可数量  | 目的       | 年間使用料           | 許可期間                               |       |      |    |           |        |        |                                    |    |              |      |        |                                    |    |            |       |                 |                           |  |
| 土地   | 電信柱<br>1本   | 電気通信事業   | 1,500円          | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |           |        |        |                                    |    |              |      |        |                                    |    |            |       |                 |                           |  |
| 土地   | 電柱1本<br>支線4本  | 電力供給     | 8,500円          | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |           |        |        |                                    |    |              |      |        |                                    |    |            |       |                 |                           |  |
| 土地   | (注2)<br>1台  | 自動販売機    | (注2)<br>18,000円 | 令和3年9月1日から<br>令和8年3月31日まで          |       |      |    |           |        |        |                                    |    |              |      |        |                                    |    |            |       |                 |                           |  |
| <b>措置の内容</b>   |   |          |                 |                                    |       |      |    |           |        |        |                                    |    |              |      |        |                                    |    |            |       |                 |                           |  |
| <p>検出事項について、公有財産台帳に登載を行った。<br/>                 検出事項の原因は、担当者が公有財産台帳への登載を失念していたことにある。<br/>                 再発防止に向けて、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について、定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |                 |                                    |       |      |    |           |        |        |                                    |    |              |      |        |                                    |    |            |       |                 |                           |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

行政財産使用料徴収の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  |       |             |          |      |                           | 是正を求める事項 |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |
|---|---|-------|-------------|----------|------|---------------------------|----------|------|----|-------|--|--|------|-------------|---|-----|----|-------------------|-------|---------|---------|------|---------------------------|----|----|-------|---------|---------|-----|---------------------------|----|----|-------|---------|---------|-----|---------------------------|----|------|----|-------|--|--|------|-------------|---|-----|----|--------------------------|----|----------|----------|-----|---------------------------|--|
| 登美丘高等学校   | <p>行政財産使用料について、消費税を課するに当たり、100分の110を乗じて得た額とし、10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとすべきところ、100円未満の端数を切り上げて算出し、また、学校休業中の使用料還付額の算出も誤っていたため、使用者からの使用料を過大に徴収していた。</p> <table border="1" data-bbox="498 552 1635 1119"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">許可数量</th> <th rowspan="2">目的</th> <th colspan="3">年間使用料</th> <th rowspan="2">使用期間</th> </tr> <tr> <th>誤<br/>(既収納額)</th> <th>正</th> <th>超過額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td>(注)<br/>3台<br/>(4台)</td> <td>自動販売機</td> <td>59,950円</td> <td>59,400円</td> <td>550円</td> <td>令和2年4月1日から<br/>令和3年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>4台</td> <td>自動販売機</td> <td>76,200円</td> <td>76,120円</td> <td>80円</td> <td>令和3年4月1日から<br/>令和4年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>4台</td> <td>自動販売機</td> <td>76,200円</td> <td>76,120円</td> <td>80円</td> <td>令和4年4月1日から<br/>令和5年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 令和2年6月15日に許可数量が3台から4台に変更となった。</p> <p>また、消費税を課するに当たり、100円未満の端数を切り捨てて算出したため、使用者からの使用料が徴収不足となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="498 1268 1635 1535"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">許可数量</th> <th rowspan="2">目的</th> <th colspan="3">年間使用料</th> <th rowspan="2">使用期間</th> </tr> <tr> <th>誤<br/>(既収納額)</th> <th>正</th> <th>不足額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td>112.44<br/>m<sup>2</sup></td> <td>食堂</td> <td>210,300円</td> <td>210,320円</td> <td>20円</td> <td>令和3年4月1日から<br/>令和4年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> |       |             |          |      |                           | 種別       | 許可数量 | 目的 | 年間使用料 |  |  | 使用期間 | 誤<br>(既収納額) | 正 | 超過額 | 建物 | (注)<br>3台<br>(4台) | 自動販売機 | 59,950円 | 59,400円 | 550円 | 令和2年4月1日から<br>令和3年3月31日まで | 建物 | 4台 | 自動販売機 | 76,200円 | 76,120円 | 80円 | 令和3年4月1日から<br>令和4年3月31日まで | 建物 | 4台 | 自動販売機 | 76,200円 | 76,120円 | 80円 | 令和4年4月1日から<br>令和5年3月31日まで | 種別 | 許可数量 | 目的 | 年間使用料 |  |  | 使用期間 | 誤<br>(既収納額) | 正 | 不足額 | 建物 | 112.44<br>m <sup>2</sup> | 食堂 | 210,300円 | 210,320円 | 20円 | 令和3年4月1日から<br>令和4年3月31日まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 種別  | 許可数量  | 目的    | 年間使用料       |          |      | 使用期間                      |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |
|   |   |       | 誤<br>(既収納額) | 正        | 超過額  |                           |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |
| 建物  | (注)<br>3台<br>(4台)   | 自動販売機 | 59,950円     | 59,400円  | 550円 | 令和2年4月1日から<br>令和3年3月31日まで |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |
| 建物  | 4台  | 自動販売機 | 76,200円     | 76,120円  | 80円  | 令和3年4月1日から<br>令和4年3月31日まで |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |
| 建物  | 4台  | 自動販売機 | 76,200円     | 76,120円  | 80円  | 令和4年4月1日から<br>令和5年3月31日まで |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |
| 種別  | 許可数量  | 目的    | 年間使用料       |          |      | 使用期間                      |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |
|   |   |       | 誤<br>(既収納額) | 正        | 不足額  |                           |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |
| 建物  | 112.44<br>m <sup>2</sup>  | 食堂    | 210,300円    | 210,320円 | 20円  | 令和3年4月1日から<br>令和4年3月31日まで |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |
| <b>措置の内容</b>  |   |       |             |          |      |                           |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |
| <p>過大に徴収した使用料については戻出処理を行い食堂業者に返金するとともに、徴収不足の分の使用料については徴収した。<br/>                 検出事項の原因は、担当者及び決裁者の確認不足にある。<br/>                 再発防止に向けて、行政財産使用料算出の際は複数の職員で確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、適正な事務処理を行う。</p> |   |       |             |          |      |                           |          |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                   |       |         |         |      |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |    |       |         |         |     |                           |    |      |    |       |  |  |      |             |   |     |    |                          |    |          |          |     |                           |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |    |             |          |   |
|---|--|----------|----|-------------|----------|---|
| <p>泉陽高等学校</p>   | <p>取替工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>工事完了日：令和5年2月19日（検査日：令和5年2月19日）</p> <table border="1" data-bbox="531 611 1617 783"> <thead> <tr> <th data-bbox="531 611 1246 699">工事名称</th> <th data-bbox="1246 611 1617 699">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="531 699 1246 783">非常用照明器具取替工事</td> <td data-bbox="1246 699 1617 783">451,000円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 非常用照明器具取替工事 | 451,000円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>           (台帳の取得登録)<br/> <b>第4条</b> 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。<br/> <b>2</b> 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。<br/> <b>(1)</b> 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。<br/> <b>(2)</b> 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>(台帳価格)<br/> <b>第12条</b> 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。<br/> <b>(1)</b> 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>           (固定資産計上の基本方針)<br/> <b>1.</b> 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。<br/> <b>2.</b> 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> |
| 工事名称  | 金額   |          |    |             |          |   |
| 非常用照明器具取替工事   | 451,000円   |          |    |             |          |   |
| <p><b>措置の内容</b></p>   |  |          |    |             |          |   |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。</p> <p>検出事項の原因は、担当者において財務会計上での支出手続において、資産と費用とに仕訳することを失念し、決裁者も見落とししたことにある。なお、両者とも仕訳の必要性（ルール）は理解している。</p> <p>再発防止に向けて、工事請負費の支出命令伺い時において、資産及び費用の額を算出した仕訳表及びSSC財務会計システム上に登録をしたことを示す「歳出複式仕訳情報登録画面」のコピーを添付することとし、担当者の失念及び決裁者の見落としを防ぐこととした。</p> <p>今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |          |    |             |          |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

公有財産台帳の登録誤り

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項        |                                    |                                    |       |      |    |        |       |    |                                    |    |      |                 |    |                                    |    |        |       |         |                                    |    |            |         |                |                           |    |      |    |      |    |    |         |                                    |  |
|--|---|-----------------|------------------------------------|------------------------------------|-------|------|----|--------|-------|----|------------------------------------|----|------|-----------------|----|------------------------------------|----|--------|-------|---------|------------------------------------|----|------------|---------|----------------|---------------------------|----|------|----|------|----|----|---------|------------------------------------|--|
| <p>金岡高等学校</p>  | <p>行政財産の使用許可の更新について、公有財産台帳への登録を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="498 535 1635 993"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>許可数量</th> <th>目的</th> <th>年間使用料</th> <th>許可期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td>0.126㎡</td> <td>公共基準点</td> <td>免除</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>2.7㎡</td> <td>災害時優先特設<br/>公衆電話</td> <td>免除</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>14.14㎡</td> <td>学校給品部</td> <td>26,510円</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>(注2)<br/>1台</td> <td>公衆電話の設置</td> <td>(注2)<br/>4,070円</td> <td>令和3年4月1日から<br/>令和8年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 公有財産台帳では、許可期間が「平成30年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> <p>(注2) 令和5年3月23日に許可数量及び年間使用料の変更を承認していたが、公有財産台帳では、「2台」及び「8,140円」のまま放置されていた。</p> <p>また、行政財産の使用承認の更新について、公有財産台帳への登録を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="498 1291 1442 1444"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>承認数量</th> <th>目的</th> <th>承認期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td>2本</td> <td>交通信号機設置</td> <td>(注3)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注3) 公有財産台帳では、承認期間が「平成30年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> | 種別              | 許可数量                               | 目的                                 | 年間使用料 | 許可期間 | 建物 | 0.126㎡ | 公共基準点 | 免除 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 建物 | 2.7㎡ | 災害時優先特設<br>公衆電話 | 免除 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 建物 | 14.14㎡ | 学校給品部 | 26,510円 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 建物 | (注2)<br>1台 | 公衆電話の設置 | (注2)<br>4,070円 | 令和3年4月1日から<br>令和8年3月31日まで | 種別 | 承認数量 | 目的 | 承認期間 | 土地 | 2本 | 交通信号機設置 | (注3)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産規則】</b><br/>(使用状況の確認)<br/>第31条 部局長等は、その所管する行政財産の使用の許可の内容について、知事が別に定めるところにより公有財産台帳に登録し、毎年一回、その許可に係る行政財産の使用の状況を実地について調査し、確認しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>(使用許可、貸付又は使用承認の状況)<br/>第19条 部局長等は、使用許可、貸付又は使用承認を行ったときは、システムを用いて使用許可、貸付又は使用承認の情報を当該年度に登録するものとする。</p> <p>2 登録した使用許可、貸付又は使用承認の状況に異動があったときは、システムを用いて異動登録を行うものとする。</p> </div> |
| 種別   | 許可数量  | 目的              | 年間使用料                              | 許可期間                               |       |      |    |        |       |    |                                    |    |      |                 |    |                                    |    |        |       |         |                                    |    |            |         |                |                           |    |      |    |      |    |    |         |                                    |  |
| 建物   | 0.126㎡  | 公共基準点           | 免除                                 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |        |       |    |                                    |    |      |                 |    |                                    |    |        |       |         |                                    |    |            |         |                |                           |    |      |    |      |    |    |         |                                    |  |
| 建物   | 2.7㎡  | 災害時優先特設<br>公衆電話 | 免除                                 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |        |       |    |                                    |    |      |                 |    |                                    |    |        |       |         |                                    |    |            |         |                |                           |    |      |    |      |    |    |         |                                    |  |
| 建物   | 14.14㎡  | 学校給品部           | 26,510円                            | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |        |       |    |                                    |    |      |                 |    |                                    |    |        |       |         |                                    |    |            |         |                |                           |    |      |    |      |    |    |         |                                    |  |
| 建物   | (注2)<br>1台  | 公衆電話の設置         | (注2)<br>4,070円                     | 令和3年4月1日から<br>令和8年3月31日まで          |       |      |    |        |       |    |                                    |    |      |                 |    |                                    |    |        |       |         |                                    |    |            |         |                |                           |    |      |    |      |    |    |         |                                    |  |
| 種別   | 承認数量  | 目的              | 承認期間                               |                                    |       |      |    |        |       |    |                                    |    |      |                 |    |                                    |    |        |       |         |                                    |    |            |         |                |                           |    |      |    |      |    |    |         |                                    |  |
| 土地   | 2本  | 交通信号機設置         | (注3)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |                                    |       |      |    |        |       |    |                                    |    |      |                 |    |                                    |    |        |       |         |                                    |    |            |         |                |                           |    |      |    |      |    |    |         |                                    |  |
| <p>措置の内容</p>   |   |                 |                                    |                                    |       |      |    |        |       |    |                                    |    |      |                 |    |                                    |    |        |       |         |                                    |    |            |         |                |                           |    |      |    |      |    |    |         |                                    |  |
| <p>検出事項について、公有財産台帳に登録した。<br/>                 検出事項の原因は、担当者が公有財産台帳への登録を失念していたことにある。<br/>                 再発防止に向け、複数の職員で公有財産台帳の登録状況について定期的な確認を行うこととし、チェック体制を強化した。<br/>                 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |                 |                                    |                                    |       |      |    |        |       |    |                                    |    |      |                 |    |                                    |    |        |       |         |                                    |    |            |         |                |                           |    |      |    |      |    |    |         |                                    |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項 |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
|---|---|----------|----|----------------------|----------|------|----|---------------------|------------|------|----|----------------------|----------|------|----|--------------------------|------------|------|----|----------------------------|------------|---|
| 堺西高等学校  | <p>設置工事及び改修工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>1 工事完了日：令和5年2月28日（検査日：令和5年2月28日）</p> <table border="1" data-bbox="463 604 1552 737"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立堺西高等学校応接室空調機設置工事</td> <td>308,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 工事完了日：令和4年11月12日（検査日：令和4年11月12日）</p> <table border="1" data-bbox="463 772 1552 905"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立堺西高等学校トイレ便器改修工事</td> <td>2,303,070円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 工事完了日：令和4年9月8日（検査日：令和4年9月8日）</p> <table border="1" data-bbox="463 940 1552 1073"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立堺西高等学校トイレ手洗栓改修工事</td> <td>848,100円</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 工事完了日：令和5年1月13日（検査日：令和5年1月13日）</p> <table border="1" data-bbox="463 1108 1552 1241"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立堺西高等学校トイレ便器改修工事（追加分）</td> <td>1,015,410円</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 工事完了日：令和5年3月4日（検査日：令和5年3月4日）</p> <table border="1" data-bbox="463 1276 1552 1409"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立堺西高等学校トイレ便器改修工事（温水便座化）</td> <td>2,444,640円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 大阪府立堺西高等学校応接室空調機設置工事 | 308,000円 | 工事名称 | 金額 | 大阪府立堺西高等学校トイレ便器改修工事 | 2,303,070円 | 工事名称 | 金額 | 大阪府立堺西高等学校トイレ手洗栓改修工事 | 848,100円 | 工事名称 | 金額 | 大阪府立堺西高等学校トイレ便器改修工事（追加分） | 1,015,410円 | 工事名称 | 金額 | 大阪府立堺西高等学校トイレ便器改修工事（温水便座化） | 2,444,640円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>         （台帳の取得登録）<br/>         第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。<br/>         2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。<br/>         (1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。<br/>         (2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>（台帳価格）<br/>         第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。<br/>         (1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。<br/>         「別表4 固定資産計上基準表」</p> <p>（固定資産計上の基本方針）<br/>         1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。<br/>         2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> </div> |
| 工事名称  | 金額  |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| 大阪府立堺西高等学校応接室空調機設置工事  | 308,000円  |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| 工事名称  | 金額  |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| 大阪府立堺西高等学校トイレ便器改修工事   | 2,303,070円  |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| 工事名称  | 金額  |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| 大阪府立堺西高等学校トイレ手洗栓改修工事  | 848,100円  |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| 工事名称  | 金額  |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| 大阪府立堺西高等学校トイレ便器改修工事（追加分）  | 1,015,410円  |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| 工事名称  | 金額  |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| 大阪府立堺西高等学校トイレ便器改修工事（温水便座化）  | 2,444,640円  |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| <b>措置の内容</b>  |   |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。</p> <p>検出事項の原因は、担当者の新公会計制度についての理解不足にある。</p> <p>再発防止に向けて、新公会計制度についての理解を深めることはもとより、工事費を支払う際は「資産と費用の区分表」を作成するとともに財務会計システムの「仕訳区分表」を画面印刷し、それぞれ支払書類に添付して事務室全体でチェックすることとする。</p> <p>今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |    |                      |          |      |    |                     |            |      |    |                      |          |      |    |                          |            |      |    |                            |            |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

資産と費用の区分誤り

| 象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項 |    |                                  |          |      |    |                               |          |   |
|---|---|----------|----|----------------------------------|----------|------|----|-------------------------------|----------|---|
| 信太高等学校  | <p>改修工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>1 工事完了日：令和4年8月1日（検査日：令和4年8月15日）</p> <table border="1" data-bbox="528 611 1620 783"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立信太高等学校トイレ手洗い栓（計27台）自動水栓化改修工事</td> <td>741,730円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 工事完了日：令和4年11月27日（検査日：令和4年11月27日）</p> <table border="1" data-bbox="528 858 1620 1031"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立信太高等学校手洗台水栓（計3台）自動水栓化改修工事</td> <td>161,810円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 大阪府立信太高等学校トイレ手洗い栓（計27台）自動水栓化改修工事 | 741,730円 | 工事名称 | 金額 | 大阪府立信太高等学校手洗台水栓（計3台）自動水栓化改修工事 | 161,810円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>（台帳の取得登録）</p> <p>第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。</p> <p>(1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。</p> <p>(2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>（台帳価格）</p> <p>第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>（固定資産計上の基本方針）</p> <p>1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。</p> <p>2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> |
| 工事名称  | 金額  |          |    |                                  |          |      |    |                               |          |   |
| 大阪府立信太高等学校トイレ手洗い栓（計27台）自動水栓化改修工事  | 741,730円  |          |    |                                  |          |      |    |                               |          |   |
| 工事名称  | 金額  |          |    |                                  |          |      |    |                               |          |   |
| 大阪府立信太高等学校手洗台水栓（計3台）自動水栓化改修工事   | 161,810円  |          |    |                                  |          |      |    |                               |          |   |
| <b>措置の内容</b>  |   |          |    |                                  |          |      |    |                               |          |   |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。</p> <p>検出事項の原因は、工事完了後の支払時に、担当主査が財務会計上の仕訳処理において大阪府公有財産台帳等処理要領に示す「固定資産計上基準」の解釈に錯誤があったことによる。</p> <p>再発防止に向けて、関係職員に対し資産と費用の仕訳や公有財産台帳への資産の登録について適切に実施するよう周知徹底するとともに、工事代金支払時の仕訳について、決裁時に支出書類に添付することとし、チェック体制を強化した。</p> <p>今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |    |                                  |          |      |    |                               |          |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関              | 検出事項   | 是正を求める事項 |    |                     |          |  |
|---------------------|--|----------|----|---------------------|----------|--|
| 高石高等学校              | <p>改修工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>工事完了日：令和4年12月10日（検査日：令和4年12月10日）</p> <table border="1" data-bbox="528 604 1620 779"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立高石高等学校便所手洗栓改修工事</td> <td>873,400円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 大阪府立高石高等学校便所手洗栓改修工事 | 873,400円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>         (台帳の取得登録)<br/>         第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。<br/>         2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。<br/>         (1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。<br/>         (2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>(台帳価格)<br/>         第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。<br/>         (1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>         (固定資産計上の基本方針)<br/>         1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけではなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。<br/>         2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> |
| 工事名称                | 金額   |          |    |                     |          |  |
| 大阪府立高石高等学校便所手洗栓改修工事 | 873,400円   |          |    |                     |          |  |

措置の内容

公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。  
 検出事項の原因は、資産と費用の区分について、事務室職員が十分な認識を持っていなかったことにある。  
 再発防止に向けて、事務室内で資産計上の考え方について公有財産台帳システム研修資料により周知を行うことによりチェック体制を強化した。  
 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

時間外等勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |    |   |        |    |   |
|---|--|----------|--------|----|---|--------|----|---|
| 久米田高等学校   | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものが3件あった。</p> <table border="1" data-bbox="525 611 1190 795"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>事実発生時期</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和5年2月</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和5年2月 | 3件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期   | 件数       |        |    |   |        |    |   |
| A   | 令和5年2月   | 3件       |        |    |   |        |    |   |
| 措置の内容   |  |          |        |    |   |        |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接監督責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |  |          |        |    |   |        |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年1月12日）

備品管理の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項  |           |          |    |    |       |                         |           |   |          |   |
|---|---|-----------|-----------|----------|----|----|-------|-------------------------|-----------|---|----------|---|
| 久米田高等学校   | <p>備品出納簿に記載されている下記の備品について、不用決定を行わずに廃棄していた。</p> <table border="1" data-bbox="495 499 1632 688"> <thead> <tr> <th data-bbox="495 499 733 573">品種</th> <th data-bbox="733 499 1020 573">品目<br/>商品名</th> <th data-bbox="1020 499 1305 573">当初受入年月日</th> <th data-bbox="1305 499 1451 573">数量</th> <th data-bbox="1451 499 1632 573">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="495 573 733 688">機械器具類</td> <td data-bbox="733 573 1020 688">OA機器類<br/>レーザープリンター（カラー）</td> <td data-bbox="1020 573 1305 688">平成24年7月3日</td> <td data-bbox="1305 573 1451 688">1</td> <td data-bbox="1451 573 1632 688">227,220円</td> </tr> </tbody> </table> | 品種        | 品目<br>商品名 | 当初受入年月日  | 数量 | 金額 | 機械器具類 | OA機器類<br>レーザープリンター（カラー） | 平成24年7月3日 | 1 | 227,220円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務規則】</b><br/>           （不用の決定及び不用品の処分）<br/>           第87条 知事又は第3条の規定により物品の処分に関する事務を委任された者は、使用する必要がない物品又は使用に耐えない物品で保存の必要がないものについては、不用品調書（様式第49号）を作成の上不用の決定をしなければならない。</p> </div> |
| 品種  | 品目<br>商品名   | 当初受入年月日   | 数量        | 金額       |    |    |       |                         |           |   |          |   |
| 機械器具類   | OA機器類<br>レーザープリンター（カラー）   | 平成24年7月3日 | 1         | 227,220円 |    |    |       |                         |           |   |          |   |
| 措置の内容   |   |           |           |          |    |    |       |                         |           |   |          |   |
| <p>不用決定を行わずに廃棄した当該備品については、不用決定及び備品出納簿からの払出しを行った。<br/>           不用決定を行わずに廃棄した原因については、担当者が不用決定の手続を失念したためである。<br/>           再発防止に向けて、関係職員に対し、備品廃棄時の留意点及び手続について周知を行った。<br/>           今後は、大阪府財務規則に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |           |           |          |    |    |       |                         |           |   |          |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年1月12日）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項 |    |                            |            |  |
|--|---|----------|----|----------------------------|------------|--|
| 久米田高等学校  | <p>改修工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>工事完了日：令和4年8月15日（検査日：令和4年8月15日）</p> <table border="1" data-bbox="528 583 1617 758"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立久米田高等学校 体育館1階 便所便器改修工事</td> <td>2,435,400円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 大阪府立久米田高等学校 体育館1階 便所便器改修工事 | 2,435,400円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>                     (台帳の取得登録)</p> <p>第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。</p> <p>(1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。</p> <p>(2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>(台帳価格)</p> <p>第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>                     (固定資産計上の基本方針)</p> <p>1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。</p> <p>2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> </div> |
| 工事名称   | 金額  |          |    |                            |            |  |
| 大阪府立久米田高等学校 体育館1階 便所便器改修工事   | 2,435,400円  |          |    |                            |            |  |
| <b>措置の内容</b>   |   |          |    |                            |            |  |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。</p> <p>検出事項の原因は、資産と費用の区分について、担当者が十分な認識を持っていなかったことにある。</p> <p>再発防止に向けて、関係職員に対し資産と費用の仕訳や公有財産台帳への登録について適切に実施するよう周知徹底するとともに、資産と費用の区分について、複数の職員で確認を行うことによりチェック体制を強化した。</p> <p>今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |    |                            |            |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年1月12日）

行政財産使用許可に係る光熱水費の徴収の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項 |             |   |     |                   |          |          |         |  |
|--|--|----------|-------------|---|-----|-------------------|----------|----------|---------|--|
| <p>貝塚南高等学校</p>   | <p>業者が負担する食堂の電気料金は、食堂で使用した使用量を学校全体の使用量で除した量に学校全体の電気料金を乗じて算出することになっているが、学校全体から普通教室等空調分を差し引いた電気料金を乗じて算出した。</p> <p>また、使用量の小数点未満の端数は処理しないことになっているが、端数処理をして算出したため、業者からの負担金が徴収不足となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="507 646 1436 873"> <thead> <tr> <th></th> <th>誤<br/>(既収納額)</th> <th>正</th> <th>不足額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業者が負担する令和4年度の電気料金</td> <td>283,770円</td> <td>296,850円</td> <td>13,080円</td> </tr> </tbody> </table> |          | 誤<br>(既収納額) | 正 | 不足額 | 業者が負担する令和4年度の電気料金 | 283,770円 | 296,850円 | 13,080円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
|  | 誤<br>(既収納額)  | 正        | 不足額         |   |     |                   |          |          |         |  |
| 業者が負担する令和4年度の電気料金  | 283,770円   | 296,850円 | 13,080円     |   |     |                   |          |          |         |  |
| <p>措置の内容</p>   |  |          |             |   |     |                   |          |          |         |  |
| <p>業者が負担する電気料金の不足分について、速やかに追徴を行った。</p> <p>検出事項の原因は、業者負担光熱水費の算出について、担当者及び決裁者の確認が不十分であったことにある。</p> <p>再発防止に向けて、関係職員に対し、本事例について周知を行うとともに、業者負担光熱水費の算出を行う際には、複数での確認を確実にすることによりチェック体制を強化した。</p> <p>今後は、適正な事務処理を行う。</p> |  |          |             |   |     |                   |          |          |         |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月7日）

## 管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項   |           |         |  |        |        |       |   |            |            |           |        |  |
|--|--|------------|-----------|---------|--|--------|--------|-------|---|------------|------------|-----------|--------|--|
| 貝塚南高等学校  | <p>管内出張をシステムに重複して入力し、そのまま承認された後、当該重複した出張の取消しを忘れたものがあつた。<br/>また、旅費支出の際にチェックされず、そのまま決裁を行ったため、旅費が過誤払となつていた。</p> <table border="1" data-bbox="510 600 1626 772"><thead><tr><th rowspan="2">職員</th><th rowspan="2">出張日</th><th colspan="2">システム入力日</th><th rowspan="2">過誤払旅費額</th></tr><tr><th>当初入力日</th><th>重複入力日</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>令和4年11月13日</td><td>令和4年11月14日</td><td>令和4年12月2日</td><td>1,120円</td></tr></tbody></table> | 職員         | 出張日       | システム入力日 |  | 過誤払旅費額 | 当初入力日  | 重複入力日 | A | 令和4年11月13日 | 令和4年11月14日 | 令和4年12月2日 | 1,120円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員   | 出張日  |            |           | システム入力日 |  |        | 過誤払旅費額 |       |   |            |            |           |        |  |
|  |  | 当初入力日      | 重複入力日     |         |  |        |        |       |   |            |            |           |        |  |
| A  | 令和4年11月13日   | 令和4年11月14日 | 令和4年12月2日 | 1,120円  |  |        |        |       |   |            |            |           |        |  |
| <b>措置の内容</b>   |  |            |           |         |  |        |        |       |   |            |            |           |        |  |
| <p>過誤払となつた旅費については、戻入を行い、返納済みである。<br/>検出事項の原因は、申請者が当初入力したことを失念して重複入力したことと、直接監督責任者の確認不足により重複入力を見落としたことにある。<br/>再発防止に向けて、関係職員に対し、本事例について周知を行うとともに、管内旅費集計を行う際には、複数での確認を確実にを行うことによりチェック体制を強化した。<br/>今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |            |           |         |  |        |        |       |   |            |            |           |        |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月7日）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項               |         |       |    |   |            |           |        |   |            |    |        |    |           |      |      |   |                  |                        |         |  |
|--|--|------------------------|---------|-------|----|---|------------|-----------|--------|---|------------|----|--------|----|-----------|------|------|---|------------------|------------------------|---------|--|
| <p>貝塚南高等学校</p>   | <p>出勤簿について、出勤なし、退勤なし及び早退となっているものが2件あった。本件については、本来年休取得により処理することとしていたが、当該手続が行われずに放置されていた。</p> <table border="1" data-bbox="537 594 1632 808"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>日付</th> <th>出勤簿表示</th> <th>原因</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和4年10月14日</td> <td>出勤なし、退勤なし</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>令和4年11月28日</td> <td>早退</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、校長等が勤務を命じた週休日において、終業時刻前に退勤したが、年休取得の手続が行われずに放置されていた。</p> <table border="1" data-bbox="537 978 1632 1125"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>週休日の勤務命令日</th> <th>勤務時間</th> <th>退勤時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>令和4年10月1日<br/>(土)</td> <td>午前8時30分から<br/>午後5時00分まで</td> <td>午後2時19分</td> </tr> </tbody> </table> | 職員                     | 日付      | 出勤簿表示 | 原因 | A | 令和4年10月14日 | 出勤なし、退勤なし | 年休入力漏れ | B | 令和4年11月28日 | 早退 | 年休入力漏れ | 職員 | 週休日の勤務命令日 | 勤務時間 | 退勤時間 | B | 令和4年10月1日<br>(土) | 午前8時30分から<br>午後5時00分まで | 午後2時19分 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員   | 日付   | 出勤簿表示                  | 原因      |       |    |   |            |           |        |   |            |    |        |    |           |      |      |   |                  |                        |         |  |
| A  | 令和4年10月14日   | 出勤なし、退勤なし              | 年休入力漏れ  |       |    |   |            |           |        |   |            |    |        |    |           |      |      |   |                  |                        |         |  |
| B  | 令和4年11月28日   | 早退                     | 年休入力漏れ  |       |    |   |            |           |        |   |            |    |        |    |           |      |      |   |                  |                        |         |  |
| 職員   | 週休日の勤務命令日  | 勤務時間                   | 退勤時間    |       |    |   |            |           |        |   |            |    |        |    |           |      |      |   |                  |                        |         |  |
| B  | 令和4年10月1日<br>(土)   | 午前8時30分から<br>午後5時00分まで | 午後2時19分 |       |    |   |            |           |        |   |            |    |        |    |           |      |      |   |                  |                        |         |  |
| <p>措置の内容</p>   |  |                        |         |       |    |   |            |           |        |   |            |    |        |    |           |      |      |   |                  |                        |         |  |
| <p>検出事項について、速やかに年次休暇の手続の上、出勤簿の修正を行った。<br/>                 検出事項の原因は、当該職員が年休の入力を失念したことと、直接監督責任者の確認不足であった。<br/>                 再発防止に向けて、関係職員と直接監督責任者に注意喚起を行うとともに、直接監督責任者が出勤簿状況の確認を徹底することで、チェック体制を強化した。<br/>                 今後は、適正な事務処理を行う。</p> |  |                        |         |       |    |   |            |           |        |   |            |    |        |    |           |      |      |   |                  |                        |         |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月7日）

備品管理の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項   |           |          |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
|--|--|------------|-----------|----------|----|----|-------|--------|-----------|---|----------|-----|-------|--------|------------|---|----------|------|-----|-----|-----------|---|----------|-----|-----|-----|------------|---|----------|-----|-------|--------|------------|---|----------|------|--|
| <p>貝塚南高等学校</p>   | <p>備品出納簿に記載されている下記の備品について、現物を確認することができなかつた。</p> <table border="1" data-bbox="495 533 1629 1045"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>品目<br/>商品名</th> <th>当初受入年月日</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">家具什器類</td> <td>その他器具類</td> <td rowspan="2">平成3年3月14日</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">274,813円</td> </tr> <tr> <td>テレビ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械器具類</td> <td>計器測量器具</td> <td rowspan="2">昭和59年3月31日</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">125,000円</td> </tr> <tr> <td>タイマー</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">繊維類</td> <td>繊維類</td> <td rowspan="2">平成5年2月25日</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">190,550円</td> </tr> <tr> <td>テント</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">繊維類</td> <td>繊維類</td> <td rowspan="2">平成16年2月27日</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">159,600円</td> </tr> <tr> <td>テント</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">家具什器類</td> <td>その他器具類</td> <td rowspan="2">平成30年3月23日</td> <td rowspan="2">1</td> <td rowspan="2">356,400円</td> </tr> <tr> <td>放送設備</td> </tr> </tbody> </table> | 品種         | 品目<br>商品名 | 当初受入年月日  | 数量 | 金額 | 家具什器類 | その他器具類 | 平成3年3月14日 | 1 | 274,813円 | テレビ | 機械器具類 | 計器測量器具 | 昭和59年3月31日 | 1 | 125,000円 | タイマー | 繊維類 | 繊維類 | 平成5年2月25日 | 1 | 190,550円 | テント | 繊維類 | 繊維類 | 平成16年2月27日 | 1 | 159,600円 | テント | 家具什器類 | その他器具類 | 平成30年3月23日 | 1 | 356,400円 | 放送設備 | <p>検出事項について、現物が確認できない原因を特定し、速やかに是正措置を講じるとともに、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務規則】</b><br/>                     (物品の出納の通知及び帳簿の記載)<br/>                     第80条 物品管理者は、物品の受入れ又は払出しの必要があるときは、出納員に物品の分類を明らかにして出納の通知をしなければならない。<br/>                     2 前項の通知を受けた出納員は、次に掲げる帳簿を備え、受入れ又は払出しの事実を記載しなければならない。<br/>                     一 備品出納簿(様式第39号)</p> </div> |
| 品種   | 品目<br>商品名  | 当初受入年月日    | 数量        | 金額       |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
| 家具什器類  | その他器具類   | 平成3年3月14日  | 1         | 274,813円 |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
|  | テレビ  |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
| 機械器具類  | 計器測量器具   | 昭和59年3月31日 | 1         | 125,000円 |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
|  | タイマー   |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
| 繊維類  | 繊維類  | 平成5年2月25日  | 1         | 190,550円 |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
|  | テント  |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
| 繊維類  | 繊維類  | 平成16年2月27日 | 1         | 159,600円 |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
|  | テント  |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
| 家具什器類  | その他器具類   | 平成30年3月23日 | 1         | 356,400円 |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
|  | 放送設備   |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
| <p>措置の内容</p>   |  |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |
| <p>現物を確認できなかった備品について、原因調査を行ったところ、不用決定を行わずに廃棄していたことが判明した。このため、廃棄済である当該備品について、不用決定及び備品出納簿からの払出しを行った。再発防止に向けて、関係職員に対し、備品の適正管理について周知を行った。今後は、大阪府財務規則に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |     |       |        |            |   |          |      |     |     |           |   |          |     |     |     |            |   |          |     |       |        |            |   |          |      |  |

監査(検査)実施年月日(委員:令和一年一月一日、事務局:令和5年12月7日)

建設仮勘定の精算事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項   |          |      |      |       |                      |          |          |    |                      |            |          |  |
|---|---|------------|----------|------|------|-------|----------------------|----------|----------|----|----------------------|------------|----------|--|
| <p>泉鳥取高等学校</p>  | <p>令和4年度の財務諸表（貸借対照表）の建設仮勘定に、工事完了による引渡しが行われている下記の工事に係る金額が計上されたままとなっていた。</p> <table border="1" data-bbox="498 520 1602 716"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約件名</th> <th>契約金額</th> <th>未精算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>大阪府立泉鳥取高等学校便所手洗栓改修工事</td> <td>935,000円</td> <td>910,864円</td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>大阪府立泉鳥取高等学校便所洋式化改修工事</td> <td>1,730,520円</td> <td>841,857円</td> </tr> </tbody> </table> | 年度         | 契約件名     | 契約金額 | 未精算額 | 令和4年度 | 大阪府立泉鳥取高等学校便所手洗栓改修工事 | 935,000円 | 910,864円 | 同上 | 大阪府立泉鳥取高等学校便所洋式化改修工事 | 1,730,520円 | 841,857円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務諸表作成基準】</b><br/>                     （固定資産の分類及び計上）<br/>                     第15条 固定資産の計上は次のとおりとする。<br/>                     (7) 建設仮勘定<br/>                     行政活動の用に供する固定資産を取得する場合における支出及びその付随的支出を、資産が完成するまでの間、一時的に計上する。</p> <p><b>【建設仮勘定取扱要領】</b><br/>                     第4条 建設仮勘定は、公有財産要領第4条及び第5条に規定する取得年月日又は異動年月日をもって精算しなければならない。<br/>                     2 前項に規定する精算と併せて、本資産勘定の額と同額の財産を公有財産台帳に登録しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>                     （台帳の異動登録）<br/>                     第5条<br/>                     2 異動した財産については、次の各号に掲げる日を異動年月日とする。また、第1号（府以外からの取得の場合に限る。）及び第3号の場合においては、併せて取得年月日を登録する。<br/>                     (3) 建物等の増改築等は、工事完了による引渡しの日。（以下略）</p> </div> |
| 年度  | 契約件名  | 契約金額       | 未精算額     |      |      |       |                      |          |          |    |                      |            |          |  |
| 令和4年度   | 大阪府立泉鳥取高等学校便所手洗栓改修工事  | 935,000円   | 910,864円 |      |      |       |                      |          |          |    |                      |            |          |  |
| 同上  | 大阪府立泉鳥取高等学校便所洋式化改修工事  | 1,730,520円 | 841,857円 |      |      |       |                      |          |          |    |                      |            |          |  |
| <p>措置の内容</p>  |   |            |          |      |      |       |                      |          |          |    |                      |            |          |  |
| <p>過年度の建設仮勘定精算は所属では行えないため、会計局会計指導課に修正を依頼し、本資産勘定への精算処理を行った。<br/>                     また、資産となるものについては、公有財産台帳の修正を行った。<br/>                     検出事項の原因は、建設仮勘定の精算処理について、担当者が正しく理解していなかったことにある。<br/>                     再発防止に向けて、関係職員に対し建設仮勘定の精算処理について適切に実施するよう周知徹底するとともに、SSC等で未精算案件の確認を定期的に行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                     今後は、大阪府財務諸表作成基準等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |            |          |      |      |       |                      |          |          |    |                      |            |          |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

備品管理の不備

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項  |           |          |    |    |       |                       |           |   |          |   |
|--|---|-----------|-----------|----------|----|----|-------|-----------------------|-----------|---|----------|---|
| 枚方なぎさ高等学校  | <p>備品出納簿に記載されている下記の備品について、現物を確認することができなかつた。</p> <table border="1" data-bbox="495 533 1626 726"> <thead> <tr> <th data-bbox="495 533 733 611">品種</th> <th data-bbox="733 533 1018 611">品目<br/>商品名</th> <th data-bbox="1018 533 1302 611">当初受入年月日</th> <th data-bbox="1302 533 1448 611">数量</th> <th data-bbox="1448 533 1626 611">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="495 611 733 726">家具什器類</td> <td data-bbox="733 611 1018 726">厨房器具<br/>ウォータークーラ<br/>ー</td> <td data-bbox="1018 611 1302 726">平成21年3月6日</td> <td data-bbox="1302 611 1448 726">1</td> <td data-bbox="1448 611 1626 726">123,900円</td> </tr> </tbody> </table> | 品種        | 品目<br>商品名 | 当初受入年月日  | 数量 | 金額 | 家具什器類 | 厨房器具<br>ウォータークーラ<br>ー | 平成21年3月6日 | 1 | 123,900円 | <p>検出事項について、現物が確認できない原因を特定し、速やかに是正措置を講じるとともに、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務規則】</b><br/>                     (物品の出納の通知及び帳簿の記載)<br/>                     第80条 物品管理者は、物品の受入れ又は払出しの必要があるときは、出納員に物品の分類を明らかにして出納の通知をしなければならない。<br/>                     2 前項の通知を受けた出納員は、次に掲げる帳簿を備え、受入れ又は払出しの事実を記載しなければならない。<br/>                     一 備品出納簿 (様式第39号)</p> </div> |
| 品種   | 品目<br>商品名   | 当初受入年月日   | 数量        | 金額       |    |    |       |                       |           |   |          |   |
| 家具什器類  | 厨房器具<br>ウォータークーラ<br>ー   | 平成21年3月6日 | 1         | 123,900円 |    |    |       |                       |           |   |          |   |
| <b>措置の内容</b>   |   |           |           |          |    |    |       |                       |           |   |          |   |
| <p>現物を確認できなかった備品について、原因調査を行ったところ、不用決定を行わずに廃棄していたことが判明した。<br/>                     このため、廃棄済である当該備品について、不用決定及び備品出納簿からの払出しを行った。<br/>                     再発防止に向けて、関係職員に対し、備品の適正管理について周知を行った。<br/>                     今後は、大阪府財務規則に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |           |           |          |    |    |       |                       |           |   |          |   |

監査(検査)実施年月日(委員:令和一年一月一日、事務局:令和6年1月30日)

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関 | 検出事項  | 是正を求める事項   |           |    |           |       |               |            |          |  |
|--------|---|------------|-----------|----|-----------|-------|---------------|------------|----------|--|
| 芦間高等学校 | <p>令和4年度の財務諸表（貸借対照表）において、建設仮勘定に費用として計上すべきものが含まれていた。</p> <table border="1" data-bbox="492 506 1555 663"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約名称</th> <th>金額</th> <th>費用計上すべき金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>校舎棟生徒用トイレ改修工事</td> <td>2,250,600円</td> <td>720,549円</td> </tr> </tbody> </table> | 年度         | 契約名称      | 金額 | 費用計上すべき金額 | 令和4年度 | 校舎棟生徒用トイレ改修工事 | 2,250,600円 | 720,549円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【建設仮勘定取扱要領】</b><br/>           第4条 建設仮勘定は、公有財産要領第4条及び第5条に規定する取得年月日又は異動年月日をもって精算しなければならない。<br/>           2 前項に規定する精算と併せて、本資産勘定の額と同額の財産を公有財産台帳に登録しなければならない。</p> </div> <p>(参考) 建設仮勘定の精算処理について<br/>           「新公会計制度マニュアル」第一章 新公会計制度の概要、2 新公会計制度特有の会計処理、5 建設仮勘定 より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 建設仮勘定は、建設中の固定資産の取得に要した経費について、その施設等が完成し、引き渡しを受けるまでの間、又は供用が開始されるまでの間において一時的にプールするための勘定です。新規取得、改修にかかわらず、その資産価額の上昇を伴う工事等で公有財産台帳等に登録されるものが対象となります。</li> <li>○ 工事が完成して、供用開始となった時点で固定資産台帳（公有財産システム）への記録を行いますが、併せて、財務会計システムの【建設仮勘定精算】画面から建物、工作物など整理すべき勘定への精算処理を行うことで、本勘定への振替が行われます。</li> <li>○ 一部、または全部が費用であるにもかかわらず建設仮勘定に計上している場合、精算登録において費用へ変更することはできませんので、建設仮勘定に計上している金額を【複式情報訂正】画面で修正した後に、改めて精算登録を行います。</li> </ul> |
| 年度     | 契約名称  | 金額         | 費用計上すべき金額 |    |           |       |               |            |          |  |
| 令和4年度  | 校舎棟生徒用トイレ改修工事   | 2,250,600円 | 720,549円  |    |           |       |               |            |          |  |

措置の内容

過年度の建設仮勘定精算については、所属では行えないため会計局会計指導課に修正を依頼し本資産勘定への精算処理を行った。  
 また、今回は費用に係るものだったので公有財産台帳は記載済である。  
 検出事項の原因は、建設仮勘定の精算処理について、担当者が正しく理解していなかったことにある。  
 再発防止に向けて、関係職員に対し建設仮勘定の精算処理について適切に実施するよう周知徹底するとともに、SSC等で未精算案件の確認を定期的に行うことによりチェック体制を強化した。  
 今後は、大阪府財務諸表作成基準等に基づき、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

経費支出手続の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  |         |        |         |  | 是正を求める事項 |    |    |       |       |        |   |         |    |         |   |         |        |         |         |   |         |    |         |   |         |        |         |  |
|---|---|---------|--------|---------|--|----------|----|----|-------|-------|--------|---|---------|----|---------|---|---------|--------|---------|---------|---|---------|----|---------|---|---------|--------|---------|--|
| 松原高等学校  | <p>学習支援スタッフへの謝金（交通費を含む。）の支出について、所得税の源泉徴収が行われていなかった。</p> <table border="1" data-bbox="498 533 1519 856"> <thead> <tr> <th>実績月</th> <th>区分</th> <th>謝金</th> <th>源泉徴収額</th> <th>差引支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">令和4年7月</td> <td>誤</td> <td>27,200円</td> <td>0円</td> <td>27,200円</td> </tr> <tr> <td>正</td> <td>27,200円</td> <td>2,777円</td> <td>24,423円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">令和4年11月</td> <td>誤</td> <td>12,800円</td> <td>0円</td> <td>12,800円</td> </tr> <tr> <td>正</td> <td>12,800円</td> <td>1,306円</td> <td>11,494円</td> </tr> </tbody> </table> |         |        |         |  | 実績月      | 区分 | 謝金 | 源泉徴収額 | 差引支給額 | 令和4年7月 | 誤 | 27,200円 | 0円 | 27,200円 | 正 | 27,200円 | 2,777円 | 24,423円 | 令和4年11月 | 誤 | 12,800円 | 0円 | 12,800円 | 正 | 12,800円 | 1,306円 | 11,494円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【所得税法】</b><br/>         （源泉徴収義務）<br/> <b>第204条</b> 居住者に対し国内において次に掲げる報酬若しくは料金、契約金又は賞金の支払をする者は、その支払の際、その報酬若しくは料金、契約金又は賞金について所得税を徴収し、その徴収の日の属する月の翌月10日までに、これを国に納付しなければならない。<br/>         一 原稿、さし絵、作曲、レコード吹込み又はデザインの報酬、放送謝金、著作権（著作隣接権を含む。）又は工業所有権の使用料及び講演料並びにこれらに類するもので政令で定める報酬又は料金</p> |
| 実績月   | 区分  | 謝金      | 源泉徴収額  | 差引支給額   |  |          |    |    |       |       |        |   |         |    |         |   |         |        |         |         |   |         |    |         |   |         |        |         |  |
| 令和4年7月  | 誤   | 27,200円 | 0円     | 27,200円 |  |          |    |    |       |       |        |   |         |    |         |   |         |        |         |         |   |         |    |         |   |         |        |         |  |
|   | 正   | 27,200円 | 2,777円 | 24,423円 |  |          |    |    |       |       |        |   |         |    |         |   |         |        |         |         |   |         |    |         |   |         |        |         |  |
| 令和4年11月   | 誤   | 12,800円 | 0円     | 12,800円 |  |          |    |    |       |       |        |   |         |    |         |   |         |        |         |         |   |         |    |         |   |         |        |         |  |
|   | 正   | 12,800円 | 1,306円 | 11,494円 |  |          |    |    |       |       |        |   |         |    |         |   |         |        |         |         |   |         |    |         |   |         |        |         |  |
| <b>措置の内容</b>  |   |         |        |         |  |          |    |    |       |       |        |   |         |    |         |   |         |        |         |         |   |         |    |         |   |         |        |         |  |
| <p>学習支援スタッフから源泉徴収額を徴収し、源泉徴収額の未納について、所得税の納付を行った。<br/>         検出事項の原因は、担当者が所得税の源泉徴収を失念していたことにある。<br/>         再発防止に向けて、経費支出の起案が回議された時は、複数の職員で確認するようチェック体制を強化した。<br/>         今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |         |        |         |  |          |    |    |       |       |        |   |         |    |         |   |         |        |         |         |   |         |    |         |   |         |        |         |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月30日）

契約手続の不備及び公有財産台帳の登載誤り

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |         |          |                              |       |      |    |                    |      |         |          |                              |    |                     |      |         |         |                              |  |
|---|--|----------|---------|----------|------------------------------|-------|------|----|--------------------|------|---------|----------|------------------------------|----|---------------------|------|---------|---------|------------------------------|--|
| <p>松原高等学校</p>   | <p>農業科実習用地の借上げに当たって、土地賃貸借契約書の締結及び経費支出に係る意思決定は行っていたが、契約書を締結していなかった。</p> <p>(1) 賃貸借期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで<br/>                     (2) 賃貸借料 120,000円（債権者A）及び54,000円（債権者B）</p> <p>また、借用財産の借用期間の更新について、公有財産台帳への登載を行っていなかった。</p> <table border="1" data-bbox="492 758 1644 1136"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>所在地</th> <th>借用数量</th> <th>借用目的</th> <th>年間借用料</th> <th>借用期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td>松原市三宅東三丁目1576番地の一部</td> <td>600㎡</td> <td>農業実習用農地</td> <td>120,000円</td> <td>(注)<br/>令和4年4月1日から令和5年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>松原市三宅東三丁目1577番地1の一部</td> <td>270㎡</td> <td>農業実習用農地</td> <td>54,000円</td> <td>(注)<br/>令和4年4月1日から令和5年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 公有財産台帳では、借用期間が「平成29年4月1日から平成30年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> | 種別       | 所在地     | 借用数量     | 借用目的                         | 年間借用料 | 借用期間 | 土地 | 松原市三宅東三丁目1576番地の一部 | 600㎡ | 農業実習用農地 | 120,000円 | (注)<br>令和4年4月1日から令和5年3月31日まで | 土地 | 松原市三宅東三丁目1577番地1の一部 | 270㎡ | 農業実習用農地 | 54,000円 | (注)<br>令和4年4月1日から令和5年3月31日まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【大阪府公有財産台帳等処理要領】<br/>                     (借用財産)<br/>                     第18条 部局長等は、所管事業にかかわる借地及び借家（借建物）の契約等を行ったときは、借用財産としてシステムを用いて借用登録を行うものとする。<br/>                     2 登録した借用財産の状況に異動があったときは、システムを用いて異動登録を行うものとする。</p> <p>【公有財産事務の手引】<br/>                     第2章 公有財産の取得<br/>                     第3節 借用<br/>                     府が行政遂行の手段として、他者の所有する財産を許可又は契約（賃貸借契約、使用貸借契約）により借り受けることをいう。<br/>                     借用財産は、公有財産ではないが、公用又は公共用に供するために借用する財産は公有財産と同様に管理する必要がある。その用に供するために土地や建物を1年以上の期間借用する場合は、公有財産台帳等管理システムに登録すること。</p> |
| 種別  | 所在地  | 借用数量     | 借用目的    | 年間借用料    | 借用期間                         |       |      |    |                    |      |         |          |                              |    |                     |      |         |         |                              |  |
| 土地  | 松原市三宅東三丁目1576番地の一部   | 600㎡     | 農業実習用農地 | 120,000円 | (注)<br>令和4年4月1日から令和5年3月31日まで |       |      |    |                    |      |         |          |                              |    |                     |      |         |         |                              |  |
| 土地  | 松原市三宅東三丁目1577番地1の一部  | 270㎡     | 農業実習用農地 | 54,000円  | (注)<br>令和4年4月1日から令和5年3月31日まで |       |      |    |                    |      |         |          |                              |    |                     |      |         |         |                              |  |
| 措置の内容   |  |          |         |          |                              |       |      |    |                    |      |         |          |                              |    |                     |      |         |         |                              |  |
| <p>検出事項について、土地賃貸借契約書を締結するとともに、借用財産の借用期間の更新を公有財産台帳に登載を行った。<br/>                     検出事項の原因は、担当者が事務繁忙により契約書の締結及び公有財産台帳への登載を失念していたことにある。<br/>                     再発防止に向けて、担当者に対し土地賃貸借契約書の締結及び経費支出に係る意思決定の処理を適正に行うよう注意喚起するとともに、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                     今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |          |         |          |                              |       |      |    |                    |      |         |          |                              |    |                     |      |         |         |                              |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月30日）

行政財産使用許可に係る光熱水費等経費の徴収の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |             |   |     |              |    |      |      |  |
|---|--|----------|-------------|---|-----|--------------|----|------|------|--|
| 松原高等学校  | <p>業者等が設置する公衆電話の電気代については、当該行政財産使用許可書に基づき、徴収することになっているが、令和5年3月分の電気代を徴収していなかった。</p> <table border="1" data-bbox="498 533 1424 726"> <thead> <tr> <th></th> <th>誤<br/>(既収納額)</th> <th>正</th> <th>不足額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業者等が負担する電気料金</td> <td>0円</td> <td>326円</td> <td>326円</td> </tr> </tbody> </table> |          | 誤<br>(既収納額) | 正 | 不足額 | 業者等が負担する電気料金 | 0円 | 326円 | 326円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
|   | 誤<br>(既収納額)  | 正        | 不足額         |   |     |              |    |      |      |  |
| 業者等が負担する電気料金  | 0円   | 326円     | 326円        |   |     |              |    |      |      |  |
| 措置の内容   |  |          |             |   |     |              |    |      |      |  |
| <p>業者が負担する電気料金の不足分について、速やかに追徴を行った。<br/>                 検出事項の原因は、担当者の確認不足にある。<br/>                 再発防止に向けて、毎月の徴収事務のチェック表を作成することにより、複数での確認を行えるようチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、適正な事務処理を行う。</p> |  |          |             |   |     |              |    |      |      |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月30日）

旅費の精算事務の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項      |      |               |    |     |     |                        |         |    |          |     |                         |          |    |           |   |
|--|--|---------------|------|---------------|----|-----|-----|------------------------|---------|----|----------|-----|-------------------------|----------|----|-----------|---|
| <p>松原高等学校</p>  | <p>旅費の概算払をしたときは、概算払を受けた者は旅費の確定後30日以内に精算を行い、支出命令者は同期間内に精算させなければならないが、支出命令者が当該行為を怠り、精算が遅延しているものが37件あった。</p> <table border="1" data-bbox="495 575 1623 848"> <thead> <tr> <th>出張先</th> <th>出張期間</th> <th>旅費支給額<br/>(総額)</th> <th>件数</th> <th>精算日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府</td> <td>令和4年4月17日<br/>から同月18日まで</td> <td>33,950円</td> <td>21</td> <td>令和4年9月2日</td> </tr> <tr> <td>千葉県</td> <td>令和4年11月27日<br/>から同月29日まで</td> <td>779,328円</td> <td>16</td> <td>令和5年2月28日</td> </tr> </tbody> </table> | 出張先           | 出張期間 | 旅費支給額<br>(総額) | 件数 | 精算日 | 大阪府 | 令和4年4月17日<br>から同月18日まで | 33,950円 | 21 | 令和4年9月2日 | 千葉県 | 令和4年11月27日<br>から同月29日まで | 779,328円 | 16 | 令和5年2月28日 | <p>検出事項について、概算払を受けた者に対し、精算の必要性について周知徹底し、支出命令者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【地方自治法施行令】</b><br/>(概算払)<br/>第162条 次の各号に掲げる経費については、概算払をすることができる。<br/>一 旅費</p> <p><b>【大阪府財務規則】</b><br/>(概算払の精算)<br/>第47条 支出命令者は、概算払をしたときは、その債務の額が確定した後30日以内に、概算払を受けた者に精算させなければならない。</p> </div> |
| 出張先  | 出張期間   | 旅費支給額<br>(総額) | 件数   | 精算日           |    |     |     |                        |         |    |          |     |                         |          |    |           |   |
| 大阪府  | 令和4年4月17日<br>から同月18日まで   | 33,950円       | 21   | 令和4年9月2日      |    |     |     |                        |         |    |          |     |                         |          |    |           |   |
| 千葉県  | 令和4年11月27日<br>から同月29日まで  | 779,328円      | 16   | 令和5年2月28日     |    |     |     |                        |         |    |          |     |                         |          |    |           |   |
| <p>措置の内容</p>   |  |               |      |               |    |     |     |                        |         |    |          |     |                         |          |    |           |   |
| <p>是正を求められた事項について、関係職員に対して精算の必要性について周知徹底するとともに、支出命令者及び事務担当者が復命書及びSSCでの定期的な確認を行うこととした。今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |               |      |               |    |     |     |                        |         |    |          |     |                         |          |    |           |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月30日）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項 |      |   |                               |  |
|--|---|----------|------|---|-------------------------------|--|
| <p>松原高等学校</p>  | <p>疾病等により30日以上休業又は休職していた職員の復業に当たっては、安全衛生管理者である所属長は総括安全衛生管理者である教育次長に対し、大阪府立学校職員安全衛生管理規程第31条に基づく病者の報告等を行わなければならないが、報告がなされていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="513 600 1383 795"> <thead> <tr> <th data-bbox="513 600 620 646">職員</th> <th data-bbox="620 600 1383 646">休業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="513 646 620 795">A</td> <td data-bbox="620 646 1383 795">令和4年12月12日から令和5年1月31日まで（51日間）</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 休業期間 | A | 令和4年12月12日から令和5年1月31日まで（51日間） | <p>検出事項について、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府立学校職員安全衛生管理規程】</b><br/>                     (病者の報告等)<br/>                     第31条 安全衛生管理者は、次の各号のいずれかに該当する職員が、療養に専念しないために就業を禁止する必要があると認めるときは、病者報告書(様式第4号)に医師の診断書を添付し、総括安全衛生管理者に報告しなければならない。疾病等により30日以上休業又は休職していた職員が復業又は復職するときも、同様とする。</p> </div> |
| 職員   | 休業期間  |          |      |   |                               |  |
| A  | 令和4年12月12日から令和5年1月31日まで（51日間）   |          |      |   |                               |  |
| <p>措置の内容</p>   |   |          |      |   |                               |  |
| <p>未提出となっていた病者報告については、監査受検後、総括安全衛生管理者あて提出した。<br/>                     検出事項の原因は、担当者の認識不足にある。<br/>                     再発防止に向けて、関係職員に対し、サービスに係る手続を適切に行うよう周知を図った。<br/>                     今後は、大阪府立学校職員安全衛生管理規程に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |      |   |                               |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月30日）

通勤に係る費用弁償の事後の確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |         |    |   |
|---------|--|----------|--------|---------|----|---|
| 松原高等学校  | <p>通勤に係る費用弁償の事後の確認について、非常勤職員（非常勤講師を除く。）に定期券の写し等の提出を求めていなかった。</p> <table border="1" data-bbox="552 533 1216 669"> <thead> <tr> <th data-bbox="552 533 914 600">確認書類</th> <th data-bbox="914 533 1216 600">非常勤職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="552 600 914 669">定期券の写し等</td> <td data-bbox="914 600 1216 669">1名</td> </tr> </tbody> </table> | 確認書類     | 非常勤職員数 | 定期券の写し等 | 1名 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公立学校一般職非常勤職員就業等規則】</b><br/> <b>(定義)</b><br/>           第2条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。<br/>           一 非常勤講師 一般職非常勤職員のうち、公立学校の講師をいう。<br/>           二 非常勤補助員 一般職非常勤職員のうち、定例的で、かつ、反復して行われる業務等に係る労務を提供するものをいう。<br/>           三 非常勤特別嘱託員 一般職非常勤職員のうち、特殊な技能若しくは専門的知識、経験等を有するものをいう。</p> <p><b>(通勤に係る費用弁償の事後の確認)</b><br/>           第24条 校長等は、現に通勤に係る費用弁償を支給されている一般職非常勤職員(平均1箇月当たりの通勤所要回数が少ない等通勤の実情を勘案し委員会が別に定める職員を除く。)について、その者が第22条第1項の対象者たる要件を具備するかどうか及び通勤に係る費用弁償が適正であるかどうかを当該一般職非常勤職員に通勤定期券等の提示を求め、又は通勤の実情を実地に調査する等の方法により、随時、確認するものとする。</p> <p><b>【非常勤職員の交通費に関する要領】</b><br/> <b>(事後の確認に係る委員会が別に定める職員)</b><br/>           第8条 規則第24条の「委員会が別に定める職員」は、規則第2条第1号に規定する職員とする。</p> </div> |
| 確認書類    | 非常勤職員数   |          |        |         |    |   |
| 定期券の写し等 | 1名   |          |        |         |    |   |

措置の内容

検出事項について、継続雇用非常勤職員に対し、令和5年度に事後確認を実施した。  
 検出事項の原因は、担当者が十分な認識を持っていなかったためである。  
 再発防止に向けて、関係職員に対し通勤に係る費用弁償の事後の確認について周知徹底するとともに、対象者全員へ書類提出を依頼しているか複数人で確認するようチェック体制を強化した。  
 今後は、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月30日）

公有財産管理の不備

| 対象受検機関 | 検出事項  | 是正を求める事項   |     |  |
|--------|---|--|-----|--|
| 松原高等学校 | 消防法で3年に1回と定められている、消防用設備等の点検結果の報告を、平成29年8月29日に報告した日以降、報告していなかった。 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【消防法】</b><br/> 第17条 学校、(中略) その他の防火対象物で政令で定めるものの関係者は、政令で定める消防の用に供する設備、消防用水及び消火活動上必要な施設(以下「消防用設備等」という。)について消火、避難その他の消防の活動のために必要とされる性能を有するように、政令で定める技術上の基準に従って、設置し、及び維持しなければならない。</p> <p>第17条の3の3 第17条第1項の防火対象物(政令で定めるものを除く。)の関係者は、当該防火対象物における消防用設備等又は特殊消防用設備等(第8条の2の2第1項の防火対象物にあつては、消防用設備等又は特殊消防用設備等の機能)について、総務省令で定めるところにより、定期に、当該防火対象物のうち政令で定めるものにあつては消防設備士免状の交付を受けている者又は総務省令で定める資格を有する者に点検させ、その他のものにあつては自ら点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。</p> <p><b>【消防法施行令】</b><br/> 第2章<br/> 第1節 防火対象物の指定<br/> (防火対象物の指定)<br/> 第6条 法第17条第1項の政令で定める防火対象物は、別表第1に掲げる防火対象物とする。<br/> 別表第一(抜粋)</p> <table border="1" data-bbox="1576 1304 2694 1409"> <tr> <td>(七)</td> <td>小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの</td> </tr> </table> <p><b>【消防法施行規則】</b><br/> (消防用設備等又は特殊消防用設備等の点検及び報告)<br/> 第31条の6 法第17条の3の3の規定による消防用設備等の点検は、種類及び点検内容に応じて、1年以内で消防庁長官が定める期間ごとに行うものとする。<br/> 3 防火対象物の関係者は、前2項の規定により点検を行った結果を、(中略) 次の各号に掲げる防火対象物の区分に従い、当該各号に定める期間ごとに消防長又は消防署長に報告しなければならない。(以下略)<br/> 二 令別表第一(中略)(七)項(中略)に掲げる防火対象物 三年に一回</p> | (七) | 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの |
| (七)    | 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの      |  |     |  |

措置の内容

検出事項について、監査後、直ちに消防用設備等の点検結果の報告を行った。  
検出事項の原因は、担当者が前回報告の確認を怠ったためである。  
再発防止に向けて、関係職員に対し周知徹底をするとともに、複数の職員で実施状況の確認を行うことによりチェック体制を強化した。また、設備点検報告書専用ファイルで保管し過去の報告書の確認を容易にした。  
今後は、法令等に基づき、適正な点検報告を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月30日）

行政財産使用許可等の不備

| 対象受検機関        | 検出事項   | 是正を求める事項    |          |                           |       |      |    |        |       |          |                           |            |          |         |            |             |        |    |      |    |       |      |    |        |       |          |                           |    |          |         |   |
|---------------|--|-------------|----------|---------------------------|-------|------|----|--------|-------|----------|---------------------------|------------|----------|---------|------------|-------------|--------|----|------|----|-------|------|----|--------|-------|----------|---------------------------|----|----------|---------|---|
| <p>松原高等学校</p> | <p>行政財産の使用許可について、当該行政財産の使用を許可された者から許可内容の変更（自動販売機1台の撤去及び公衆電話の撤去）について、口頭で申出があったところ、これを口頭で承認したのみで、行政財産使用許可書第10で定める変更の手続を行っていなかった。</p> <p>許可内容</p> <table border="1" data-bbox="492 625 1656 915"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>許可数量</th> <th>目的</th> <th>年間使用料</th> <th>許可期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">建物</td> <td>81.97㎡</td> <td>食堂の営業</td> <td>153,340円</td> <td rowspan="3">令和3年4月1日から<br/>令和8年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>(注1)<br/>4台</td> <td>自動販売機の設置</td> <td>76,120円</td> </tr> <tr> <td>(注2)<br/>1台</td> <td>カード式公衆電話の設置</td> <td>4,070円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 自動販売機は令和4年度から変更していた。<br/>(注2) カード式公衆電話は令和5年度から変更していた。</p> <p>変更後の許可内容</p> <table border="1" data-bbox="492 1066 1656 1293"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>許可数量</th> <th>目的</th> <th>年間使用料</th> <th>許可期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">建物</td> <td>81.97㎡</td> <td>食堂の営業</td> <td>153,340円</td> <td rowspan="2">令和3年4月1日から<br/>令和8年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>3台</td> <td>自動販売機の設置</td> <td>57,090円</td> </tr> </tbody> </table> | 種別          | 許可数量     | 目的                        | 年間使用料 | 許可期間 | 建物 | 81.97㎡ | 食堂の営業 | 153,340円 | 令和3年4月1日から<br>令和8年3月31日まで | (注1)<br>4台 | 自動販売機の設置 | 76,120円 | (注2)<br>1台 | カード式公衆電話の設置 | 4,070円 | 種別 | 許可数量 | 目的 | 年間使用料 | 許可期間 | 建物 | 81.97㎡ | 食堂の営業 | 153,340円 | 令和3年4月1日から<br>令和8年3月31日まで | 3台 | 自動販売機の設置 | 57,090円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【公有財産事務の手引】</b><br/> 第3章 公有財産の管理事務<br/> 第7節 使用許可<br/> 第7 使用許可の変更<br/> 使用許可を受けた物件の名称、所在場所、構造、数量（面積）、使用期間、使用料及び利用目的を当初の使用許可との同一性を失わせることなく変更する場合をいう。（以下略）</p> <p><b>【行政財産使用許可書】</b><br/> 第10 使用者は、物件の修繕その他の管理上必要な行為をし、または許可内容の全部若しくは一部の変更を求めようとするときは、事前に書面で申し出て、知事（又は大阪府公有財産規則第3条により委任を受けた者）（以下「許可者」という。）の承認を受けなければならない。</p> </div> |
| 種別            | 許可数量   | 目的          | 年間使用料    | 許可期間                      |       |      |    |        |       |          |                           |            |          |         |            |             |        |    |      |    |       |      |    |        |       |          |                           |    |          |         |   |
| 建物            | 81.97㎡   | 食堂の営業       | 153,340円 | 令和3年4月1日から<br>令和8年3月31日まで |       |      |    |        |       |          |                           |            |          |         |            |             |        |    |      |    |       |      |    |        |       |          |                           |    |          |         |   |
|               | (注1)<br>4台   | 自動販売機の設置    | 76,120円  |                           |       |      |    |        |       |          |                           |            |          |         |            |             |        |    |      |    |       |      |    |        |       |          |                           |    |          |         |   |
|               | (注2)<br>1台   | カード式公衆電話の設置 | 4,070円   |                           |       |      |    |        |       |          |                           |            |          |         |            |             |        |    |      |    |       |      |    |        |       |          |                           |    |          |         |   |
| 種別            | 許可数量   | 目的          | 年間使用料    | 許可期間                      |       |      |    |        |       |          |                           |            |          |         |            |             |        |    |      |    |       |      |    |        |       |          |                           |    |          |         |   |
| 建物            | 81.97㎡   | 食堂の営業       | 153,340円 | 令和3年4月1日から<br>令和8年3月31日まで |       |      |    |        |       |          |                           |            |          |         |            |             |        |    |      |    |       |      |    |        |       |          |                           |    |          |         |   |
|               | 3台   | 自動販売機の設置    | 57,090円  |                           |       |      |    |        |       |          |                           |            |          |         |            |             |        |    |      |    |       |      |    |        |       |          |                           |    |          |         |   |

措置の内容

検出事項について、当該行政財産の使用を許可された者から、「行政財産使用許可変更申請書」の提出を受け変更手続を行った。  
検出事項の原因は、担当者が十分な認識を持っていなかったことにある。  
再発防止に向けて、関係職員に対し公有財産台帳への登載について適切に実施するよう周知徹底するとともに、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。  
今後は法令等に基づき、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月30日）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項 |    |                     |          |      |    |                   |          |   |
|--|--|----------|----|---------------------|----------|------|----|-------------------|----------|---|
| 成美高等学校   | <p>改修工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>1 工事完了日：令和4年8月9日（検査日：令和4年8月9日）</p> <table border="1" data-bbox="528 577 1611 751"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立成美高等学校便所手洗栓改修工事</td> <td>794,200円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 工事完了日：令和4年12月5日（検査日：令和4年12月5日）</p> <table border="1" data-bbox="528 825 1611 999"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立成美高等学校手洗栓改修工事</td> <td>242,880円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 大阪府立成美高等学校便所手洗栓改修工事 | 794,200円 | 工事名称 | 金額 | 大阪府立成美高等学校手洗栓改修工事 | 242,880円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【大阪府公有財産台帳等処理要領】<br/>（台帳の取得登録）<br/>第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。<br/>(1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。<br/>(2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>（台帳価格）<br/>第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。<br/>(1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>（固定資産計上の基本方針）<br/>1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。<br/>2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> |
| 工事名称   | 金額   |          |    |                     |          |      |    |                   |          |   |
| 大阪府立成美高等学校便所手洗栓改修工事  | 794,200円   |          |    |                     |          |      |    |                   |          |   |
| 工事名称   | 金額   |          |    |                     |          |      |    |                   |          |   |
| 大阪府立成美高等学校手洗栓改修工事  | 242,880円   |          |    |                     |          |      |    |                   |          |   |
| <b>措置の内容</b>   |  |          |    |                     |          |      |    |                   |          |   |
| <p>検出事項について、公有財産台帳への資産の登録について修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。<br/>                 検出事項の原因は、大阪府財務諸表作成基準及び大阪府公有財産台帳等処理要領 別表4 固定資産計上基準表を事務室職員が十分に理解しないまま事務処理を行ったことにある。<br/>                 再発防止に向けて、これらの基準を周知し再確認を行うことにより、チェック体制を強化した。<br/>                 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |          |    |                     |          |      |    |                   |          |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

時間外勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |    |   |        |    |   |
|---|--|----------|--------|----|---|--------|----|---|
| 貝塚高等学校  | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="525 611 1190 793"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>事実発生時期</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和5年3月</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和5年3月 | 1件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期   | 件数       |        |    |   |        |    |   |
| A   | 令和5年3月   | 1件       |        |    |   |        |    |   |
| 措置の内容   |  |          |        |    |   |        |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接監督責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |  |          |        |    |   |        |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月25日）

公有財産台帳の登載誤り

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項  |        |                                   |       |      |    |       |       |    |                                   |    |       |           |    |                                   |    |              |      |        |                                   |    |            |          |        |                                   |   |
|--|---|-----------|--------|-----------------------------------|-------|------|----|-------|-------|----|-----------------------------------|----|-------|-----------|----|-----------------------------------|----|--------------|------|--------|-----------------------------------|----|------------|----------|--------|-----------------------------------|---|
| <p>貝塚高等学校</p>  | <p>行政財産の使用許可の更新について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="495 535 1635 1026"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>許可数量</th> <th>目的</th> <th>年間使用料</th> <th>許可期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td>0.36㎡</td> <td>道路照明灯</td> <td>免除</td> <td>(注)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>17.2㎡</td> <td>同窓会占有スペース</td> <td>免除</td> <td>(注)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>電柱2本<br/>支線2本</td> <td>電力供給</td> <td>6,800円</td> <td>(注)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>添架電柱<br/>2本</td> <td>電話ケーブル添架</td> <td>3,230円</td> <td>(注)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 公有財産台帳では、許可期間が「平成30年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> | 種別        | 許可数量   | 目的                                | 年間使用料 | 許可期間 | 土地 | 0.36㎡ | 道路照明灯 | 免除 | (注)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 建物 | 17.2㎡ | 同窓会占有スペース | 免除 | (注)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 土地 | 電柱2本<br>支線2本 | 電力供給 | 6,800円 | (注)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 土地 | 添架電柱<br>2本 | 電話ケーブル添架 | 3,230円 | (注)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産規則】</b><br/>(使用状況の確認)<br/>第31条 部局長等は、その所管する行政財産の使用の許可の内容について、知事が別に定めるところにより公有財産台帳に登載し、毎年一回、その許可に係る行政財産の使用の状況を実地について調査し、確認しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>(使用許可、貸付又は使用承認の状況)<br/>第19条 部局長等は、使用許可、貸付又は使用承認を行ったときは、システムを用いて使用許可、貸付又は使用承認の情報を当該年度に登録するものとする。<br/>2 登録した使用許可、貸付又は使用承認の状況に異動があったときは、システムを用いて異動登録を行うものとする。</p> </div> |
| 種別   | 許可数量  | 目的        | 年間使用料  | 許可期間                              |       |      |    |       |       |    |                                   |    |       |           |    |                                   |    |              |      |        |                                   |    |            |          |        |                                   |   |
| 土地   | 0.36㎡   | 道路照明灯     | 免除     | (注)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |       |       |    |                                   |    |       |           |    |                                   |    |              |      |        |                                   |    |            |          |        |                                   |   |
| 建物   | 17.2㎡   | 同窓会占有スペース | 免除     | (注)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |       |       |    |                                   |    |       |           |    |                                   |    |              |      |        |                                   |    |            |          |        |                                   |   |
| 土地   | 電柱2本<br>支線2本  | 電力供給      | 6,800円 | (注)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |       |       |    |                                   |    |       |           |    |                                   |    |              |      |        |                                   |    |            |          |        |                                   |   |
| 土地   | 添架電柱<br>2本  | 電話ケーブル添架  | 3,230円 | (注)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |       |       |    |                                   |    |       |           |    |                                   |    |              |      |        |                                   |    |            |          |        |                                   |   |
| <p>措置の内容</p>   |   |           |        |                                   |       |      |    |       |       |    |                                   |    |       |           |    |                                   |    |              |      |        |                                   |    |            |          |        |                                   |   |
| <p>検出事項について、公有財産台帳に登載を行った。<br/>                 検出事項の原因は、事務室の職員が十分な認識を持っていなかったことにある。<br/>                 再発防止に向けて、事務室の職員に対し公有財産台帳への登載について適切に実施するよう周知徹底するとともに、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |           |        |                                   |       |      |    |       |       |    |                                   |    |       |           |    |                                   |    |              |      |        |                                   |    |            |          |        |                                   |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月25日）

公有財産台帳の登載誤り

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項                |                  |                                    |       |      |    |   |         |                 |                                    |    |       |                    |    |                                    |     |       |                 |    |                                    |    |                     |                         |                  |                                    |  |
|--|---|-------------------------|------------------|------------------------------------|-------|------|----|---|---------|-----------------|------------------------------------|----|-------|--------------------|----|------------------------------------|-----|-------|-----------------|----|------------------------------------|----|---------------------|-------------------------|------------------|------------------------------------|--|
| <p>淀川清流高等学校</p>  | <p>行政財産の使用許可の更新について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="498 533 1635 1066"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>許可数量</th> <th>目的</th> <th>年間使用料</th> <th>許可期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td>18.01㎡<br/>引込み柱 1本<br/>埋管 管径169mm<br/>×3.2m ほか</td> <td>ガバナー室設置</td> <td>(注1)<br/>73,550円</td> <td>(注2)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>8.49㎡</td> <td>災害救助用備蓄<br/>物資保管庫設置</td> <td>免除</td> <td>(注2)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>工作物</td> <td>0.54㎡</td> <td>災害時避難所<br/>案内掲示板</td> <td>免除</td> <td>(注2)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>(注3)<br/>73.5㎡<br/>5台</td> <td>学校食堂営業<br/>及び<br/>自動販売機設置</td> <td>(注4)<br/>226,200円</td> <td>(注5)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 公有財産台帳では、年間使用料の改定に伴う登載が行われず「72,350円」のまま放置されていた。</p> <p>(注2) 公有財産台帳では、許可期間が「平成30年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> <p>(注3) 公有財産台帳では、許可数量の変更に伴う登載が行われず「77.83㎡」のまま放置されていた。</p> <p>(注4) 公有財産台帳では、年間使用料の改定に伴う登載が行われず「215,050円」のまま放置されていた。</p> <p>(注5) 公有財産台帳では、許可期間が「平成30年9月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> | 種別                      | 許可数量             | 目的                                 | 年間使用料 | 許可期間 | 土地 | 18.01㎡<br>引込み柱 1本<br>埋管 管径169mm<br>×3.2m ほか | ガバナー室設置 | (注1)<br>73,550円 | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 土地 | 8.49㎡ | 災害救助用備蓄<br>物資保管庫設置 | 免除 | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 工作物 | 0.54㎡ | 災害時避難所<br>案内掲示板 | 免除 | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 建物 | (注3)<br>73.5㎡<br>5台 | 学校食堂営業<br>及び<br>自動販売機設置 | (注4)<br>226,200円 | (注5)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【大阪府公有財産規則】</b><br/>(使用状況の確認)<br/>第31条 部局長等は、その所管する行政財産の使用の許可の内容について、知事が別に定めるところにより公有財産台帳に登載し、毎年一回、その許可に係る行政財産の使用の状況を実地について調査し、確認しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>(使用許可、貸付又は使用承認の状況)<br/>第19条 部局長等は、使用許可、貸付又は使用承認を行ったときは、システムを用いて使用許可、貸付又は使用承認の情報を当該年度に登録するものとする。<br/>2 登録した使用許可、貸付又は使用承認の状況に異動があったときは、システムを用いて異動登録を行うものとする。</p> |
| 種別   | 許可数量  | 目的                      | 年間使用料            | 許可期間                               |       |      |    |   |         |                 |                                    |    |       |                    |    |                                    |     |       |                 |    |                                    |    |                     |                         |                  |                                    |  |
| 土地   | 18.01㎡<br>引込み柱 1本<br>埋管 管径169mm<br>×3.2m ほか   | ガバナー室設置                 | (注1)<br>73,550円  | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |   |         |                 |                                    |    |       |                    |    |                                    |     |       |                 |    |                                    |    |                     |                         |                  |                                    |  |
| 土地   | 8.49㎡   | 災害救助用備蓄<br>物資保管庫設置      | 免除               | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |   |         |                 |                                    |    |       |                    |    |                                    |     |       |                 |    |                                    |    |                     |                         |                  |                                    |  |
| 工作物  | 0.54㎡   | 災害時避難所<br>案内掲示板         | 免除               | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |   |         |                 |                                    |    |       |                    |    |                                    |     |       |                 |    |                                    |    |                     |                         |                  |                                    |  |
| 建物   | (注3)<br>73.5㎡<br>5台   | 学校食堂営業<br>及び<br>自動販売機設置 | (注4)<br>226,200円 | (注5)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |   |         |                 |                                    |    |       |                    |    |                                    |     |       |                 |    |                                    |    |                     |                         |                  |                                    |  |
| <p>措置の内容</p>   |   |                         |                  |                                    |       |      |    |   |         |                 |                                    |    |       |                    |    |                                    |     |       |                 |    |                                    |    |                     |                         |                  |                                    |  |
| <p>検出事項について、公有財産台帳に登載を行った。<br/>原因については、担当者が使用許可の更新時に公有財産台帳も併せて更新することに十分な認識を持っていなかったことにある。<br/>再発防止に向けて、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化し、令和6年度末にも更新案件があることを共有した。<br/>今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |                         |                  |                                    |       |      |    |   |         |                 |                                    |    |       |                    |    |                                    |     |       |                 |    |                                    |    |                     |                         |                  |                                    |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項 |    |                   |         |  |
|---|---|----------|----|-------------------|---------|--|
| 淀川清流高等学校  | <p>取付工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>工事完了日：令和4年7月21日（検査日：令和4年7月21日）</p> <table border="1" data-bbox="531 611 1620 781"> <thead> <tr> <th data-bbox="531 611 1246 695">工事名称</th> <th data-bbox="1246 611 1620 695">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="531 695 1246 781">教室棟1階女子トイレ自動栓取付工事</td> <td data-bbox="1246 695 1620 781">33,000円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 教室棟1階女子トイレ自動栓取付工事 | 33,000円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【大阪府公有財産台帳等処理要領】<br/>         (台帳の取得登録)<br/>         第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」とおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。<br/>         (1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。<br/>         (2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>(台帳価格)<br/>         第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。<br/>         (1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」とおりとする。<br/>         「別表4 固定資産計上基準表」<br/>         (固定資産計上の基本方針)<br/>         1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。<br/>         2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> |
| 工事名称  | 金額  |          |    |                   |         |  |
| 教室棟1階女子トイレ自動栓取付工事   | 33,000円   |          |    |                   |         |  |
| 措置の内容   |   |          |    |                   |         |  |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。<br/>         検出事項の原因は、担当者が自動栓を資産と認識していなかったことにある。<br/>         再発防止に向けて、資産と費用の仕訳や公有財産台帳への登録について、改めて制度を確認するとともに、適切に実施するよう周知した。<br/>         今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |    |                   |         |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

旅費の精算事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項          |             |           |       |       |   |           |                   |             |           |   |           |                   |             |           |   |
|---|---|-------------------|-------------|-----------|-------|-------|---|-----------|-------------------|-------------|-----------|---|-----------|-------------------|-------------|-----------|---|
| <p>布施北高等学校</p>  | <p>旅費の概算払をしたときは、概算払を受けた者は旅費の確定後30日以内に精算を行い、支出命令者は同期間内に精算させなければならないが、ともに当該行為を怠り、未精算のものが2件あった。</p> <table border="1" data-bbox="498 575 1635 842"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>出張先</th> <th>出張期間</th> <th>旅費支給額</th> <th>旅費支給日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>鹿児島県及び宮崎県</td> <td>令和4年10月4日から同月5日まで</td> <td>(注)<br/>780円</td> <td>令和4年12月6日</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>鹿児島県及び宮崎県</td> <td>令和4年10月4日から同月5日まで</td> <td>(注)<br/>780円</td> <td>令和4年12月6日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 旅費支給額は自宅から新大阪駅までの往復交通費<br/>新大阪駅から目的地までの往復の旅費(宿泊料を含む。)は別途支出</p> | 職員                | 出張先         | 出張期間      | 旅費支給額 | 旅費支給日 | A | 鹿児島県及び宮崎県 | 令和4年10月4日から同月5日まで | (注)<br>780円 | 令和4年12月6日 | B | 鹿児島県及び宮崎県 | 令和4年10月4日から同月5日まで | (注)<br>780円 | 令和4年12月6日 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、概算払を受けた者に対し、精算の必要性について周知徹底し、支出命令者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【地方自治法施行令】<br/>(概算払)<br/>第162条 次の各号に掲げる経費については、概算払をすることができる。<br/>一 旅費</p> <p>【大阪府財務規則】<br/>(概算払の精算)<br/>第47条 支出命令者は、概算払をしたときは、その債務の額が確定した後30日以内に、概算払を受けた者に精算させなければならない。</p> |
| 職員  | 出張先   | 出張期間              | 旅費支給額       | 旅費支給日     |       |       |   |           |                   |             |           |   |           |                   |             |           |   |
| A   | 鹿児島県及び宮崎県   | 令和4年10月4日から同月5日まで | (注)<br>780円 | 令和4年12月6日 |       |       |   |           |                   |             |           |   |           |                   |             |           |   |
| B   | 鹿児島県及び宮崎県   | 令和4年10月4日から同月5日まで | (注)<br>780円 | 令和4年12月6日 |       |       |   |           |                   |             |           |   |           |                   |             |           |   |
| <p>措置の内容</p>  |   |                   |             |           |       |       |   |           |                   |             |           |   |           |                   |             |           |   |
| <p>旅費の概算払の未精算の2件について精算を行った。<br/>再発防止に向けて、管外出張旅費処理状況一覧表を作成し未精算案件の確認を徹底することとした。<br/>また、支出命令者及び事務担当者が復命書及びSSCでの定期的な確認を行うこととした。<br/>今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |                   |             |           |       |       |   |           |                   |             |           |   |           |                   |             |           |   |

監査(検査)実施年月日(委員:令和一年一月一日、事務局:令和5年10月26日)

不適切なサービス管理

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項     |        |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|---------|--|--------------|--------|-------|----|---|-----------|----|--------|---|------------|----|--------|---|-----------|----|--------|------------|----|--------|-----------|----|--------|---|----------|----|--------|---|-----------|----|--------|-----------|----|--------|---|----------|--------------|--------|----------|--------------|--------|----------|----|--------|----------|----|--------|---|----------|--------------|--------|-----------|----|--------|-----------|----|--------|-----------|----|--------|-----------|----|--------|--|
| 布施北高等学校 | <p>出勤簿について、遅参、早退、出勤なし及び退勤なしとなっているものが<b>38</b>件あった。本件については、本来年休取得により処理することとしていたが、当該手続が行われずに放置されていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 569 1608 1818"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>日付</th> <th>出勤簿表示</th> <th>原因</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和5年3月30日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>令和4年12月26日</td> <td>早退</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">C</td> <td>令和4年10月6日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和4年10月11日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和4年11月4日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>令和5年3月2日</td> <td>早退</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">E</td> <td>令和5年3月20日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月24日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">F</td> <td>令和5年1月4日</td> <td>出勤なし<br/>退勤なし</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和5年1月5日</td> <td>出勤なし<br/>退勤なし</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和5年1月6日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月3日</td> <td>早退</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">G</td> <td>令和5年1月4日</td> <td>出勤なし<br/>退勤なし</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月14日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月16日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月20日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月24日</td> <td>遅参</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> </tbody> </table> | 職員           | 日付     | 出勤簿表示 | 原因 | A | 令和5年3月30日 | 遅参 | 年休入力漏れ | B | 令和4年12月26日 | 早退 | 年休入力漏れ | C | 令和4年10月6日 | 遅参 | 年休入力漏れ | 令和4年10月11日 | 遅参 | 年休入力漏れ | 令和4年11月4日 | 遅参 | 年休入力漏れ | D | 令和5年3月2日 | 早退 | 年休入力漏れ | E | 令和5年3月20日 | 遅参 | 年休入力漏れ | 令和5年3月24日 | 遅参 | 年休入力漏れ | F | 令和5年1月4日 | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ | 令和5年1月5日 | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ | 令和5年1月6日 | 遅参 | 年休入力漏れ | 令和5年3月3日 | 早退 | 年休入力漏れ | G | 令和5年1月4日 | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ | 令和5年3月14日 | 遅参 | 年休入力漏れ | 令和5年3月16日 | 遅参 | 年休入力漏れ | 令和5年3月20日 | 遅参 | 年休入力漏れ | 令和5年3月24日 | 遅参 | 年休入力漏れ | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員      | 日付   | 出勤簿表示        | 原因     |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
| A       | 令和5年3月30日  | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
| B       | 令和4年12月26日   | 早退           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
| C       | 令和4年10月6日  | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|         | 令和4年10月11日   | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|         | 令和4年11月4日  | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
| D       | 令和5年3月2日   | 早退           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
| E       | 令和5年3月20日  | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|         | 令和5年3月24日  | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
| F       | 令和5年1月4日   | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|         | 令和5年1月5日   | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|         | 令和5年1月6日   | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|         | 令和5年3月3日   | 早退           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
| G       | 令和5年1月4日   | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|         | 令和5年3月14日  | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|         | 令和5年3月16日  | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|         | 令和5年3月20日  | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |
|         | 令和5年3月24日  | 遅参           | 年休入力漏れ |       |    |   |           |    |        |   |            |    |        |   |           |    |        |            |    |        |           |    |        |   |          |    |        |   |           |    |        |           |    |        |   |          |              |        |          |              |        |          |    |        |          |    |        |   |          |              |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |           |    |        |  |

|           |   |            |              |        |  |
|-----------|---|------------|--------------|--------|--|
|           | H | 令和4年12月26日 | 早退           | 年休入力漏れ |  |
|           | I | 令和5年2月15日  | 早退           | 年休入力漏れ |  |
|           | J | 令和4年12月21日 | 早退           | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和5年3月16日  | 早退           | 年休入力漏れ |  |
|           | K | 令和4年10月6日  | 遅参           | 年休入力漏れ |  |
|           | L | 令和5年3月16日  | 遅参           | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和5年3月24日  | 遅参           | 年休入力漏れ |  |
|           | M | 令和4年12月7日  | 遅参           | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和5年1月12日  | 遅参           | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和5年3月30日  | 遅参           | 年休入力漏れ |  |
|           | N | 令和5年1月18日  | 遅参           | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和5年2月8日   | 遅参           | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和5年3月15日  | 早退           | 年休入力漏れ |  |
|           | O | 令和4年12月27日 | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和4年12月28日 | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和5年1月4日   | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和5年1月5日   | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和5年3月14日  | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ |  |
|           | P | 令和5年3月15日  | 遅参           | 年休入力漏れ |  |
|           |   | 令和5年3月16日  | 遅参           | 年休入力漏れ |  |
| 令和5年3月20日 |   | 遅参         | 年休入力漏れ       |        |  |

| 措置の内容   |
|---|
| 検出事項について、速やかに年次休暇の手続の上、出勤簿の修正を行った。<br>検出事項の原因は、当該職員が年休の入力を失念したことと、直接監督責任者の確認不足であった。<br>再発防止に向けて、関係職員と直接監督責任者に注意喚起を行うとともに、直接監督責任者が出勤簿状況の確認を徹底することで、チェック体制を強化した。<br>今後は、適正な事務処理を行う。 |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月26日）

不適切なサービス管理及び管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項                       |       |     |       |   |         |          |      |  |         |       |          |        |  |                                |
|--|---|--------------------------------|-------|-----|-------|---|---------|----------|------|--|---------|-------|----------|--------|--|--------------------------------|
| <p>布施北高等学校</p>   | <p>定期健康診断の受診に係る管内出張について、誤って職務専念義務免除申請としてシステム登録を行い、決裁権者が誤って承認していた。そのため、管内出張に係る旅費も未払となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="498 573 1418 684"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>出張先</th> <th>出張日</th> <th>未払旅費額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>大阪市住之江区</td> <td>令和4年5月9日</td> <td>592円</td> </tr> </tbody> </table> | 職員                             | 出張先   | 出張日 | 未払旅費額 | A | 大阪市住之江区 | 令和4年5月9日 | 592円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【府立学校職員健康診断実施要項】</p> <p>8 健康診断受診に伴うサービスの取扱い</p> <p>○健康診断受診に伴うサービスの取扱いについては、次のとおりとする。<br/>ただし、この取扱いは指定健診機関に指示された医療機関を受診する場合に限る。</p> <table border="1" data-bbox="1709 722 2629 968"> <thead> <tr> <th>健康診断の種類</th> <th>検査項目等</th> <th>サービスの取扱い</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期健康診断</td> <td>一次<br/>○結核検査、医師の診察、尿検査、血圧測定、身長・体重、視力検査、血液検査、聴力検査、心電図検査、腹囲測定、胃検査</td> <td>出張<br/>*指定健診機関に指示された医療機関で受診すること</td> </tr> </tbody> </table> | 健康診断の種類 | 検査項目等 | サービスの取扱い | 定期健康診断 | 一次<br>○結核検査、医師の診察、尿検査、血圧測定、身長・体重、視力検査、血液検査、聴力検査、心電図検査、腹囲測定、胃検査 | 出張<br>*指定健診機関に指示された医療機関で受診すること |
| 職員   | 出張先   | 出張日                            | 未払旅費額 |     |       |   |         |          |      |  |         |       |          |        |  |                                |
| A  | 大阪市住之江区   | 令和4年5月9日                       | 592円  |     |       |   |         |          |      |  |         |       |          |        |  |                                |
| 健康診断の種類  | 検査項目等   | サービスの取扱い                       |       |     |       |   |         |          |      |  |         |       |          |        |  |                                |
| 定期健康診断   | 一次<br>○結核検査、医師の診察、尿検査、血圧測定、身長・体重、視力検査、血液検査、聴力検査、心電図検査、腹囲測定、胃検査  | 出張<br>*指定健診機関に指示された医療機関で受診すること |       |     |       |   |         |          |      |  |         |       |          |        |  |                                |
| <p>措置の内容</p>   |   |                                |       |     |       |   |         |          |      |  |         |       |          |        |  |                                |
| <p>検出事項について、誤って承認した職務専念義務の免除を取り消すとともに、管内出張として処理を行い、未払となっていた旅費を支給した。<br/>                 検出事項の原因は、申請者が職員健康管理事業におけるサービスの取扱いについて誤った認識を持っていたことと、直接監督責任者の確認不足にある。<br/>                 再発防止策として、全職員に対し健康診断に係る申請について周知を行うとともに、直接監督責任者が承認を行う際は、申請内容を再確認するように徹底した。<br/>                 今後は、適正な事務処理を行う。</p> |   |                                |       |     |       |   |         |          |      |  |         |       |          |        |  |                                |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月26日）

通勤に係る費用弁償の事後の確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |         |    |  |
|---------|--|----------|--------|---------|----|--|
| 布施北高等学校 | <p>通勤に係る費用弁償の事後の確認について、非常勤職員（非常勤講師を除く。）に定期券の写し等の提出を求めていなかった。</p> <table border="1" data-bbox="549 510 1216 646"> <thead> <tr> <th data-bbox="549 510 914 573">確認書類</th> <th data-bbox="914 510 1216 573">非常勤職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="549 573 914 646">定期券の写し等</td> <td data-bbox="914 573 1216 646">2名</td> </tr> </tbody> </table> | 確認書類     | 非常勤職員数 | 定期券の写し等 | 2名 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公立学校一般職非常勤職員就業等規則】</b><br/>                     (定義)<br/>                     第2条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。<br/>                     一 非常勤講師 一般職非常勤職員のうち、公立学校の講師をいう。<br/>                     二 非常勤補助員 一般職非常勤職員のうち、定例的で、かつ、反復して行われる業務等に係る労務を提供するものをいう。<br/>                     三 非常勤特別嘱託員 一般職非常勤職員のうち、特殊な技能若しくは専門的知識、経験等を有するものをいう。</p> <p>(通勤に係る費用弁償の事後の確認)<br/>                     第24条 校長等は、現に通勤に係る費用弁償を支給されている一般職非常勤職員(平均1箇月当たりの通勤所要回数が少ない等通勤の実情を勘案し委員会が別に定める職員を除く。)について、その者が第22条第1項の対象者たる要件を具備するかどうか及び通勤に係る費用弁償が適正であるかどうかを当該一般職非常勤職員に通勤定期券等の提示を求め、又は通勤の実情を実地に調査する等の方法により、随時、確認するものとする。</p> <p><b>【非常勤職員の交通費に関する要領】</b><br/>                     (事後の確認に係る委員会が別に定める職員)<br/>                     第8条 規則第24条の「委員会が別に定める職員」は、規則第2条第1号に規定する職員とする。</p> </div> |
| 確認書類    | 非常勤職員数   |          |        |         |    |  |
| 定期券の写し等 | 2名   |          |        |         |    |  |

措置の内容

検出事項について、速やかに該当職員に対する事後確認を実施した。  
 検出事項の原因は、通勤に係る費用弁償の事後の確認について、所属職員が認識を持っていなかったことにある。  
 再発防止に向けて、所属職員に対し通勤に係る費用弁償の事後の確認について周知徹底するとともに、通勤手当の事後の確認と同時に本確認の実施を徹底することとした。  
 今後は、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月26日）

公有財産台帳の登載誤り

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項                       |                  |                                   |       |      |    |        |        |                  |                                   |    |    |       |                 |                                   |    |      |    |       |      |    |        |                                |    |                           |   |
|--|---|--------------------------------|------------------|-----------------------------------|-------|------|----|--------|--------|------------------|-----------------------------------|----|----|-------|-----------------|-----------------------------------|----|------|----|-------|------|----|--------|--------------------------------|----|---------------------------|---|
| <p>布施北高等学校</p>   | <p>行政財産の使用許可の更新について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="498 533 1635 800"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>許可数量</th> <th>目的</th> <th>年間使用料</th> <th>許可期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td>98.53㎡</td> <td>食堂（厨房）</td> <td>(注1)<br/>227,260円</td> <td>(注3)<br/>令和3年4月1日から<br/>令和8年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>3台</td> <td>自動販売機</td> <td>(注2)<br/>60,940円</td> <td>(注3)<br/>令和3年4月1日から<br/>令和8年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 公有財産台帳では、年間使用料の改定に伴う登載が行われず「202,280円」のまま放置されていた。<br/> (注2) 公有財産台帳では、年間使用料の改定に伴う登載が行われず「69,330円」のまま放置されていた。<br/> (注3) 公有財産台帳では、許可期間が「平成28年4月1日から令和3年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> <p>また、行政財産の使用許可について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="498 1173 1635 1327"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>許可数量</th> <th>目的</th> <th>年間使用料</th> <th>許可期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建物</td> <td>42.50㎡</td> <td>作業員休憩用及び報告書作成用並びに委託業務に必要な資機材置場</td> <td>免除</td> <td>令和3年2月1日から<br/>令和6年1月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> | 種別                             | 許可数量             | 目的                                | 年間使用料 | 許可期間 | 建物 | 98.53㎡ | 食堂（厨房） | (注1)<br>227,260円 | (注3)<br>令和3年4月1日から<br>令和8年3月31日まで | 建物 | 3台 | 自動販売機 | (注2)<br>60,940円 | (注3)<br>令和3年4月1日から<br>令和8年3月31日まで | 種別 | 許可数量 | 目的 | 年間使用料 | 許可期間 | 建物 | 42.50㎡ | 作業員休憩用及び報告書作成用並びに委託業務に必要な資機材置場 | 免除 | 令和3年2月1日から<br>令和6年1月31日まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【大阪府公有財産規則】</b><br/> (使用状況の確認)<br/> 第31条 部局長等は、その所管する行政財産の使用の許可の内容について、知事が別に定めるところにより公有財産台帳に登載し、毎年一回、その許可に係る行政財産の使用の状況を実地について調査し、確認しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/> (使用許可、貸付又は使用承認の状況)<br/> 第19条 部局長等は、使用許可、貸付又は使用承認を行ったときは、システムを用いて使用許可、貸付又は使用承認の情報を当該年度に登録するものとする。<br/> 2 登録した使用許可、貸付又は使用承認の状況に異動があったときは、システムを用いて異動登録を行うものとする。</p> |
| 種別   | 許可数量  | 目的                             | 年間使用料            | 許可期間                              |       |      |    |        |        |                  |                                   |    |    |       |                 |                                   |    |      |    |       |      |    |        |                                |    |                           |   |
| 建物   | 98.53㎡  | 食堂（厨房）                         | (注1)<br>227,260円 | (注3)<br>令和3年4月1日から<br>令和8年3月31日まで |       |      |    |        |        |                  |                                   |    |    |       |                 |                                   |    |      |    |       |      |    |        |                                |    |                           |   |
| 建物   | 3台  | 自動販売機                          | (注2)<br>60,940円  | (注3)<br>令和3年4月1日から<br>令和8年3月31日まで |       |      |    |        |        |                  |                                   |    |    |       |                 |                                   |    |      |    |       |      |    |        |                                |    |                           |   |
| 種別   | 許可数量  | 目的                             | 年間使用料            | 許可期間                              |       |      |    |        |        |                  |                                   |    |    |       |                 |                                   |    |      |    |       |      |    |        |                                |    |                           |   |
| 建物   | 42.50㎡  | 作業員休憩用及び報告書作成用並びに委託業務に必要な資機材置場 | 免除               | 令和3年2月1日から<br>令和6年1月31日まで         |       |      |    |        |        |                  |                                   |    |    |       |                 |                                   |    |      |    |       |      |    |        |                                |    |                           |   |
| <p>措置の内容</p>   |   |                                |                  |                                   |       |      |    |        |        |                  |                                   |    |    |       |                 |                                   |    |      |    |       |      |    |        |                                |    |                           |   |
| <p>検出事項について、速やかに公有財産台帳に登載を行った。<br/> 検出事項の原因は、公有財産規則等における使用許可等について、事務室担当者が公有財産台帳への登載を失念していたこと、及び登載状況の事後確認の不足にある。<br/> 再発防止に向けて、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/> 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |                                |                  |                                   |       |      |    |        |        |                  |                                   |    |    |       |                 |                                   |    |      |    |       |      |    |        |                                |    |                           |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月26日）

決裁遅延

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項   |
|---|--|--|
| 和泉総合高等学校  | <p>眼科検診に係る支出について、経費支出伺書（支出負担行為）の起案決裁が、業務開始後に行われていた。</p> <p>事業名称：令和4年度眼科検診</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 実施日：令和4年9月29日及び同年10月13日</li> <li>2 経費支出伺書の起案日：令和4年10月12日</li> <li>3 経費支出伺書の決裁日：令和4年10月13日</li> <li>4 支出負担行為額：50,000円</li> </ol> | <p>検出事項について原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【大阪府財務規則】<br/>（支出負担行為）</p> <p>第39条 知事又は第3条の規定により支出負担行為に関する事務を委任された者は、予算の範囲内であることを確認した上で支出負担行為をしなければならない。</p> <p>2 前項の場合において、支出負担行為をする者は、経費支出伺書（様式第29号の2）を作成の上、これを行わなければならない。ただし、知事が別に定める場合は、この限りでない。</p> <p>【大阪府財務規則の運用】</p> <p>第39条関係</p> <p>2 システムにより経費支出伺書を作成する範囲及び時期は、次のとおりとする。</p> <p>(2) 経費支出伺書を作成する時期</p> <p>ア 競争入札及び規則第61条の3に規定する方法により契約を締結するもの<br/>契約の相手方及び契約金額が明らかになったとき</p> <p>イ ア以外のもの<br/>経費支出の相手方又は内容及び支出金額又は支出限度額を決定するとき。</p> |
| 措置の内容   |  |  |
| <p>検出事項の原因は、担当者が大阪府財務規則を十分に確認せず、支払先口座情報が分からないと、債権者登録の起案決裁が行えないとの思い込みにある。支払先口座情報の提出が遅かったため、債権者登録の起案決裁が遅れ、経費支出伺書の起案決裁が1回目の検診実施日後になってしまった。再発防止に向けて、関係職員が研修資料等で債権者登録、経費支出に関する適正な事務処理について再確認することで周知徹底した。今後は、大阪府財務規則等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月21日）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項            |                        |                 |                     |   |          |                    |                        |   |           |                     |                        |   |
|----------|---|---------------------|------------------------|-----------------|---------------------|---|----------|--------------------|------------------------|---|-----------|---------------------|------------------------|---|
| 和泉総合高等学校 | <p>新型コロナワクチン接種に係る職務専念義務の免除について、ワクチン接種に必要と認める時間以外で勤務に服さなかった時間は年休等取得の手続を行わなければならないが、全日にわたって職務専念義務が免除されていた。</p> <table border="1" data-bbox="546 548 1567 905"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>ワクチン接種日</th> <th>ワクチン接種に必要と認める時間</th> <th>職務に専念する義務の免除を承認した時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和4年4月6日</td> <td>午後2時50分から午後4時50分まで</td> <td>午前8時20分から午後4時50分まで(全日)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>令和4年4月20日</td> <td>午前8時20分から午前10時20分まで</td> <td>午前8時20分から午後4時50分まで(全日)</td> </tr> </tbody> </table> | 職員                  | ワクチン接種日                | ワクチン接種に必要と認める時間 | 職務に専念する義務の免除を承認した時間 | A | 令和4年4月6日 | 午後2時50分から午後4時50分まで | 午前8時20分から午後4時50分まで(全日) | B | 令和4年4月20日 | 午前8時20分から午前10時20分まで | 午前8時20分から午後4時50分まで(全日) | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【地方公務員法】</b><br/>(職務に専念する義務)<br/>第35条 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。</p> <p><b>【職務に専念する義務の特例に関する条例】</b><br/>(職務に専念する義務の免除)<br/>第2条 府の職員及び府が設立した地方独立行政法人法第2条第2項に規定する特定地方独立行政法人(以下「特定地方独立行政法人」という。)の職員は、次の各号の一に該当する場合には、あらかじめ任命権者(特定地方独立行政法人の理事長を含む。)又はこれらの委任を受けた者の承認を得て、その職務に専念する義務を免除されることができる。<br/>三 前2号に規定する場合を除くほか、人事委員会(特定地方独立行政法人の職員に係るものにあつては、当該特定地方独立行政法人の理事長)が定める場合</p> <p><b>【職務に専念する義務の特例に関する規則】</b><br/>(職務に専念する義務の免除)<br/>第2条 職員は、次の各号のいずれかに該当する場合には、あらかじめ任命権者又はその委任を受けた者の承諾を得て、その職務に専念する義務を免除されることができる。<br/>十二 前各号のほか、人事委員会が適当と認める場合</p> <p><b>【新型コロナウイルス感染症にかかる教職員のサービスについて(通知)(令和3年6月3日付け教職企第1398号)】※</b><br/>新型コロナウイルス感染症にかかる教職員のサービスについて、別添のとおり取り扱い願います。<br/>別添6 新型コロナワクチン接種を受ける医療従事者等に該当する教職員以外の教職員(令和3年2月17日から適用)<br/>職務に専念する義務の免除(必要と認める期間又は時間)<br/>※【職務に専念する義務の免除に係る取扱いについて(通知)(令和3年6月2日付け大人委第1349号)】による。</p> </div> |
| 職員       | ワクチン接種日   | ワクチン接種に必要と認める時間     | 職務に専念する義務の免除を承認した時間    |                 |                     |   |          |                    |                        |   |           |                     |                        |   |
| A        | 令和4年4月6日  | 午後2時50分から午後4時50分まで  | 午前8時20分から午後4時50分まで(全日) |                 |                     |   |          |                    |                        |   |           |                     |                        |   |
| B        | 令和4年4月20日   | 午前8時20分から午前10時20分まで | 午前8時20分から午後4時50分まで(全日) |                 |                     |   |          |                    |                        |   |           |                     |                        |   |

措置の内容

誤って承認した職務専念義務の免除については取り消し、年次休暇として処理を行った。  
検出事項の原因は、申請者が新型コロナワクチン接種に係るサービスの取扱いについて誤った認識を持っていたことと、直接監督責任者の確認不足にある。  
再発防止に向けて、関係職員に対し、サービスに係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、直接監督責任者が承認を行う際は内容確認を徹底することでチェック体制を強化した。  
今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月21日）

公有財産台帳の登載誤り

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項 |          |    |      |       |      |   |          |  |
|---|---|----------|----------|----|------|-------|------|---|----------|--|
| 教育センター附属<br>高等学校  | <p>下記の工作物について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="572 449 1525 579"> <thead> <tr> <th>財産名称</th> <th>種目</th> <th>数量</th> <th>取得金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国旗掲揚台</td> <td>雑工作物</td> <td>1</td> <td>381,754円</td> </tr> </tbody> </table> | 財産名称     | 種目       | 数量 | 取得金額 | 国旗掲揚台 | 雑工作物 | 1 | 381,754円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>                     (台帳の取得登録)<br/>                     第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。<br/>                     (以下略)</p> </div> |
| 財産名称  | 種目  | 数量       | 取得金額     |    |      |       |      |   |          |  |
| 国旗掲揚台   | 雑工作物  | 1        | 381,754円 |    |      |       |      |   |          |  |
| <b>措置の内容</b>  |   |          |          |    |      |       |      |   |          |  |
| <p>検出事項について、公有財産台帳に登載を行った。<br/>                     検出事項の原因は、担当者が公有財産台帳への登載を失念していたことにある。<br/>                     再発防止に向けて、大阪府公有財産台帳等処理要領を元に事務室内で周知徹底を行った。<br/>                     今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |          |    |      |       |      |   |          |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項 |    |                              |            |  |
|---|---|----------|----|------------------------------|------------|--|
| <p>教育センター附属<br/>高等学校</p>  | <p>改修工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>工事完了日：令和5年3月27日（検査日：令和5年3月27日）</p> <table border="1" data-bbox="528 583 1617 758"> <thead> <tr> <th data-bbox="528 583 1243 669">工事名称</th> <th data-bbox="1243 583 1617 669">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="528 669 1243 758">大阪府教育センター附属高等学校体育館トイレ洋式化改修工事</td> <td data-bbox="1243 669 1617 758">2,274,800円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 大阪府教育センター附属高等学校体育館トイレ洋式化改修工事 | 2,274,800円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>(台帳の取得登録)</p> <p>第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。</p> <p>(1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。</p> <p>(2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>(台帳価格)</p> <p>第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>(固定資産計上の基本方針)</p> <p>1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。</p> <p>2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> </div> |
| 工事名称  | 金額  |          |    |                              |            |  |
| 大阪府教育センター附属高等学校体育館トイレ洋式化改修工事  | 2,274,800円  |          |    |                              |            |  |
| <p><b>措置の内容</b></p>   |   |          |    |                              |            |  |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。</p> <p>検出事項の原因は、担当者及び事務室職員が資産と費用の区分について、十分な認識を持っていなかったことにある。</p> <p>再発防止に向けて、担当者及び事務室職員に対し資産と費用の仕訳や公有財産台帳への登載について、改めて制度を確認し適切に実施するよう周知徹底するとともに、資産と費用の区分について、複数の職員で確認を行うことによりチェック体制を強化した。</p> <p>今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |    |                              |            |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項 |    |                      |          |      |    |            |          |  |
|--|---|----------|----|----------------------|----------|------|----|------------|----------|--|
| 鳳高等学校  | <p>取替工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>1 工事完了日：令和5年1月14日（検査日：令和5年1月14日）</p> <table border="1" data-bbox="528 583 1617 758"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立鳳高等学校トイレ温水洗浄便座工事</td> <td>476,362円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 工事完了日：令和5年3月6日（検査日：令和5年3月6日）</p> <table border="1" data-bbox="528 835 1617 1010"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話交換機等取替工事</td> <td>822,800円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 大阪府立鳳高等学校トイレ温水洗浄便座工事 | 476,362円 | 工事名称 | 金額 | 電話交換機等取替工事 | 822,800円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【大阪府公有財産台帳等処理要領】<br/>（台帳の取得登録）</p> <p>第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。</p> <p>(1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。</p> <p>(2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>（台帳価格）</p> <p>第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>（固定資産計上の基本方針）</p> <p>1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。</p> <p>2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> |
| 工事名称   | 金額  |          |    |                      |          |      |    |            |          |  |
| 大阪府立鳳高等学校トイレ温水洗浄便座工事   | 476,362円  |          |    |                      |          |      |    |            |          |  |
| 工事名称   | 金額  |          |    |                      |          |      |    |            |          |  |
| 電話交換機等取替工事   | 822,800円  |          |    |                      |          |      |    |            |          |  |
| <b>措置の内容</b>   |   |          |    |                      |          |      |    |            |          |  |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正仕訳依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。</p> <p>検出事項の原因は、資産と費用の区分について、担当者が正しく理解していなかったことに加え、支出命令を行う際に担当者が財務会計システム上で行った仕訳を決裁関係者に情報共有していなかったことにある。</p> <p>再発防止に向けて、支出命令伺いの決裁時に財務会計システム上の仕訳処理を添付することにより決裁関係者が仕訳を確認できるようにするとともに、所属長を含む決裁関係者及び事務室職員全員に本件監査結果の周知を行った。</p> <p>今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |    |                      |          |      |    |            |          |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

備品管理の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項   |           |          |    |    |       |                  |            |   |          |       |            |            |   |          |       |              |            |   |          |       |               |            |   |          |       |            |            |   |          |  |
|---|---|------------|-----------|----------|----|----|-------|------------------|------------|---|----------|-------|------------|------------|---|----------|-------|--------------|------------|---|----------|-------|---------------|------------|---|----------|-------|------------|------------|---|----------|--|
| 淀川工科高等学校  | <p>備品出納簿に記載されている下記の備品について、現物を確認することができなかった。</p> <table border="1" data-bbox="495 533 1626 1052"> <thead> <tr> <th data-bbox="495 533 736 611">品種</th> <th data-bbox="736 533 1020 611">品目<br/>商品名</th> <th data-bbox="1020 533 1308 611">当初受入年月日</th> <th data-bbox="1308 533 1448 611">数量</th> <th data-bbox="1448 533 1626 611">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="495 611 736 730">機械器具類</td> <td data-bbox="736 611 1020 730">機械類<br/>単相誘導電圧調整器</td> <td data-bbox="1020 611 1308 730">昭和29年3月31日</td> <td data-bbox="1308 611 1448 730">1</td> <td data-bbox="1448 611 1626 730">110,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="495 730 736 808">機械器具類</td> <td data-bbox="736 730 1020 808">機械類<br/>切断機</td> <td data-bbox="1020 730 1308 808">昭和33年3月31日</td> <td data-bbox="1308 730 1448 808">1</td> <td data-bbox="1448 730 1626 808">255,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="495 808 736 886">機械器具類</td> <td data-bbox="736 808 1020 886">機械類<br/>万能割出台</td> <td data-bbox="1020 808 1308 886">昭和37年2月28日</td> <td data-bbox="1308 808 1448 886">1</td> <td data-bbox="1448 808 1626 886">330,300円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="495 886 736 963">機械器具類</td> <td data-bbox="736 886 1020 963">計器測量器具<br/>水平器</td> <td data-bbox="1020 886 1308 963">昭和39年2月28日</td> <td data-bbox="1308 886 1448 963">1</td> <td data-bbox="1448 886 1626 963">107,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="495 963 736 1052">機械器具類</td> <td data-bbox="736 963 1020 1052">機械類<br/>研磨機</td> <td data-bbox="1020 963 1308 1052">昭和42年3月22日</td> <td data-bbox="1308 963 1448 1052">1</td> <td data-bbox="1448 963 1626 1052">205,000円</td> </tr> </tbody> </table> | 品種         | 品目<br>商品名 | 当初受入年月日  | 数量 | 金額 | 機械器具類 | 機械類<br>単相誘導電圧調整器 | 昭和29年3月31日 | 1 | 110,000円 | 機械器具類 | 機械類<br>切断機 | 昭和33年3月31日 | 1 | 255,000円 | 機械器具類 | 機械類<br>万能割出台 | 昭和37年2月28日 | 1 | 330,300円 | 機械器具類 | 計器測量器具<br>水平器 | 昭和39年2月28日 | 1 | 107,000円 | 機械器具類 | 機械類<br>研磨機 | 昭和42年3月22日 | 1 | 205,000円 | <p>検出事項について、現物が確認できない原因を特定し、速やかに是正措置を講じるとともに、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務規則】</b><br/>                     (物品の出納の通知及び帳簿の記載)<br/>                     第80条 物品管理者は、物品の受入れ又は払出しの必要があるときは、出納員に物品の分類を明らかにして出納の通知をしなければならない。<br/>                     2 前項の通知を受けた出納員は、次に掲げる帳簿を備え、受入れ又は払出しの事実を記載しなければならない。<br/>                     一 備品出納簿(様式第39号)</p> </div> |
| 品種  | 品目<br>商品名   | 当初受入年月日    | 数量        | 金額       |    |    |       |                  |            |   |          |       |            |            |   |          |       |              |            |   |          |       |               |            |   |          |       |            |            |   |          |  |
| 機械器具類   | 機械類<br>単相誘導電圧調整器  | 昭和29年3月31日 | 1         | 110,000円 |    |    |       |                  |            |   |          |       |            |            |   |          |       |              |            |   |          |       |               |            |   |          |       |            |            |   |          |  |
| 機械器具類   | 機械類<br>切断機  | 昭和33年3月31日 | 1         | 255,000円 |    |    |       |                  |            |   |          |       |            |            |   |          |       |              |            |   |          |       |               |            |   |          |       |            |            |   |          |  |
| 機械器具類   | 機械類<br>万能割出台  | 昭和37年2月28日 | 1         | 330,300円 |    |    |       |                  |            |   |          |       |            |            |   |          |       |              |            |   |          |       |               |            |   |          |       |            |            |   |          |  |
| 機械器具類   | 計器測量器具<br>水平器   | 昭和39年2月28日 | 1         | 107,000円 |    |    |       |                  |            |   |          |       |            |            |   |          |       |              |            |   |          |       |               |            |   |          |       |            |            |   |          |  |
| 機械器具類   | 機械類<br>研磨機  | 昭和42年3月22日 | 1         | 205,000円 |    |    |       |                  |            |   |          |       |            |            |   |          |       |              |            |   |          |       |               |            |   |          |       |            |            |   |          |  |
| 措置の内容   |   |            |           |          |    |    |       |                  |            |   |          |       |            |            |   |          |       |              |            |   |          |       |               |            |   |          |       |            |            |   |          |  |
| <p>現物を確認できなかった備品について、原因調査を行ったところ、不用決定を行わずに廃棄していたことが判明した。このため、廃棄済である当該備品について、不用決定及び備品出納簿からの払出しを行った。再発防止に向けて、関係職員に対し、備品廃棄時の留意点及び手続について周知を行った。今後は、大阪府財務規則に基づき適正な事務処理を行う。</p> |   |            |           |          |    |    |       |                  |            |   |          |       |            |            |   |          |       |              |            |   |          |       |               |            |   |          |       |            |            |   |          |  |

監査(検査)実施年月日(委員:令和一年一月一日、事務局:令和5年12月18日)

旅費の精算事務の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項           |         |           |       |     |   |        |           |        |           |        |           |        |           |          |                    |         |           |  |
|--|--|--------------------|---------|-----------|-------|-----|---|--------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|----------|--------------------|---------|-----------|--|
| <p>城東工科高等学校</p>  | <p>旅費の概算払をしたときは、概算払を受けた者は旅費の確定後30日以内に精算を行い、支出命令者は同期間内に精算させなければならないが、ともに当該行為を怠り、精算が遅延しているものが3件あった。</p> <table border="1" data-bbox="495 575 1632 930"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>出張先</th> <th>出張期間</th> <th>旅費支給額</th> <th>精算日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">A</td> <td>奈良県宇陀市</td> <td>令和4年6月11日</td> <td>1,400円</td> <td>令和4年7月22日</td> </tr> <tr> <td>奈良県宇陀市</td> <td>令和4年6月12日</td> <td>1,400円</td> <td>令和4年7月22日</td> </tr> <tr> <td>和歌山県和歌山市</td> <td>令和4年6月17日から同月19日まで</td> <td>17,220円</td> <td>令和4年7月22日</td> </tr> </tbody> </table> | 職員                 | 出張先     | 出張期間      | 旅費支給額 | 精算日 | A | 奈良県宇陀市 | 令和4年6月11日 | 1,400円 | 令和4年7月22日 | 奈良県宇陀市 | 令和4年6月12日 | 1,400円 | 令和4年7月22日 | 和歌山県和歌山市 | 令和4年6月17日から同月19日まで | 17,220円 | 令和4年7月22日 | <p>検出事項について、概算払を受けた者に対し、精算の必要性について周知徹底し、支出命令者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【地方自治法施行令】<br/>(概算払)<br/>第162条 次の各号に掲げる経費については、概算払をすることができる。<br/>一 旅費</p> <p>【大阪府財務規則】<br/>(概算払の精算)<br/>第47条 支出命令者は、概算払をしたときは、その債務の額が確定した後30日以内に、概算払を受けた者に精算させなければならない。</p> |
| 職員   | 出張先  | 出張期間               | 旅費支給額   | 精算日       |       |     |   |        |           |        |           |        |           |        |           |          |                    |         |           |  |
| A  | 奈良県宇陀市   | 令和4年6月11日          | 1,400円  | 令和4年7月22日 |       |     |   |        |           |        |           |        |           |        |           |          |                    |         |           |  |
|  | 奈良県宇陀市   | 令和4年6月12日          | 1,400円  | 令和4年7月22日 |       |     |   |        |           |        |           |        |           |        |           |          |                    |         |           |  |
|  | 和歌山県和歌山市   | 令和4年6月17日から同月19日まで | 17,220円 | 令和4年7月22日 |       |     |   |        |           |        |           |        |           |        |           |          |                    |         |           |  |
| <p>措置の内容</p>   |  |                    |         |           |       |     |   |        |           |        |           |        |           |        |           |          |                    |         |           |  |
| <p>是正を求められた事項について、関係職員に対して精算の必要性について周知徹底するとともに、支出命令者及び事務担当者が復命書及びSSCでの定期的な確認を行うこととした。今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |                    |         |           |       |     |   |        |           |        |           |        |           |        |           |          |                    |         |           |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月12日）

通勤に係る費用弁償の事後の確認の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |         |    |   |
|--|--|----------|--------|---------|----|---|
| <p>城東工科高等学校</p>  | <p>通勤に係る費用弁償の事後の確認について、非常勤職員（非常勤講師を除く。）に定期券の写し等の提出を求めていなかった。</p> <table border="1" data-bbox="510 535 1596 672"> <thead> <tr> <th data-bbox="510 535 1101 600">確認書類</th> <th data-bbox="1101 535 1596 600">非常勤職員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="510 600 1101 672">定期券の写し等</td> <td data-bbox="1101 600 1596 672">2名</td> </tr> </tbody> </table> | 確認書類     | 非常勤職員数 | 定期券の写し等 | 2名 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公立学校一般職非常勤職員就業等規則】</b><br/> <b>(定義)</b><br/> <b>第2条</b> この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。<br/>                     一 非常勤講師 一般職非常勤職員のうち、公立学校の講師をいう。<br/>                     二 非常勤補助員 一般職非常勤職員のうち、定例的で、かつ、反復して行われる業務等に係る労務を提供するものをいう。<br/>                     三 非常勤特別嘱託員 一般職非常勤職員のうち、特殊な技能若しくは専門的知識、経験等を有するものをいう。</p> <p><b>(通勤に係る費用弁償の事後の確認)</b><br/> <b>第24条</b> 校長等は、現に通勤に係る費用弁償を支給されている一般職非常勤職員(平均1箇月当たりの通勤所要回数が少ない等通勤の実情を勘案し委員会が別に定める職員を除く。)について、その者が<b>第22条第1項</b>の対象者たる要件を具備するかどうか及び通勤に係る費用弁償が適正であるかどうかを当該一般職非常勤職員に通勤定期券等の提示を求め、又は通勤の実情を実地に調査する等の方法により、随時、確認するものとする。</p> <p><b>【非常勤職員の交通費に関する要領】</b><br/> <b>(事後の確認に係る委員会が別に定める職員)</b><br/> <b>第8条</b> 規則<b>第24条</b>の「委員会が別に定める職員」は、規則<b>第2条第1号</b>に規定する職員とする。</p> </div> |
| 確認書類   | 非常勤職員数   |          |        |         |    |   |
| 定期券の写し等  | 2名   |          |        |         |    |   |
| <p>措置の内容</p>   |  |          |        |         |    |   |
| <p>検出事項について、令和4年度の該当職員に対し、令和5年度に事後確認を実施した。<br/>                     検出事項の原因は、担当者が非常勤職員へ書類の提出依頼を失念していたためである。<br/>                     再発防止に向けて、対象者一覧に非常勤職員を追加し、対象者全員へ書類提出を依頼しているか複数人で確認するようチェック体制を強化した。<br/>                     今後は、適正な事務処理に努める。</p> |  |          |        |         |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月12日）

備品管理の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項   |           |          |    |    |       |        |           |   |          |      |       |     |            |   |          |     |  |
|--|--|------------|-----------|----------|----|----|-------|--------|-----------|---|----------|------|-------|-----|------------|---|----------|-----|--|
| <p>城東工科高等学校</p>  | <p>備品出納簿に記載されている下記の備品について、現物を確認することができなかった。</p> <table border="1" data-bbox="498 531 1626 779"> <thead> <tr> <th data-bbox="498 531 736 604">品種</th> <th data-bbox="736 531 1020 604">品目<br/>商品名</th> <th data-bbox="1020 531 1308 604">当初受入年月日</th> <th data-bbox="1308 531 1451 604">数量</th> <th data-bbox="1451 531 1626 604">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="498 604 736 688" rowspan="2">機械器具類</td> <td data-bbox="736 604 1020 646">理化学器具類</td> <td data-bbox="1020 604 1308 688" rowspan="2">昭和39年9月1日</td> <td data-bbox="1308 604 1451 688" rowspan="2">1</td> <td data-bbox="1451 604 1626 688" rowspan="2">283,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="736 646 1020 688">電源装置</td> </tr> <tr> <td data-bbox="498 688 736 779" rowspan="2">機械器具類</td> <td data-bbox="736 688 1020 730">機械類</td> <td data-bbox="1020 688 1308 779" rowspan="2">昭和42年2月27日</td> <td data-bbox="1308 688 1451 779" rowspan="2">1</td> <td data-bbox="1451 688 1626 779" rowspan="2">165,000円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="736 730 1020 779">増幅器</td> </tr> </tbody> </table> | 品種         | 品目<br>商品名 | 当初受入年月日  | 数量 | 金額 | 機械器具類 | 理化学器具類 | 昭和39年9月1日 | 1 | 283,000円 | 電源装置 | 機械器具類 | 機械類 | 昭和42年2月27日 | 1 | 165,000円 | 増幅器 | <p>検出事項について、現物が確認できない原因を特定し、速やかに是正措置を講じるとともに、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務規則】</b><br/>                     (物品の出納の通知及び帳簿の記載)<br/>                     第80条 物品管理者は、物品の受入れ又は払出しの必要があるときは、出納員に物品の分類を明らかにして出納の通知をしなければならない。<br/>                     2 前項の通知を受けた出納員は、次に掲げる帳簿を備え、受入れ又は払出しの事実を記載しなければならない。<br/>                     一 備品出納簿(様式第39号)</p> </div> |
| 品種   | 品目<br>商品名  | 当初受入年月日    | 数量        | 金額       |    |    |       |        |           |   |          |      |       |     |            |   |          |     |  |
| 機械器具類  | 理化学器具類   | 昭和39年9月1日  | 1         | 283,000円 |    |    |       |        |           |   |          |      |       |     |            |   |          |     |  |
|  | 電源装置   |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |      |       |     |            |   |          |     |  |
| 機械器具類  | 機械類  | 昭和42年2月27日 | 1         | 165,000円 |    |    |       |        |           |   |          |      |       |     |            |   |          |     |  |
|  | 増幅器  |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |      |       |     |            |   |          |     |  |
| <p>措置の内容</p>   |  |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |      |       |     |            |   |          |     |  |
| <p>現物を確認できなかった備品について、原因調査を行ったところ、不用決定を行わずに廃棄していたことが判明した。<br/>                     このため、廃棄済である当該備品について、不用決定及び備品出納簿からの払出しを行った。<br/>                     再発防止に向けて、定期的に備品確認を関係職員で実施するようチェック体制を強化した。<br/>                     今後は、大阪府財務規則に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |            |           |          |    |    |       |        |           |   |          |      |       |     |            |   |          |     |  |

監査(検査)実施年月日(委員:令和一年一月一日、事務局:令和5年12月12日)

印影印刷物の管理不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項   |
|---|--|--|
| <p>城東工科高等学校</p>   | <p>公印（学校長印）を印影印刷した生徒証明書について、受払簿等を作成しておらず、使用状況が明らかにされていなかった。</p> <p>・生徒証明書 500枚<br/>※枚数は令和4年度の購入枚数を記載</p> | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【大阪府教育委員会公印規程】<br/>(公印の印影の印刷)<br/>第12条 公印の押印に代えて、公印の印影を印刷する必要があるとき(次条第1項に規定する場合を除く。)は、当該公印の管守者の承認を受けて、その印影を印刷することができる。<br/>2 前項の規定により、公印の印影を印刷した用紙は、厳重に保管するとともに、常にその使用状況を明らかにしておかなければならない。</p> |
| <p>措置の内容</p>  |  |  |
| <p>公印（学校長印）を印影印刷した生徒証明書について、令和5年度の受払簿を作成した。<br/>検出事項の原因は、担当者が受払簿の作成を失念していたためである。<br/>再発防止に向けて、複数の職員で印影印刷物の使用状況について、定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/>今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月12日）

## 管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項  |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |        |   |           |           |           |        |  |
|---|--|-----------|-----------|---------|--|--------|--------|-------|---|-----------|-----------|-----------|--------|---|-----------|-----------|-----------|--------|--|
| 布施工科高等学校  | <p>管内出張をシステムに重複して入力し、そのまま承認された後、当該重複した出張の取消しを忘れたものが2件あった。<br/>また、旅費支出の際にチェックされず、そのまま決裁を行ったため、旅費が過誤払となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 611 1632 884"><thead><tr><th rowspan="2">職員</th><th rowspan="2">出張日</th><th colspan="2">システム入力日</th><th rowspan="2">過誤払旅費額</th></tr><tr><th>当初入力日</th><th>重複入力日</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>令和4年5月13日</td><td>令和4年5月11日</td><td>令和5年1月31日</td><td>1,220円</td></tr><tr><td>B</td><td>令和4年7月27日</td><td>令和4年8月16日</td><td>令和5年2月20日</td><td>2,570円</td></tr></tbody></table> | 職員        | 出張日       | システム入力日 |  | 過誤払旅費額 | 当初入力日  | 重複入力日 | A | 令和4年5月13日 | 令和4年5月11日 | 令和5年1月31日 | 1,220円 | B | 令和4年7月27日 | 令和4年8月16日 | 令和5年2月20日 | 2,570円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 出張日  |           |           | システム入力日 |  |        | 過誤払旅費額 |       |   |           |           |           |        |   |           |           |           |        |  |
|   |  | 当初入力日     | 重複入力日     |         |  |        |        |       |   |           |           |           |        |   |           |           |           |        |  |
| A   | 令和4年5月13日  | 令和4年5月11日 | 令和5年1月31日 | 1,220円  |  |        |        |       |   |           |           |           |        |   |           |           |           |        |  |
| B   | 令和4年7月27日  | 令和4年8月16日 | 令和5年2月20日 | 2,570円  |  |        |        |       |   |           |           |           |        |   |           |           |           |        |  |
| <b>措置の内容</b>  |  |           |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |        |   |           |           |           |        |  |
| <p>過誤払となった旅費については、戻入を行い、返納済みである。<br/>検出事項の原因は、申請者がシステムに入力したことを失念し再度入力したことと、直接監督責任者と旅費担当者の確認不足によるものである。<br/>再発防止に向けて、関係職員に対して、旅費申請を適正に行うよう周知を行うとともに、直接監督責任者による確認を徹底し、旅費担当者が支出何の際、重複入力がないか確認を徹底することとした。<br/>今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |           |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |        |   |           |           |           |        |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月29日）

## 管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項  |        |     |       |   |     |           |        |  |
|--|--|-----------|--------|-----|-------|---|-----|-----------|--------|--|
| 布施工科高等学校   | <p>管内出張であるにもかかわらず、誤って管外出張としてシステム登録を行い、提出状態のままとなっているものがあった。<br/>また、誤った状態が修正されずに放置されていたため、旅費が未払となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 573 1400 747"><thead><tr><th>職員</th><th>出張先</th><th>出張日</th><th>未払旅費額</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>京都市</td><td>令和4年5月13日</td><td>1,580円</td></tr></tbody></table> | 職員        | 出張先    | 出張日 | 未払旅費額 | A | 京都市 | 令和4年5月13日 | 1,580円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員   | 出張先  | 出張日       | 未払旅費額  |     |       |   |     |           |        |  |
| A  | 京都市  | 令和4年5月13日 | 1,580円 |     |       |   |     |           |        |  |
| <b>措置の内容</b>   |  |           |        |     |       |   |     |           |        |  |
| <p>検出事項について、未払となっていた旅費は追給を行った。<br/>検出事項の原因は、申請者の認識不足と直接監督責任者の確認不足にある。<br/>再発防止に向けて、関係職員に対して、「旅費条例等における管内区域図」を配布し旅費に係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、旅費担当者及び直接監督責任者が管内・管外旅費の申請状況を定期的に確認することによりチェック体制を強化した。<br/>今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |           |        |     |       |   |     |           |        |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月29日）

時間外等勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |    |   |        |    |        |    |   |         |    |   |         |    |   |
|---|--|----------|--------|----|---|--------|----|--------|----|---|---------|----|---|---------|----|---|
| <p>布施工科高等学校</p>   | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものが5件あった。</p> <table border="1" data-bbox="528 611 1190 1056"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>事実発生時期</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A</td> <td>令和4年7月</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>令和4年11月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>令和4年12月</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和4年7月 | 2件 | 令和5年3月 | 1件 | B | 令和4年11月 | 1件 | C | 令和4年12月 | 1件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期   | 件数       |        |    |   |        |    |        |    |   |         |    |   |         |    |   |
| A   | 令和4年7月   | 2件       |        |    |   |        |    |        |    |   |         |    |   |         |    |   |
|   | 令和5年3月   | 1件       |        |    |   |        |    |        |    |   |         |    |   |         |    |   |
| B   | 令和4年11月  | 1件       |        |    |   |        |    |        |    |   |         |    |   |         |    |   |
| C   | 令和4年12月  | 1件       |        |    |   |        |    |        |    |   |         |    |   |         |    |   |
| <p>措置の内容</p>  |  |          |        |    |   |        |    |        |    |   |         |    |   |         |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接監督責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |  |          |        |    |   |        |    |        |    |   |         |    |   |         |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月29日）

不適切なサービス管理及び管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項  |       |     |       |   |      |           |      |  |
|---|--|-----------|-------|-----|-------|---|------|-----------|------|--|
| <p>堺工科高等学校</p>  | <p>出勤簿について、出勤なし及び退勤なしとなっているものがあつた。本件については、管内出張（宅発宅着）をしていたにもかかわらず、出張入力を怠っており、旅費についても未払であつた。</p> <table border="1" data-bbox="510 562 1400 739"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>出張先</th> <th>出張日</th> <th>未払旅費額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>泉大津市</td> <td>令和4年11月6日</td> <td>900円</td> </tr> </tbody> </table> | 職員        | 出張先   | 出張日 | 未払旅費額 | A | 泉大津市 | 令和4年11月6日 | 900円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 出張先  | 出張日       | 未払旅費額 |     |       |   |      |           |      |  |
| A   | 泉大津市   | 令和4年11月6日 | 900円  |     |       |   |      |           |      |  |
| <p>措置の内容</p>  |  |           |       |     |       |   |      |           |      |  |
| <p>管内旅費として処理を行い、未払となっていた旅費については、追給を行った。<br/>                 検出事項の原因は、申請者が管内旅費の入力を怠り、直接監督責任者が出勤簿状況確認を見落としていたことにある。<br/>                 再発防止に向けて、職員に対して、旅費に係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、直接監督責任者が出勤簿状況の確認を徹底することで、チェック体制を強化した。<br/>                 今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |           |       |     |       |   |      |           |      |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月19日）

建設仮勘定の精算事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項 |          |      |      |       |             |          |          |  |
|---|---|----------|----------|------|------|-------|-------------|----------|----------|--|
| 佐野工科高等学校  | <p>令和4年度の財務諸表（貸借対照表）の建設仮勘定に、工事完了による引渡しが行われている下記の工事に係る金額が計上されたままとなっていた。</p> <table border="1" data-bbox="498 533 1626 646"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約件名</th> <th>契約金額</th> <th>未精算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>暖房洗浄便座等取付工事</td> <td>449,900円</td> <td>449,900円</td> </tr> </tbody> </table> | 年度       | 契約件名     | 契約金額 | 未精算額 | 令和4年度 | 暖房洗浄便座等取付工事 | 449,900円 | 449,900円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務諸表作成基準】</b><br/>（固定資産の分類及び計上）<br/>第15条 固定資産の計上は次のとおりとする。<br/>(7) 建設仮勘定<br/>行政活動の用に供する固定資産を取得する場合における支出及びその付随的支出を、資産が完成するまでの間、一時的に計上する。</p> <p><b>【建設仮勘定取扱要領】</b><br/>第4条 建設仮勘定は、公有財産要領第4条及び第5条に規定する取得年月日又は異動年月日をもって精算しなければならない。<br/>2 前項に規定する精算と併せて、本資産勘定の額と同額の財産を公有財産台帳に登録しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>（台帳の異動登録）<br/>第5条<br/>2 異動した財産については、次の各号に掲げる日を異動年月日とする。また、第1号（府以外からの取得の場合に限る。）及び第3号の場合においては、併せて取得年月日を登録する。<br/>(3) 建物等の増改築等は、工事完了による引渡しの日。（以下略）</p> </div> |
| 年度  | 契約件名  | 契約金額     | 未精算額     |      |      |       |             |          |          |  |
| 令和4年度   | 暖房洗浄便座等取付工事   | 449,900円 | 449,900円 |      |      |       |             |          |          |  |
| <b>措置の内容</b>  |   |          |          |      |      |       |             |          |          |  |
| <p>過年度の建設仮勘定精算は所属では行えないため、会計局会計指導課に修正を依頼し、本資産勘定への精算処理を行った。<br/>また、資産となるものについては、公有財産台帳の修正を行った。<br/>検出事項の原因は、職員によるチェック体制の不備にある。<br/>再発防止に向けて、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について、定期的な確認を行うことにより、チェック体制を強化した。<br/>今後は、大阪府財務諸表作成基準等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |          |      |      |       |             |          |          |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

公有財産台帳の登載誤り

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項 |          |    |      |         |      |   |          |  |
|---|---|----------|----------|----|------|---------|------|---|----------|--|
| 生野高等学校  | <p>下記の工作物について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="498 485 1448 617"> <thead> <tr> <th>財産名称</th> <th>種目</th> <th>数量</th> <th>取得金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国旗掲揚ポール</td> <td>雑工作物</td> <td>1</td> <td>378,297円</td> </tr> </tbody> </table> | 財産名称     | 種目       | 数量 | 取得金額 | 国旗掲揚ポール | 雑工作物 | 1 | 378,297円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>                     (台帳の取得登録)<br/>                     第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。<br/>                     (以下略)</p> </div> |
| 財産名称  | 種目  | 数量       | 取得金額     |    |      |         |      |   |          |  |
| 国旗掲揚ポール   | 雑工作物  | 1        | 378,297円 |    |      |         |      |   |          |  |
| <b>措置の内容</b>  |   |          |          |    |      |         |      |   |          |  |
| <p>検出事項について、公有財産台帳に登載を行った。<br/>                     検出事項の原因は、担当者が公有財産台帳への登載を失念していたことにある。<br/>                     再発防止に向けて、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                     今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |          |    |      |         |      |   |          |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和-年-月-日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |    |                             |          |  |
|---|--|----------|----|-----------------------------|----------|--|
| 生野高等学校  | <p>改修工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>工事完了日：令和4年10月19日（検査日：令和4年10月19日）</p> <table border="1" data-bbox="528 583 1617 758"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大阪府立生野高等学校トイレ手洗い水栓自動水栓化改修工事</td> <td>324,170円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 大阪府立生野高等学校トイレ手洗い水栓自動水栓化改修工事 | 324,170円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>                     (台帳の取得登録)<br/>                     第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。</p> <p>(1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。</p> <p>(2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>(台帳価格)<br/>                     第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>                     (固定資産計上の基本方針)</p> <p>1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。</p> <p>2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> </div> |
| 工事名称  | 金額   |          |    |                             |          |  |
| 大阪府立生野高等学校トイレ手洗い水栓自動水栓化改修工事   | 324,170円   |          |    |                             |          |  |
| <b>措置の内容</b>  |  |          |    |                             |          |  |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。</p> <p>検出事項の原因は、大阪府公有財産台帳等処理要領について担当者が十分な認識を持っておらず、資産と費用の区分内訳計算方法を誤ったことにある。</p> <p>再発防止に向けて、関係職員に対し資産と費用の仕訳や公有財産台帳への資産の登録について適切に実施するよう周知徹底するとともに、資産と費用の区分について、複数の職員で確認を行うことによりチェック体制を強化した。</p> <p>今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |          |    |                             |          |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

公有財産台帳の登載誤り

| 対象受検機関         | 検出事項   | 是正を求める事項                       |                  |                                    |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |
|----------------|--|--------------------------------|------------------|------------------------------------|-------|------|----|--------------|------|--------|------------------------------------|----|---------------|--------------------------------|--------|------------------------------------|----|---------------|------|--------|------------------------------------|----|--------|--------|----|------------------------------------|----|-------|------------------|---------|------------------------------------|----|-------|---------------------------|--------|-----------------------------------|----|--------|---------------------------|----------------|-----------------------------------|----|--------|----------------|------------------|------------------------------------|----|----|-------|-----------------|------------------------------------|---|
| <p>三国丘高等学校</p> | <p>行政財産の使用許可の更新について、公有財産台帳への登載を行っていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="492 531 1641 1591"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>許可数量</th> <th>目的</th> <th>年間使用料</th> <th>許可期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地</td> <td>電柱1本<br/>支線2本</td> <td>電力供給</td> <td>5,100円</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>電話柱1本<br/>支線1本</td> <td>都市型ケーブルテレビ<br/>放送設備のケーブル線<br/>保持</td> <td>3,000円</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>電話柱1本<br/>支線1本</td> <td>通信事業</td> <td>3,000円</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>38.43㎡</td> <td>同窓会事務所</td> <td>免除</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>9.99㎡</td> <td>生徒及び職員用の<br/>物品販売</td> <td>37,400円</td> <td>(注2)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>2.51㎡</td> <td>省エネルギーサービス<br/>(ESCO事業)の提供</td> <td>1,400円</td> <td>(注3)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和6年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>87.28㎡</td> <td>省エネルギーサービス<br/>(ESCO事業)の提供</td> <td>(注4)<br/>9,350円</td> <td>(注3)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和6年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>96.43㎡</td> <td>生徒及び職員用の<br/>食堂</td> <td>(注5)<br/>308,000円</td> <td>(注2)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> <tr> <td>建物</td> <td>3台</td> <td>自動販売機</td> <td>(注6)<br/>57,090円</td> <td>(注1)<br/>令和5年4月1日から<br/>令和10年3月31日まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 公有財産台帳では、許可期間が「平成30年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> <p>(注2) 公有財産台帳では、許可期間が「令和2年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> <p>(注3) 公有財産台帳では、許可期間が「令和4年4月1日から令和5年3月31日まで」のまま放置されていた。</p> | 種別                             | 許可数量             | 目的                                 | 年間使用料 | 許可期間 | 土地 | 電柱1本<br>支線2本 | 電力供給 | 5,100円 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 土地 | 電話柱1本<br>支線1本 | 都市型ケーブルテレビ<br>放送設備のケーブル線<br>保持 | 3,000円 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 土地 | 電話柱1本<br>支線1本 | 通信事業 | 3,000円 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 建物 | 38.43㎡ | 同窓会事務所 | 免除 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 建物 | 9.99㎡ | 生徒及び職員用の<br>物品販売 | 37,400円 | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 土地 | 2.51㎡ | 省エネルギーサービス<br>(ESCO事業)の提供 | 1,400円 | (注3)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで | 建物 | 87.28㎡ | 省エネルギーサービス<br>(ESCO事業)の提供 | (注4)<br>9,350円 | (注3)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで | 建物 | 96.43㎡ | 生徒及び職員用の<br>食堂 | (注5)<br>308,000円 | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 建物 | 3台 | 自動販売機 | (注6)<br>57,090円 | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府公有財産規則】</b><br/>(使用状況の確認)<br/>第31条 部局長等は、その所管する行政財産の使用の許可の内容について、知事が別に定めるところにより公有財産台帳に登載し、毎年一回、その許可に係る行政財産の使用の状況を実地について調査し、確認しなければならない。</p> <p><b>【大阪府公有財産台帳等処理要領】</b><br/>(使用許可、貸付又は使用承認の状況)<br/>第19条 部局長等は、使用許可、貸付又は使用承認を行ったときは、システムを用いて使用許可、貸付又は使用承認の情報を当該年度に登録するものとする。<br/>2 登録した使用許可、貸付又は使用承認の状況に異動があったときは、システムを用いて異動登録を行うものとする。</p> </div> |
| 種別             | 許可数量   | 目的                             | 年間使用料            | 許可期間                               |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |
| 土地             | 電柱1本<br>支線2本   | 電力供給                           | 5,100円           | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |
| 土地             | 電話柱1本<br>支線1本  | 都市型ケーブルテレビ<br>放送設備のケーブル線<br>保持 | 3,000円           | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |
| 土地             | 電話柱1本<br>支線1本  | 通信事業                           | 3,000円           | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |
| 建物             | 38.43㎡   | 同窓会事務所                         | 免除               | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |
| 建物             | 9.99㎡  | 生徒及び職員用の<br>物品販売               | 37,400円          | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |
| 土地             | 2.51㎡  | 省エネルギーサービス<br>(ESCO事業)の提供      | 1,400円           | (注3)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで  |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |
| 建物             | 87.28㎡   | 省エネルギーサービス<br>(ESCO事業)の提供      | (注4)<br>9,350円   | (注3)<br>令和5年4月1日から<br>令和6年3月31日まで  |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |
| 建物             | 96.43㎡   | 生徒及び職員用の<br>食堂                 | (注5)<br>308,000円 | (注2)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |
| 建物             | 3台   | 自動販売機                          | (注6)<br>57,090円  | (注1)<br>令和5年4月1日から<br>令和10年3月31日まで |       |      |    |              |      |        |                                    |    |               |                                |        |                                    |    |               |      |        |                                    |    |        |        |    |                                    |    |       |                  |         |                                    |    |       |                           |        |                                   |    |        |                           |                |                                   |    |        |                |                  |                                    |    |    |       |                 |                                    |   |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>(注4) 公有財産台帳では、年間使用料の改定に伴う登載が行われず「9,130円」のまま放置されていた。</p> <p>(注5) 公有財産台帳では、年間使用料の改定に伴う登載が行われず「393,800円」のまま放置されていた。</p> <p>(注6) 公有財産台帳では、年間使用料の改定に伴う登載が行われず「57,000円」のまま放置されていた。</p> |  |
|--|---|--|

**措置の内容**

検出事項について、公有財産台帳に登載を行った。  
 検出事項の原因は、担当者が公有財産台帳への登載を失念していたことにある。  
 再発防止に向けて、複数の職員で公有財産台帳の登載状況について定期的な確認を行うことによりチェック体制を強化した。  
 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領等に基づき、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）

公有財産管理の不備

| 対象受検機関 | 検出事項   | 是正を求める事項  |     |               |
|--------|--|---|-----|---------------|
| 佐野支援学校 | <p>消防法で1年に1回と定められている、消防用設備等の点検結果の報告を、令和4年2月2日に報告した日以降、報告していなかった。</p> | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【消防法】</b><br/> <b>第17条</b> 学校、(中略) その他の防火対象物で政令で定めるものの関係者は、政令で定める消防の用に供する設備、消防用水及び消火活動上必要な施設(以下「消防用設備等」という。)について消火、避難その他の消防の活動のために必要とされる性能を有するように、政令で定める技術上の基準に従って、設置し、及び維持しなければならない。</p> <p><b>第17条の3の3</b> 第17条第1項の防火対象物(政令で定めるものを除く。)の関係者は、当該防火対象物における消防用設備等又は特殊消防用設備等(第8条の2の2第1項の防火対象物にあつては、消防用設備等又は特殊消防用設備等の機能)について、総務省令で定めるところにより、定期に、当該防火対象物のうち政令で定めるものにあつては消防設備士免状の交付を受けている者又は総務省令で定める資格を有する者に点検させ、その他のものにあつては自ら点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければならない。</p> <p><b>【消防法施行令】</b><br/> <b>第2章</b><br/> <b>第1節 防火対象物の指定</b><br/> (防火対象物の指定)<br/> <b>第6条</b> 法第17条第1項の政令で定める防火対象物は、別表第1に掲げる防火対象物とする。<br/> <b>別表第一(抜粋)</b></p> <table border="1" data-bbox="1576 1304 2709 1381"> <tr> <td>(六)</td> <td>ニ 幼稚園又は特別支援学校</td> </tr> </table> <p><b>【消防法施行規則】</b><br/> (消防用設備等又は特殊消防用設備等の点検及び報告)<br/> <b>第31条の6</b> 法第17条の3の3の規定による消防用設備等の点検は、種類及び点検内容に応じて、1年以内で消防庁長官が定める期間ごとに行うものとする。<br/> <b>3</b> 防火対象物の関係者は、前2項の規定により点検を行った結果を、(中略) 次の各号に掲げる防火対象物の区分に従い、当該各号に定める期間ごとに消防長又は消防署長に報告しなければならない。(以下略)<br/> 一 令別表第一(中略)(六)項(中略)に掲げる防火対象物 一年に一回</p> | (六) | ニ 幼稚園又は特別支援学校 |
| (六)    | ニ 幼稚園又は特別支援学校  |   |     |               |

措置の内容

検出事項について、監査後、直ちに消防用設備等の点検結果の報告を行った。  
検出事項の原因は、担当者が失念しており、他の職員のチェック機能も働かなかったことにある。  
再発防止に向け、消防用設備等の点検業務に係る支出命令伺い時に、年1回の報告が必要であることを記載し、報告の伺いも一緒に行うこととした。報告不要の場合は、前回の点検結果を報告した旨を記載することとした。  
今後は、法令等に基づき、適正な点検報告を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月1日）

備品管理の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項   |           |          |    |    |       |                |            |   |          |   |
|---|--|------------|-----------|----------|----|----|-------|----------------|------------|---|----------|---|
| 和泉支援学校  | <p>備品出納簿に記載されている下記の備品について、現物を確認することができなかつた。</p> <table border="1" data-bbox="498 533 1632 699"> <thead> <tr> <th data-bbox="498 533 736 611">品種</th> <th data-bbox="736 533 1020 611">品目<br/>商品名</th> <th data-bbox="1020 533 1305 611">当初受入年月日</th> <th data-bbox="1305 533 1451 611">数量</th> <th data-bbox="1451 533 1632 611">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="498 611 736 699">機械器具類</td> <td data-bbox="736 611 1020 699">OA器具類<br/>プリンター</td> <td data-bbox="1020 611 1305 699">平成20年7月11日</td> <td data-bbox="1305 611 1451 699">1</td> <td data-bbox="1451 611 1632 699">188,000円</td> </tr> </tbody> </table> | 品種         | 品目<br>商品名 | 当初受入年月日  | 数量 | 金額 | 機械器具類 | OA器具類<br>プリンター | 平成20年7月11日 | 1 | 188,000円 | <p>検出事項について、現物が確認できない原因を特定し、速やかに是正措置を講じるとともに、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務規則】</b><br/>                     (物品の出納の通知及び帳簿の記載)<br/>                     第80条 物品管理者は、物品の受入れ又は払出しの必要があるときは、出納員に物品の分類を明らかにして出納の通知をしなければならない。<br/>                     2 前項の通知を受けた出納員は、次に掲げる帳簿を備え、受入れ又は払出しの事実を記載しなければならない。<br/>                     一 備品出納簿 (様式第39号)</p> </div> |
| 品種  | 品目<br>商品名  | 当初受入年月日    | 数量        | 金額       |    |    |       |                |            |   |          |   |
| 機械器具類   | OA器具類<br>プリンター   | 平成20年7月11日 | 1         | 188,000円 |    |    |       |                |            |   |          |   |
| <b>措置の内容</b>  |  |            |           |          |    |    |       |                |            |   |          |   |
| <p>現物を確認できなかった備品について、原因調査を行ったところ、不用決定を行わずに廃棄していたことが判明した。<br/>                     このため、廃棄済である当該備品について、不用決定及び備品出納簿からの払出しを行った。<br/>                     再発防止に向けて、関係職員で備品の適正管理について確認することによりチェック体制を強化した。<br/>                     今後は、大阪府財務規則に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |            |           |          |    |    |       |                |            |   |          |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月7日）

管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項  |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |  |
|---|--|-----------|-----------|---------|--|--------|--------|-------|---|-----------|-----------|-----------|------|--|
| <p>思斉支援学校</p>   | <p>管内出張をシステムに重複して入力し、そのまま承認された後、当該重複した出張の取消しを忘れたものがあつた。<br/>また、旅費支出の際にチェックされず、そのまま決裁を行ったため、旅費が過誤払となつていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 611 1632 785"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職員</th> <th rowspan="2">出張日</th> <th colspan="2">システム入力日</th> <th rowspan="2">過誤払旅費額</th> </tr> <tr> <th>当初入力日</th> <th>重複入力日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和4年7月25日</td> <td>令和4年7月21日</td> <td>令和4年7月25日</td> <td>660円</td> </tr> </tbody> </table> | 職員        | 出張日       | システム入力日 |  | 過誤払旅費額 | 当初入力日  | 重複入力日 | A | 令和4年7月25日 | 令和4年7月21日 | 令和4年7月25日 | 660円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 出張日  |           |           | システム入力日 |  |        | 過誤払旅費額 |       |   |           |           |           |      |  |
|   |  | 当初入力日     | 重複入力日     |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |  |
| A   | 令和4年7月25日  | 令和4年7月21日 | 令和4年7月25日 | 660円    |  |        |        |       |   |           |           |           |      |  |
| <p>措置の内容</p>  |  |           |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |  |
| <p>過誤払となった旅費については、戻入を行い、返納済みである。<br/>                 検出事項の原因は、申請者が当初入力したことを失念して重複入力したことと、直接監督責任者の確認不足により重複入力を見落としたことにある。<br/>                 再発防止に向けて、関係職員に対して、旅費に係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、管内旅費集計を行う際には、複数での確認を確実にすることによりチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |           |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月9日）

## 管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項   |        |     |       |   |    |            |        |           |        |           |        |   |
|---|---|------------|--------|-----|-------|---|----|------------|--------|-----------|--------|-----------|--------|---|
| 思斉支援学校  | <p>勤務を命じられた週休日に管内出張（宅発宅着）をしていたにもかかわらず、出張入力を怠っていたものが3件あった。<br/>そのため、旅費が未払となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 573 1400 940"><thead><tr><th>職員</th><th>出張先</th><th>出張日</th><th>未払旅費額</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">A</td><td rowspan="3">堺市</td><td>令和4年12月10日</td><td>1,000円</td></tr><tr><td>令和5年2月11日</td><td>1,000円</td></tr><tr><td>令和5年2月12日</td><td>1,000円</td></tr></tbody></table> | 職員         | 出張先    | 出張日 | 未払旅費額 | A | 堺市 | 令和4年12月10日 | 1,000円 | 令和5年2月11日 | 1,000円 | 令和5年2月12日 | 1,000円 | 検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。 |
| 職員  | 出張先   | 出張日        | 未払旅費額  |     |       |   |    |            |        |           |        |           |        |   |
| A   | 堺市  | 令和4年12月10日 | 1,000円 |     |       |   |    |            |        |           |        |           |        |   |
|   |   | 令和5年2月11日  | 1,000円 |     |       |   |    |            |        |           |        |           |        |   |
|   |   | 令和5年2月12日  | 1,000円 |     |       |   |    |            |        |           |        |           |        |   |
| <b>措置の内容</b>  |   |            |        |     |       |   |    |            |        |           |        |           |        |   |
| <p>出張入力を怠っていた検出事項3件について、旅行命令簿を作成し、未払となっていた旅費については、追給を行った。<br/>検出事項の原因は、申請者が入力を失念したことと、直接監督責任者の確認不足にある。<br/>再発防止に向けて、関係職員に対して、旅費に係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、旅費担当者及び直接監督責任者が管内・管外旅費の申請状況を定期的に確認することによりチェック体制を強化した。<br/>今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |            |        |     |       |   |    |            |        |           |        |           |        |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月9日）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項     |        |       |    |   |          |    |        |   |           |      |        |           |              |        |   |           |    |        |   |           |    |        |  |
|--|---|--------------|--------|-------|----|---|----------|----|--------|---|-----------|------|--------|-----------|--------------|--------|---|-----------|----|--------|---|-----------|----|--------|--|
| <p>思斉支援学校</p>  | <p>出勤簿について、早退、退勤なし及び出勤なしとなっているものが5件あった。本件については、本来年休取得により処理することとしていたが、当該手続が行われずに放置されていた。</p> <table border="1" data-bbox="537 594 1629 1026"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>日付</th> <th>出勤簿表示</th> <th>原因</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和5年3月7日</td> <td>早退</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B</td> <td>令和5年3月27日</td> <td>退勤なし</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月30日</td> <td>出勤なし<br/>退勤なし</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>令和5年3月28日</td> <td>早退</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>令和5年3月31日</td> <td>早退</td> <td>年休入力漏れ</td> </tr> </tbody> </table> | 職員           | 日付     | 出勤簿表示 | 原因 | A | 令和5年3月7日 | 早退 | 年休入力漏れ | B | 令和5年3月27日 | 退勤なし | 年休入力漏れ | 令和5年3月30日 | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ | C | 令和5年3月28日 | 早退 | 年休入力漏れ | D | 令和5年3月31日 | 早退 | 年休入力漏れ | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員   | 日付  | 出勤簿表示        | 原因     |       |    |   |          |    |        |   |           |      |        |           |              |        |   |           |    |        |   |           |    |        |  |
| A  | 令和5年3月7日  | 早退           | 年休入力漏れ |       |    |   |          |    |        |   |           |      |        |           |              |        |   |           |    |        |   |           |    |        |  |
| B  | 令和5年3月27日   | 退勤なし         | 年休入力漏れ |       |    |   |          |    |        |   |           |      |        |           |              |        |   |           |    |        |   |           |    |        |  |
|  | 令和5年3月30日   | 出勤なし<br>退勤なし | 年休入力漏れ |       |    |   |          |    |        |   |           |      |        |           |              |        |   |           |    |        |   |           |    |        |  |
| C  | 令和5年3月28日   | 早退           | 年休入力漏れ |       |    |   |          |    |        |   |           |      |        |           |              |        |   |           |    |        |   |           |    |        |  |
| D  | 令和5年3月31日   | 早退           | 年休入力漏れ |       |    |   |          |    |        |   |           |      |        |           |              |        |   |           |    |        |   |           |    |        |  |
| <p>措置の内容</p>   |   |              |        |       |    |   |          |    |        |   |           |      |        |           |              |        |   |           |    |        |   |           |    |        |  |
| <p>検出事項について、速やかに年次休暇の手続の上、出勤簿の修正を行った。<br/>                 検出事項の原因は、当該職員が年休の入力を失念したことと、直接監督責任者の確認不足であった。<br/>                 再発防止に向けて、関係職員と直接監督責任者に注意喚起を行うとともに、直接監督責任者が出勤簿状況の確認を徹底することで、チェック体制を強化した。<br/>                 今後は、適正な事務処理を行う。</p> |   |              |        |       |    |   |          |    |        |   |           |      |        |           |              |        |   |           |    |        |   |           |    |        |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月9日）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項   |    |       |   |                 |           |   |              |            |   |       |    |          |    |                        |    |   |    |
|---|---|------------|----|-------|---|-----------------|-----------|---|--------------|------------|---|-------|----|----------|----|------------------------|----|---|----|
| <p>思斉支援学校</p>   | <p>特別休暇（服喪休暇）について、親族の対象外の者を承認しているものが2件あった。</p> <table border="1" data-bbox="537 499 1596 674"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>続柄</th> <th>休暇承認日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>配偶者のおば（服喪休暇対象外）</td> <td>令和4年8月23日</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>従兄弟（服喪休暇対象外）</td> <td>令和4年11月18日</td> </tr> </tbody> </table> | 職員         | 続柄 | 休暇承認日 | A | 配偶者のおば（服喪休暇対象外） | 令和4年8月23日 | B | 従兄弟（服喪休暇対象外） | 令和4年11月18日 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例】<br/>（特別休暇）<br/>第15条 任命権者は、職員が次の各号のいずれかに該当する場合には、当該各号に定める期間の特別休暇を与えることができる。<br/>六 前各号に掲げるもののほか、人事委員会規則で定める場合 人事委員会規則で定める期間</p> <p>【職員の勤務時間、休日、休暇等に関する規則】<br/>（特別休暇）<br/>第10条 条例第15条第6号の人事委員会規則で定める場合は、次の各号に定める場合とし、同号の人事委員会規則で定める期間は、当該各号に定める期間とする。<br/>六 親族の喪に服する場合 別表第5に定める日数以内で必要と認める期間</p> <p>別表第5（第10条関係）</p> <table border="1" data-bbox="1792 1142 2694 1373"> <thead> <tr> <th>死亡した者</th> <th>日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>父母、配偶者、子</td> <td>7日</td> </tr> <tr> <td>祖父母、兄弟姉妹、父母の配偶者、配偶者の父母</td> <td>3日</td> </tr> <tr> <td>孫、子の配偶者、配偶者の子、祖父母の配偶者、配偶者の祖父母、兄弟姉妹の配偶者、配偶者の兄弟姉妹、おじ又はおば、おじ又はおばの配偶者</td> <td>1日</td> </tr> </tbody> </table> <p>（以下略）</p> | 死亡した者 | 日数 | 父母、配偶者、子 | 7日 | 祖父母、兄弟姉妹、父母の配偶者、配偶者の父母 | 3日 | 孫、子の配偶者、配偶者の子、祖父母の配偶者、配偶者の祖父母、兄弟姉妹の配偶者、配偶者の兄弟姉妹、おじ又はおば、おじ又はおばの配偶者 | 1日 |
| 職員  | 続柄  | 休暇承認日      |    |       |   |                 |           |   |              |            |   |       |    |          |    |                        |    |   |    |
| A   | 配偶者のおば（服喪休暇対象外）   | 令和4年8月23日  |    |       |   |                 |           |   |              |            |   |       |    |          |    |                        |    |   |    |
| B   | 従兄弟（服喪休暇対象外）  | 令和4年11月18日 |    |       |   |                 |           |   |              |            |   |       |    |          |    |                        |    |   |    |
| 死亡した者   | 日数  |            |    |       |   |                 |           |   |              |            |   |       |    |          |    |                        |    |   |    |
| 父母、配偶者、子  | 7日  |            |    |       |   |                 |           |   |              |            |   |       |    |          |    |                        |    |   |    |
| 祖父母、兄弟姉妹、父母の配偶者、配偶者の父母  | 3日  |            |    |       |   |                 |           |   |              |            |   |       |    |          |    |                        |    |   |    |
| 孫、子の配偶者、配偶者の子、祖父母の配偶者、配偶者の祖父母、兄弟姉妹の配偶者、配偶者の兄弟姉妹、おじ又はおば、おじ又はおばの配偶者   | 1日  |            |    |       |   |                 |           |   |              |            |   |       |    |          |    |                        |    |   |    |
| <p>措置の内容</p>  |   |            |    |       |   |                 |           |   |              |            |   |       |    |          |    |                        |    |   |    |
| <p>誤って承認した特別休暇（服喪休暇）については取り消し、年次休暇として処理を行った。<br/>                 検出事項の原因は、申請者が服喪休暇のサービスの取扱いについて誤った認識を持っていたことと、直接監督責任者の確認不足にある。<br/>                 再発防止に向けて、関係職員に対してサービスに係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、直接監督責任者が承認を行う際はその要件の確認を確実にすることによりチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |            |    |       |   |                 |           |   |              |            |   |       |    |          |    |                        |    |   |    |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月9日）

時間外等勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |    |   |        |    |   |
|---|--|----------|--------|----|---|--------|----|---|
| <p>思斉支援学校</p>   | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="528 611 1190 793"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>事実発生時期</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和4年8月</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和4年8月 | 1件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期   | 件数       |        |    |   |        |    |   |
| A   | 令和4年8月   | 1件       |        |    |   |        |    |   |
| <p>措置の内容</p>  |  |          |        |    |   |        |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接監督責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |  |          |        |    |   |        |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月9日）

通勤手当の誤り

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |         |        |       |        |   |                    |         |         |        |   |
|---|--|----------|---------|--------|-------|--------|---|--------------------|---------|---------|--------|---|
| <p>難波支援学校</p>   | <p>通勤手当について、病気休暇等により勤務実績のない月が発生したにもかかわらず、精算事務が行われていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="537 520 1543 678"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>支給対象期間</th> <th>既支給額</th> <th>正規支給額</th> <th>戻入すべき額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和4年4月から<br/>同年9月まで</td> <td>23,760円</td> <td>20,060円</td> <td>3,700円</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 支給対象期間  | 既支給額   | 正規支給額 | 戻入すべき額 | A | 令和4年4月から<br>同年9月まで | 23,760円 | 20,060円 | 3,700円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、その原因を確認し、所属のチェック体制の強化や通勤手当に関するルールの周知徹底を図ることなどにより、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p><b>【職員の給与に関する条例】</b><br/>(通勤手当)<br/>第14条 通勤手当は、次に掲げる職員に対して支給する。<br/>2 通勤手当の額は、6箇月を超えない範囲内で、月の1日からその月以後の月の末日までの期間として人事委員会規則で定める期間（以下「支給対象期間」という。）につき、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に定める額とする。</p> <p><b>【職員の通勤手当に関する規則】</b><br/>(支給対象期間)<br/>第4条 条例第14条第2項に規定する支給対象期間は、人事委員会が定める日以降6箇月の期間とする。ただし、これにより難い場合の支給対象期間は、人事委員会が定める。<br/>(支給方法等)<br/>第18条 条例第14条第1項の職員に対する通勤手当は、その者の支給対象期間の初日の属する月の給料の支給日に支給する。（以下略）<br/>第20条 条例第14条第1項の職員が、出張、休暇、欠勤その他の理由により、月の1日から末日までの期間の全日数にわたって通勤しないこととなるときは、その月に係る通勤手当は支給しない。（以下略）</p> <p><b>【職員の通勤手当に関する規則の運用について（通知）】</b><br/>第4条関係<br/>1 人事委員会が定める日は、毎年度4月1日及び10月1日とする。</p> |
| 職員  | 支給対象期間   | 既支給額     | 正規支給額   | 戻入すべき額 |       |        |   |                    |         |         |        |   |
| A   | 令和4年4月から<br>同年9月まで   | 23,760円  | 20,060円 | 3,700円 |       |        |   |                    |         |         |        |   |
| <p>措置の内容</p>  |  |          |         |        |       |        |   |                    |         |         |        |   |
| <p>過誤払となっていた通勤手当については、速やかに戻入を行い、当該職員からの納入を確認した。<br/>                 検出事項の原因は、担当者が精算事務を失念していたこととその後のチェック体制が脆弱であったことにある。<br/>                 再発防止に向け、関係者間で休暇（病気・産前産後等）や休業・休職等の取得情報を共有するとともに、事前・事後確認（出勤簿の確認）の徹底を図るなどチェック体制を強化し、適正な認定業務に努める。<br/>                 今後は、条例等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |          |         |        |       |        |   |                    |         |         |        |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年1月23日）

## 管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項 |           |         |  |        |        |       |   |           |          |           |      |   |
|---|---|----------|-----------|---------|--|--------|--------|-------|---|-----------|----------|-----------|------|---|
| 難波支援学校  | <p>管内出張をシステムに重複して入力し、そのまま承認された後、当該重複した出張の取消しを忘れたものがあつた。<br/>また、旅費支出の際にチェックされず、そのまま決裁を行ったため、旅費が過誤払となつていた。</p> <table border="1" data-bbox="510 583 1626 758"><thead><tr><th rowspan="2">職員</th><th rowspan="2">出張日</th><th colspan="2">システム入力日</th><th rowspan="2">過誤払旅費額</th></tr><tr><th>当初入力日</th><th>重複入力日</th></tr></thead><tbody><tr><td>A</td><td>令和4年5月23日</td><td>令和4年5月9日</td><td>令和4年5月19日</td><td>260円</td></tr></tbody></table> | 職員       | 出張日       | システム入力日 |  | 過誤払旅費額 | 当初入力日  | 重複入力日 | A | 令和4年5月23日 | 令和4年5月9日 | 令和4年5月19日 | 260円 | 検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。 |
| 職員  | 出張日   |          |           | システム入力日 |  |        | 過誤払旅費額 |       |   |           |          |           |      |   |
|   |   | 当初入力日    | 重複入力日     |         |  |        |        |       |   |           |          |           |      |   |
| A   | 令和4年5月23日   | 令和4年5月9日 | 令和4年5月19日 | 260円    |  |        |        |       |   |           |          |           |      |   |
| <b>措置の内容</b>  |   |          |           |         |  |        |        |       |   |           |          |           |      |   |
| <p>過誤払となつた旅費については、戻入を行い、返納済みである。<br/>検出事項の原因は、申請者が当初入力したことを失念して重複入力したことと、直接監督責任者が重複入力を見落としていたことにある。<br/>再発防止に向けて、関係職員に対して、旅費に係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、管内旅費集計を行う際には、複数での確認を確実にすることによりチェック体制を強化した。<br/>今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |           |         |  |        |        |       |   |           |          |           |      |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年1月23日）

## 管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項  |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |   |           |           |           |      |  |
|--|---|-----------|-----------|---------|--|--------|--------|-------|---|-----------|-----------|-----------|------|---|-----------|-----------|-----------|------|--|
| 東淀川支援学校  | <p>管内出張をシステムに重複して入力し、そのまま承認された後、当該重複した出張の取消しを忘れたものが2件あった。<br/>また、旅費支出の際にチェックされず、そのまま決裁を行ったため、旅費が過誤払となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="510 583 1626 856"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職員</th> <th rowspan="2">出張日</th> <th colspan="2">システム入力日</th> <th rowspan="2">過誤払旅費額</th> </tr> <tr> <th>当初入力日</th> <th>重複入力日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和4年5月23日</td> <td>令和4年5月20日</td> <td>令和4年5月23日</td> <td>320円</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>令和4年8月10日</td> <td>令和4年7月26日</td> <td>令和4年8月10日</td> <td>460円</td> </tr> </tbody> </table> | 職員        | 出張日       | システム入力日 |  | 過誤払旅費額 | 当初入力日  | 重複入力日 | A | 令和4年5月23日 | 令和4年5月20日 | 令和4年5月23日 | 320円 | B | 令和4年8月10日 | 令和4年7月26日 | 令和4年8月10日 | 460円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員   | 出張日   |           |           | システム入力日 |  |        | 過誤払旅費額 |       |   |           |           |           |      |   |           |           |           |      |  |
|  |   | 当初入力日     | 重複入力日     |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |   |           |           |           |      |  |
| A  | 令和4年5月23日   | 令和4年5月20日 | 令和4年5月23日 | 320円    |  |        |        |       |   |           |           |           |      |   |           |           |           |      |  |
| B  | 令和4年8月10日   | 令和4年7月26日 | 令和4年8月10日 | 460円    |  |        |        |       |   |           |           |           |      |   |           |           |           |      |  |
| <b>措置の内容</b>   |   |           |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |   |           |           |           |      |  |
| <p>過誤払となった旅費については、戻入を行い、収納済みである。<br/> 検出事項の原因は、申請者が当初入力したことを失念して重複入力したことと、直接監督責任者の確認不足により重複入力を見落としたことにある。<br/> 再発防止に向けて、関係職員に対して、旅費に係る申請・承認を適正に行うよう周知を行うとともに、管内旅費集計を行う際には、複数での確認を確実にすることによりチェック体制を強化した。<br/> 今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |           |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |   |           |           |           |      |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月13日）

時間外等勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項 |        |    |   |         |    |   |
|---|---|----------|--------|----|---|---------|----|---|
| <p>なにわ高等支援学校</p>  | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="522 585 1190 770"> <thead> <tr> <th data-bbox="522 585 658 682">職員</th> <th data-bbox="658 585 943 682">事実発生時期</th> <th data-bbox="943 585 1190 682">件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="522 682 658 770">A</td> <td data-bbox="658 682 943 770">令和4年10月</td> <td data-bbox="943 682 1190 770">1件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和4年10月 | 1件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期  | 件数       |        |    |   |         |    |   |
| A   | 令和4年10月   | 1件       |        |    |   |         |    |   |
| <p><b>措置の内容</b></p>   |   |          |        |    |   |         |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接監督責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |   |          |        |    |   |         |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和6年1月23日）

管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項  |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |  |
|---|--|-----------|-----------|---------|--|--------|--------|-------|---|-----------|-----------|-----------|------|--|
| 東大阪支援学校   | <p>管内出張をシステムに重複して入力し、そのまま承認された後、当該重複した出張の取消しを忘れたものがあった。<br/>また、旅費支出の際にチェックされず、そのまま決裁を行ったため、旅費が過誤払となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 611 1626 785"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職員</th> <th rowspan="2">出張日</th> <th colspan="2">システム入力日</th> <th rowspan="2">過誤払旅費額</th> </tr> <tr> <th>当初入力日</th> <th>重複入力日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和4年5月11日</td> <td>令和4年5月10日</td> <td>令和4年8月29日</td> <td>580円</td> </tr> </tbody> </table> | 職員        | 出張日       | システム入力日 |  | 過誤払旅費額 | 当初入力日  | 重複入力日 | A | 令和4年5月11日 | 令和4年5月10日 | 令和4年8月29日 | 580円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 出張日  |           |           | システム入力日 |  |        | 過誤払旅費額 |       |   |           |           |           |      |  |
|   |  | 当初入力日     | 重複入力日     |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |  |
| A   | 令和4年5月11日  | 令和4年5月10日 | 令和4年8月29日 | 580円    |  |        |        |       |   |           |           |           |      |  |
| <b>措置の内容</b>  |  |           |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |  |
| <p>過誤払となった旅費については、戻入を行い、返納済みである。<br/>                 検出事項の原因は、申請者が当初入力したことを失念して重複入力したことと、直接監督責任者の確認不足により重複入力を見落としたことにある。<br/>                 再発防止に向けて、関係職員に対して、旅費に係る申請を適正に行うよう周知するとともに、管内旅費集計を行う際には、複数での確認を確実にを行うことによりチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、適正な事務処理を行う。</p> |  |           |           |         |  |        |        |       |   |           |           |           |      |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月15日）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項 |      |   |                            |  |
|--|--|----------|------|---|----------------------------|--|
| 東大阪支援学校  | <p>疾病等により30日以上休業又は休職していた職員の復業に当たっては、安全衛生管理者である所属長は総括安全衛生管理者である教育次長に対し、大阪府立学校職員安全衛生管理規程第31条に基づく病者の報告等を行わなければならないが、報告がなされていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="513 600 1344 793"> <thead> <tr> <th data-bbox="513 600 617 646">職員</th> <th data-bbox="617 600 1344 646">休業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="513 646 617 793">A</td> <td data-bbox="617 646 1344 793">令和5年1月10日から同年2月17日まで(39日間)</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 休業期間 | A | 令和5年1月10日から同年2月17日まで(39日間) | <p>検出事項について、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府立学校職員安全衛生管理規程】</b><br/>(病者の報告等)<br/>第31条 安全衛生管理者は、次の各号のいずれかに該当する職員が、療養に専念しないために就業を禁止する必要があると認めるときは、病者報告書(様式第4号)に医師の診断書を添付し、総括安全衛生管理者に報告しなければならない。疾病等により30日以上休業又は休職していた職員が復業又は復職するときも、同様とする。</p> </div> |
| 職員   | 休業期間   |          |      |   |                            |  |
| A  | 令和5年1月10日から同年2月17日まで(39日間)   |          |      |   |                            |  |
| <b>措置の内容</b>   |  |          |      |   |                            |  |
| <p>未提出となっていた病者報告については、監査受検後、総括安全衛生管理者あて提出した。<br/>                 検出事項の原因は、担当者の認識不足にある。<br/>                 再発防止に向けて、関係職員に対し、サービスに係る手続を適切に行うよう周知した。<br/>                 今後は、大阪府立学校職員安全衛生管理規程に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |          |      |   |                            |  |

監査(検査)実施年月日(委員:令和一年一月一日、事務局:令和5年11月15日)

業者負担光熱水費の徴収の不備

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項 |             |   |     |      |    |      |      |      |        |        |     |      |    |        |        |  |
|--|---|----------|-------------|---|-----|------|----|------|------|------|--------|--------|-----|------|----|--------|--------|--|
| 交野支援学校   | <p>施設財務課が発注する工事で使用された光熱水費については、施設財務課から提供される使用料計算書に基づき、施工業者に光熱水費負担金を請求することとなっているが、電気料金とガス料金の請求を行っていなかった。また、水道代について、積算根拠となる工事期間について誤りがあり徴収不足となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="572 611 1329 953"> <thead> <tr> <th></th> <th>誤<br/>(既収納額)</th> <th>正</th> <th>不足額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料金</td> <td>0円</td> <td>764円</td> <td>764円</td> </tr> <tr> <td>水道料金</td> <td>3,417円</td> <td>3,509円</td> <td>92円</td> </tr> <tr> <td>ガス料金</td> <td>0円</td> <td>4,328円</td> <td>4,328円</td> </tr> </tbody> </table> |          | 誤<br>(既収納額) | 正 | 不足額 | 電気料金 | 0円 | 764円 | 764円 | 水道料金 | 3,417円 | 3,509円 | 92円 | ガス料金 | 0円 | 4,328円 | 4,328円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
|  | 誤<br>(既収納額)   | 正        | 不足額         |   |     |      |    |      |      |      |        |        |     |      |    |        |        |  |
| 電気料金   | 0円  | 764円     | 764円        |   |     |      |    |      |      |      |        |        |     |      |    |        |        |  |
| 水道料金   | 3,417円  | 3,509円   | 92円         |   |     |      |    |      |      |      |        |        |     |      |    |        |        |  |
| ガス料金   | 0円  | 4,328円   | 4,328円      |   |     |      |    |      |      |      |        |        |     |      |    |        |        |  |
| <b>措置の内容</b>   |   |          |             |   |     |      |    |      |      |      |        |        |     |      |    |        |        |  |
| <p>業者が負担する光熱水費の不足分について、速やかに追徴を行った。<br/>                 検出事項の原因は、業者負担光熱水費の算出について担当者が誤った認識を持っていたことと、決裁関与者及び決裁者の確認不足にある。<br/>                 再発防止に向けて、担当者が請求対象費用、使用量と期間について正しい根拠に基づいて計算していることを、決裁関与者及び決裁者は確認の上承認することとした。<br/>                 今後は、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |             |   |     |      |    |      |      |      |        |        |     |      |    |        |        |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月11日）

管内旅費の支給事務の不備

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項   |            |         |  |        |        |       |   |           |           |          |      |   |           |          |           |      |           |          |           |      |   |            |            |            |        |   |            |            |            |        |  |
|--|---|------------|------------|---------|--|--------|--------|-------|---|-----------|-----------|----------|------|---|-----------|----------|-----------|------|-----------|----------|-----------|------|---|------------|------------|------------|--------|---|------------|------------|------------|--------|--|
| 交野支援学校   | <p>管内出張をシステムに重複して入力し、そのまま承認された後、当該重複した出張の取消しを忘れたものが5件あった。<br/>また、旅費支出の際にチェックされず、そのまま決裁を行ったため、旅費が過誤払となっていた。</p> <table border="1" data-bbox="507 583 1626 1150"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職員</th> <th rowspan="2">出張日</th> <th colspan="2">システム入力日</th> <th rowspan="2">過誤払旅費額</th> </tr> <tr> <th>当初入力日</th> <th>重複入力日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和4年5月11日</td> <td>令和4年4月27日</td> <td>令和4年5月6日</td> <td>630円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B</td> <td>令和4年9月16日</td> <td>令和4年9月9日</td> <td>令和4年9月16日</td> <td>360円</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月17日</td> <td>令和5年3月8日</td> <td>令和5年3月17日</td> <td>360円</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>令和4年10月27日</td> <td>令和4年10月25日</td> <td>令和4年10月28日</td> <td>1,100円</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>令和4年10月27日</td> <td>令和4年10月24日</td> <td>令和4年10月28日</td> <td>1,280円</td> </tr> </tbody> </table> | 職員         | 出張日        | システム入力日 |  | 過誤払旅費額 | 当初入力日  | 重複入力日 | A | 令和4年5月11日 | 令和4年4月27日 | 令和4年5月6日 | 630円 | B | 令和4年9月16日 | 令和4年9月9日 | 令和4年9月16日 | 360円 | 令和5年3月17日 | 令和5年3月8日 | 令和5年3月17日 | 360円 | C | 令和4年10月27日 | 令和4年10月25日 | 令和4年10月28日 | 1,100円 | D | 令和4年10月27日 | 令和4年10月24日 | 令和4年10月28日 | 1,280円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員   | 出張日   |            |            | システム入力日 |  |        | 過誤払旅費額 |       |   |           |           |          |      |   |           |          |           |      |           |          |           |      |   |            |            |            |        |   |            |            |            |        |  |
|  |   | 当初入力日      | 重複入力日      |         |  |        |        |       |   |           |           |          |      |   |           |          |           |      |           |          |           |      |   |            |            |            |        |   |            |            |            |        |  |
| A  | 令和4年5月11日   | 令和4年4月27日  | 令和4年5月6日   | 630円    |  |        |        |       |   |           |           |          |      |   |           |          |           |      |           |          |           |      |   |            |            |            |        |   |            |            |            |        |  |
| B  | 令和4年9月16日   | 令和4年9月9日   | 令和4年9月16日  | 360円    |  |        |        |       |   |           |           |          |      |   |           |          |           |      |           |          |           |      |   |            |            |            |        |   |            |            |            |        |  |
|  | 令和5年3月17日   | 令和5年3月8日   | 令和5年3月17日  | 360円    |  |        |        |       |   |           |           |          |      |   |           |          |           |      |           |          |           |      |   |            |            |            |        |   |            |            |            |        |  |
| C  | 令和4年10月27日  | 令和4年10月25日 | 令和4年10月28日 | 1,100円  |  |        |        |       |   |           |           |          |      |   |           |          |           |      |           |          |           |      |   |            |            |            |        |   |            |            |            |        |  |
| D  | 令和4年10月27日  | 令和4年10月24日 | 令和4年10月28日 | 1,280円  |  |        |        |       |   |           |           |          |      |   |           |          |           |      |           |          |           |      |   |            |            |            |        |   |            |            |            |        |  |
| <b>措置の内容</b>   |   |            |            |         |  |        |        |       |   |           |           |          |      |   |           |          |           |      |           |          |           |      |   |            |            |            |        |   |            |            |            |        |  |
| <p>過誤払となった旅費については、戻入を行い、返納済みである。<br/>                 検出事項の原因は、申請者が当初入力したことを失念して重複入力したことと、直接監督責任者の確認不足により重複入力を見落とししたことにある。<br/>                 再発防止に向けて、関係職員に対して、旅費に係る申請を適正に行うよう周知を行うとともに、管内旅費集計を行う際には、複数での確認を確実にすることによりチェック体制を強化した。<br/>                 今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |            |            |         |  |        |        |       |   |           |           |          |      |   |           |          |           |      |           |          |           |      |   |            |            |            |        |   |            |            |            |        |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月11日）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項  |                    |                        |        |                     |   |       |          |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
|----------|--|---|--------------------|------------------------|--------|---------------------|---|-------|----------|--------------------|------------------------|---|----|----|-----|----|----------|--------------------|---|-----|
| 交野支援学校   | <p>人間ドックの受診に係る職務専念義務の免除について、受診前後の勤務に服さなかった時間は年休等取得の手続を行わなければならないが、必要と認める時間以外にわたって職務専念義務が免除されていた。</p> <table border="1" data-bbox="513 548 1608 831"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>健康診断名</th> <th>検診日</th> <th>検診等の時間</th> <th>職務に専念する義務の免除を承認した時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>人間ドック</td> <td>令和4年8月4日</td> <td>午前9時00分から午後0時30分まで</td> <td>午前8時30分から午後5時00分まで(全日)</td> </tr> </tbody> </table> | 職員  | 健康診断名              | 検診日                    | 検診等の時間 | 職務に専念する義務の免除を承認した時間 | A | 人間ドック | 令和4年8月4日 | 午前9時00分から午後0時30分まで | 午前8時30分から午後5時00分まで(全日) | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p><b>【地方公務員法】</b><br/> <b>(職務に専念する義務)</b><br/> <b>第35条</b> 職員は、法律又は条例に特別の定がある場合を除く外、その勤務時間及び職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用い、当該地方公共団体がなすべき責を有する職務にのみ従事しなければならない。</p> <p><b>【職務に専念する義務の特例に関する条例】</b><br/> <b>(職務に専念する義務の免除)</b><br/> <b>第2条</b> 府の職員及び府が設立した地方独立行政法人法第2条第2項に規定する特定地方独立行政法人(以下「特定地方独立行政法人」という。)の職員は、次の各号の一に該当する場合には、あらかじめ任命権者(特定地方独立行政法人の理事長を含む。)又はこれらの委任を受けた者の承認を得て、その職務に専念する義務を免除されることができる。<br/>                 二 厚生に関する計画の実施に参加する場合</p> <p><b>【学校職場における勤務条件等(制度解説)】(府立学校版)</b><br/> <b>第7章 服務</b><br/> <b>7 職務専念義務の免除(職務に専念する義務の特例に関する条例に基づく)</b><br/>                 ○条例に基づく職務専念義務の免除<br/>                 本府においては、職務専念義務の特例を「職務に専念する義務の特例に関する条例」及び「職務に専念する義務の特例に関する規則」により定めており、次に掲げる場合には、例外的に職務に専念する義務の免除を受けることができる。</p> <table border="1" data-bbox="1768 1409 2674 1675"> <thead> <tr> <th>根拠</th> <th>条文</th> <th>具体例</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>条例第2条第2号</td> <td>厚生に関する計画の実施に参加する場合</td> <td>健康管理<br/>ア. 希望者を対象のもの<br/>人間ドック、乳がん・子宮がん検診、大腸検査等<br/>(以下略)</td> <td>(略)</td> </tr> </tbody> </table> </div> | 根拠 | 条文 | 具体例 | 備考 | 条例第2条第2号 | 厚生に関する計画の実施に参加する場合 | 健康管理<br>ア. 希望者を対象のもの<br>人間ドック、乳がん・子宮がん検診、大腸検査等<br>(以下略) | (略) |
| 職員       | 健康診断名  | 検診日   | 検診等の時間             | 職務に専念する義務の免除を承認した時間    |        |                     |   |       |          |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
| A        | 人間ドック  | 令和4年8月4日  | 午前9時00分から午後0時30分まで | 午前8時30分から午後5時00分まで(全日) |        |                     |   |       |          |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
| 根拠       | 条文   | 具体例   | 備考                 |                        |        |                     |   |       |          |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |
| 条例第2条第2号 | 厚生に関する計画の実施に参加する場合   | 健康管理<br>ア. 希望者を対象のもの<br>人間ドック、乳がん・子宮がん検診、大腸検査等<br>(以下略) | (略)                |                        |        |                     |   |       |          |                    |                        |   |    |    |     |    |          |                    |   |     |

### 措置の内容

検出事項について、誤って承認した職務専念義務の免除については取り消し、年次休暇として処理を行った。  
検出事項の原因は、申請者が職員健康管理事業におけるサービスの取扱いについて誤った認識を持っていたことと、直接監督責任者の確認不足にある。  
再発防止に向けて、関係職員に対し、職務専念義務免除を取得する際の注意点の周知を行うとともに、職員の職務専念義務免除の申請に対して直接監督責任者が承認を行う際は内容の確認を徹底することでチェック体制を強化した。  
今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月11日）

印影印刷物の管理不備

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項   |
|--|---|--|
| 交野支援学校   | <p>公印（学校長印）を印影印刷した卒業証書について、受払簿等を作成しておらず、使用状況が明らかにされていなかった。</p> <p>・卒業証書 98枚<br/>※枚数は令和4年度の購入枚数を記載</p> | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府教育委員会公印規程】</b><br/>(公印の印影の印刷)<br/>第12条 公印の押印に代えて、公印の印影を印刷する必要があるとき(次条第1項に規定する場合を除く。)は、当該公印の管守者の承認を受けて、その印影を印刷することができる。<br/>2 前項の規定により、公印の印影を印刷した用紙は、厳重に保管するとともに、常にその使用状況を明らかにしておかなければならない。</p> </div> |
| <b>措置の内容</b>   |   |  |
| <p>公印（学校長印）を印影印刷した卒業証書について、令和5年度の受払簿を作成した。<br/>                 検出事項の原因は、事務室職員が大阪府教育委員会公印規程に定められた公印の印影の印刷に係る規定についての理解が欠けており、受払簿の作成をしてこなかったことが挙げられる。<br/>                 再発防止に向けて、改めて規定を熟読し事務室内で周知した。<br/>                 今後は、法令等に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年12月11日）

時間外等勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項  | 是正を求める事項 |        |    |   |        |    |        |    |   |        |    |   |
|---|---|----------|--------|----|---|--------|----|--------|----|---|--------|----|---|
| 光陽支援学校  | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものが3件あった。</p> <table border="1" data-bbox="528 611 1190 968"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>事実発生時期</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">A</td> <td>令和4年4月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和5年1月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>令和4年7月</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和4年4月 | 1件 | 令和5年1月 | 1件 | B | 令和4年7月 | 1件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期  | 件数       |        |    |   |        |    |        |    |   |        |    |   |
| A   | 令和4年4月  | 1件       |        |    |   |        |    |        |    |   |        |    |   |
|   | 令和5年1月  | 1件       |        |    |   |        |    |        |    |   |        |    |   |
| B   | 令和4年7月  | 1件       |        |    |   |        |    |        |    |   |        |    |   |
| <b>措置の内容</b>  |   |          |        |    |   |        |    |        |    |   |        |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>                     再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>                     今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接監督責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |   |          |        |    |   |        |    |        |    |   |        |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月17日）

備品管理の不備

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項   |           |          |    |    |       |              |            |   |          |  |
|--|--|------------|-----------|----------|----|----|-------|--------------|------------|---|----------|--|
| 光陽支援学校   | <p>備品出納簿に記載されている下記の備品について、現物を確認することができなかつた。</p> <table border="1" data-bbox="498 533 1626 695"> <thead> <tr> <th data-bbox="498 533 736 611">品種</th> <th data-bbox="736 533 1020 611">品目<br/>商品名</th> <th data-bbox="1020 533 1308 611">当初受入年月日</th> <th data-bbox="1308 533 1448 611">数量</th> <th data-bbox="1448 533 1626 611">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="498 611 736 695">機械器具類</td> <td data-bbox="736 611 1020 695">事務器具類<br/>紙折機</td> <td data-bbox="1020 611 1308 695">平成20年3月14日</td> <td data-bbox="1308 611 1448 695">1</td> <td data-bbox="1448 611 1626 695">257,250円</td> </tr> </tbody> </table> | 品種         | 品目<br>商品名 | 当初受入年月日  | 数量 | 金額 | 機械器具類 | 事務器具類<br>紙折機 | 平成20年3月14日 | 1 | 257,250円 | <p>検出事項について、現物が確認できない原因を特定し、速やかに是正措置を講じるとともに、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府財務規則】</b><br/>                     (物品の出納の通知及び帳簿の記載)<br/>                     第80条 物品管理者は、物品の受入れ又は払出しの必要があるときは、出納員に物品の分類を明らかにして出納の通知をしなければならない。<br/>                     2 前項の通知を受けた出納員は、次に掲げる帳簿を備え、受入れ又は払出しの事実を記載しなければならない。<br/>                     一 備品出納簿(様式第39号)</p> </div> |
| 品種   | 品目<br>商品名  | 当初受入年月日    | 数量        | 金額       |    |    |       |              |            |   |          |  |
| 機械器具類  | 事務器具類<br>紙折機   | 平成20年3月14日 | 1         | 257,250円 |    |    |       |              |            |   |          |  |
| <b>措置の内容</b>   |  |            |           |          |    |    |       |              |            |   |          |  |
| <p>現物を確認できなかった備品について、原因調査を行ったところ、不用決定を行わずに廃棄していたことが判明した。<br/>                     このため、廃棄済である当該備品について、不用決定及び備品出納簿の払出しを行った。<br/>                     再発防止に向けて、関係職員に対し、備品廃棄時の留意点及び手続について周知を行った。<br/>                     今後は、大阪府財務規則に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |            |           |          |    |    |       |              |            |   |          |  |

監査(検査)実施年月日(委員:令和一年一月一日、事務局:令和5年11月17日)

資産と費用の区分誤り

| 対象受検機関   | 検出事項   | 是正を求める事項 |    |                     |          |  |
|--|--|----------|----|---------------------|----------|--|
| <p>光陽支援学校</p>  | <p>改修工事について、資産として公有財産台帳に登載する必要があるが、資産ではなく費用として処理した結果、公有財産台帳に登載されておらず、財務諸表上の費用が過大に、固定資産が過少となっていた。</p> <p>工事完了日：令和4年12月10日（検査日：令和4年12月10日）</p> <table border="1" data-bbox="531 611 1620 783"> <thead> <tr> <th data-bbox="531 611 1246 695">工事名称</th> <th data-bbox="1246 611 1620 695">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="531 695 1246 783">大阪府立光陽支援学校便所手洗栓改修工事</td> <td data-bbox="1246 695 1620 783">438,900円</td> </tr> </tbody> </table> | 工事名称     | 金額 | 大阪府立光陽支援学校便所手洗栓改修工事 | 438,900円 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <p>【大阪府公有財産台帳等処理要領】<br/>（台帳の取得登録）</p> <p>第4条 財産を取得した場合は、システムを用いて取得登録を行うものとする。なお、登録を行う際の取得事由は、別表2「異動理由表」のとおりとする。</p> <p>2 取得した財産については、次の各号に掲げる日を取得年月日及び異動年月日とする。</p> <p>(1) 財産の買入れ、交換等による所有権の取得については、その所有権の取得の日。</p> <p>(2) 建物等の新築等は、工事完了による引渡しの日。なお、土地を除くインフラ資産は供用開始日。</p> <p>（台帳価格）</p> <p>第12条 台帳に登録する取得価額（一円に満たない場合は一円とする。）は、次の各号によるものとする。</p> <p>(1) 当該財産の取得原価とする。なお、取得原価は、別表4「固定資産計上基準表」のとおりとする。</p> <p>「別表4 固定資産計上基準表」<br/>（固定資産計上の基本方針）</p> <p>1. 取得時点での取引価格（購入代価等）だけでなく、その財産を取得するために要した付随的支出（詳細設計費など）も含めて資産として計上する。</p> <p>2. 取得後に、当該資産の価値を高め、又はその耐久性を増すことに要した支出は資産として計上する。なお、この場合における付随的支出についても前項の規定を準用する。</p> |
| 工事名称   | 金額   |          |    |                     |          |  |
| 大阪府立光陽支援学校便所手洗栓改修工事  | 438,900円   |          |    |                     |          |  |
| <p>措置の内容</p>   |  |          |    |                     |          |  |
| <p>公有財産台帳への資産の登録について、修正を行った。また、会計局会計指導課あて修正依頼を行い、財務諸表上の修正処理を受けた。<br/>                 検出事項の原因は、固定資産計上の考え方について事務室職員が十分な認識を持っていなかったことにある。<br/>                 再発防止に向けて、事務室で関係資料の情報共有を行うことにより、チェック体制を強化した。<br/>                 今後は、大阪府公有財産台帳等処理要領に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |  |          |    |                     |          |  |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月17日）

不適切なサービス管理

| 対象受検機関   | 検出事項  | 是正を求める事項 |      |   |                             |  |
|--|---|----------|------|---|-----------------------------|--|
| 西淀川支援学校  | <p>疾病等により30日以上休業又は休職していた職員の復業に当たっては、安全衛生管理者である所属長は総括安全衛生管理者である教育次長に対し、大阪府立学校職員安全衛生管理規程第31条に基づく病者の報告等を行わなければならないが、報告がなされていないものがあった。</p> <table border="1" data-bbox="513 600 1344 795"> <thead> <tr> <th data-bbox="513 600 620 646">職員</th> <th data-bbox="620 600 1344 646">休業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="513 646 620 795">A</td> <td data-bbox="620 646 1344 795">令和4年9月12日から同年10月28日まで(47日間)</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 休業期間 | A | 令和4年9月12日から同年10月28日まで(47日間) | <p>検出事項について、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>【大阪府立学校職員安全衛生管理規程】</b><br/>(病者の報告等)<br/>第31条 安全衛生管理者は、次の各号のいずれかに該当する職員が、療養に専念しないために就業を禁止する必要があると認めるときは、病者報告書(様式第4号)に医師の診断書を添付し、総括安全衛生管理者に報告しなければならない。疾病等により30日以上休業又は休職していた職員が復業又は復職するときも、同様とする。</p> </div> |
| 職員   | 休業期間  |          |      |   |                             |  |
| A  | 令和4年9月12日から同年10月28日まで(47日間)   |          |      |   |                             |  |
| 措置の内容  |   |          |      |   |                             |  |
| <p>未提出となっていた病者報告については、監査受検後、総括安全衛生管理者あて提出した。<br/>         検出事項の原因は、病者の報告について、管理職等が十分な認識を持っていなかったことによる。<br/>         再発防止に向けて、病者の報告について適切に行うよう周知徹底するとともに、休職者が復職する際、管理職等の複数職員で病者報告書を作成したかどうか確認を行うことによりチェック体制を強化した。<br/>         今後は、大阪府立学校職員安全衛生管理規程に基づき、適正な事務処理を行う。</p> |   |          |      |   |                             |  |

監査(検査)実施年月日(委員:令和一年一月一日、事務局:令和5年11月21日)

時間外等勤務実績の登録・確認の不備

| 対象受検機関  | 検出事項   | 是正を求める事項 |        |    |   |        |    |   |         |    |        |    |   |
|---|--|----------|--------|----|---|--------|----|---|---------|----|--------|----|---|
| 西淀川支援学校   | <p>職員が時間外勤務命令を受け時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績の入力を行い、直接監督責任者は総務事務システムにより、職員の時間外勤務実績の入力漏れがないか確認しなければならないが、ともに当該行為を怠ったため、時間外勤務手当が支給されていないものが3件あった。</p> <table border="1" data-bbox="525 611 1190 968"> <thead> <tr> <th>職員</th> <th>事実発生時期</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>令和4年9月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B</td> <td>令和4年11月</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> | 職員       | 事実発生時期 | 件数 | A | 令和4年9月 | 1件 | B | 令和4年11月 | 1件 | 令和5年3月 | 1件 | <p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知徹底し、直接監督責任者による確認を徹底することなどを通じ、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> |
| 職員  | 事実発生時期   | 件数       |        |    |   |        |    |   |         |    |        |    |   |
| A   | 令和4年9月   | 1件       |        |    |   |        |    |   |         |    |        |    |   |
| B   | 令和4年11月  | 1件       |        |    |   |        |    |   |         |    |        |    |   |
|   | 令和5年3月   | 1件       |        |    |   |        |    |   |         |    |        |    |   |
| <b>措置の内容</b>  |  |          |        |    |   |        |    |   |         |    |        |    |   |
| <p>検出事項について、勤務実態を確認し、時間外勤務実績登録を行った上、学校総務サービス課に依頼し、追給を行った。<br/>再発防止に向けて、職員に対し、時間外勤務を行った場合には、速やかに時間外勤務の実績を入力するよう周知を行った。<br/>今後は、職員が時間外勤務実績の登録を速やかに行うとともに、直接監督責任者が確認を徹底し、適切な服務管理を行う。</p> |  |          |        |    |   |        |    |   |         |    |        |    |   |

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年11月21日）